滿洲日報
五月四日發行
發行人 … 編輯人 … 印刷人 …
大連市 … 滿洲日報社

北支形勢急轉

抗日戰中止を命じ北平に善後委員會

南京政府の時局對策

【上海特電四日發】國民政府は南昌會議の結果中央軍に抗日戰中止を命じ、日本軍と停戰協定を締結すべく態度を決定した

【上海三日發】支那軍が灤東に進出して挑戰的に出る場合には關東軍は徹底的に膺懲すべしとの決意を知つて怯えた支那側は、南京政府より何應欽に命じて灤東の支那軍に進出停止を命ずると共に、石友三、方振武等の反蔣策動に對してもその連絡せざるに先立ち、先手を打つて切崩しに努め、只管北支の收拾に努めつゝある一方、英、米、佛三公使に停戰調停を依賴すると同時に北平に行政院駐平政務整理委員會を設置し委員長に黃郛を任命し、蔣介石も數日前南昌に黃郛、張群を招致し北支對策を協議した事實あり、北支の擾亂化を避くべく準備を整へてゐる、この結果反蔣運動も、ものにならず長城方面の支那軍の挑戰行爲も一段落の形勢となり、憂慮された北支の事態もこれ以上發展せずこの儘推移するものと觀らるゝに至つた

原田男首相を訪問

【東京三日發】西園寺公秘書原田男は三日午前九時官邸に齋藤首相を訪問し政局問題につき首相の意見を聽取し十時辭去した

蔣の妥協方針の表現
委員長に黃郛任命の事情

【北平三日發】本日の南京中央政治會議で北平政務委員會の設立並びにその委員長に黃郛を任命した事に對し消息通は次の如く見てゐる

親日家として有名で而も蔣介石とは義兄弟の間柄なる黃郛をもつてすることは、國民政府内における蔣介石對汪兆銘、宋子文派間の對立で蔣介石が優勢なるを反映するもので、今後は漸次蔣介石派の主張する妥協の外交方針が隨所隨時に現はれるのであらう、殊に親米派の驍將たる宋子文の渡米は蔣介石の對日策謀反對者中の最有力者を國民政府部内から留守にしたもので、今後蔣介石派は黃郛を通じ北支においては何等掣肘される事なく、その對日主張の實現に努力し得る事とならう、傳へらるゝ停戰交渉等も今日迄は勿論問題にならなかつたが、黃郛でも就任すれば、漸く交渉相手も出來た譯で日本側もこれなら何とか考慮して吳れる餘地もあらうではないか（寫眞は黃郛）

は追つて中央政治會議に諮り決定することになつたと

戰區救濟委員會
政治會議に附議

【上海特電四日發】上海電報によれば灤東における治安維持問題に關し北平にて何應欽と內政部長孔祥熙等協議の結果、中央に建議し灤東地方に戰區善後委員會を組織し、これにより灤東の復興、難民の救濟、將來の治安維持に當らしめんことを電請し來つたが、二日の行政院會議は汪精衞主席の下にこれが討議を行ひ、戰區救濟委員會と改稱しその組織職權について

英公使乘り出さず

【北平三日發】當地外人側の情報によれば支那側より再度停戰交渉斡旋の依賴を受けた英公使ランプソン氏は支那側の依賴者が政府の正式代表でないのと、現在の狀態が停戰協定成立の目算なきを見越し、依然之を默殺し時局の推移を見る事に態度を決したものゝ如くジョンソン、ウイルデン兩公使もランプソン氏と同樣の態度を執るものと見らるゝに至つた、而して長城以南における戰局の動き如何によつては英、米、佛三國公使の出馬となるべく又最近三公使と何應欽、劉外交次長、陳公博、何柱國等が停戰問題につき密議を爲した事實あり、英、米、佛三公使と支那側との間に本問題につき相當突込んだ談合が行はれた事明かとなつたが、只その時期を得ずに居るものゝ如くである

南天門の敵
投降續出

【新京電話】南天門一帶の敵の堅壘を奪取したる川原部隊は敵と近く相對峙してゐるが、敵は依然攻勢的態度を改めず、一日以來毎夜逆襲し來りその都度わが軍のために擊退されてゐるが、當間は敢て前進することなく砲兵をもつてわが第一線に砲擊を繼續してゐる、この方面の敵は連日投降するものがあるが、その捕虜の言によるとわが軍に投降したる第二師の兵士等がわが軍のために好遇せられてゐるとの情報が自然に附近の住民の口より支那軍の陣地內に流布され、これがため投降の機會をうかゞつてゐるものが多數であると

天津日本租界の暗黑化陰謀
發電所等に爆彈投下

【天津三日發】三日午後九時半何者か日本租界發電所正門に爆彈二個を投じ大音響と共に炸裂したが被害は無かつた、右は租界を暗黑化せんとする陰謀で時節柄重大視されてゐる、犯人は逃走したが右警戒中午後十一時四十分花園街に面せる總領事館構內の大田領事官舍の前庭に又も爆彈一個を投じ炸裂したが幸ひ被害は無かつた、再三の爆音に租界の人心動搖し駐屯軍では直に步兵一部隊を出動せしめ各重要個處の警戒に當り日本租界は物々しい光景を呈してゐる

支那側に嚴重抗議
日本側の對策

【天津四日發】領事館並びに發電所への爆彈投入に、日本租界は恐怖と不安の中に一夜を明かしたが四日未明來司令官々邸において中村軍司令官、桑島總領事等首腦部は同事件の善後處置について重要協議中で、その結果は爆彈破片等より見て兩事件は全く同一系統の組織的計畫行爲で、租界外よりの

鄭總理の詩作三昧

薰風に輝く新綠の若葉と新碧に[illegible]んだ絕景を星ケ浦ヤマトホテル[illegible]庭越しに觀賞してゐる滿洲國總[illegible]鄭孝胥氏は二日、三日と引續き[illegible]藤長官、滿鐵の各招宴に列席し[illegible]が、四日は二十五年來の習慣通[illegible]朝三時半に床を離れ、東向きの[illegible]に面した机に倚りかゝり、靜かに[illegible]明ける星ケ浦の風光を心ゆくば[illegible]り娛しみつゝ鄭宰相は忘れ得ぬ[illegible]壺を解いて詩作三昧に耽つてゐる[illegible]「けふは氣持よく四詩物しまし[illegible]

待遇[illegible]…潛入者の行爲なること明瞭なれば支那側がこの種暴團體を公認し居る事實を指摘し嚴重なる抗議を提出する模樣である

經濟會議招請狀を六十六國に發送
三日聯盟事務局から

【ジュネーヴ三日發】聯盟事務局は去る二十九日のロンドンの經濟會議組織委員會の決定に基き、三日全世界の六十六ケ國に六月十二日よりロンドンに開かれる世界經濟會議に出席を要請する旨の招請狀を發送した、なほ右招請狀には二十九日の組織委員會で米代表より各國に對して關稅休日參加要請の提議が爲された事が附記されてゐる

重要諸懸案を携へ八田副總裁あす上京
けふ滿鐵緊急重役會議を開く

小磯參謀長は三日滿連し、同日武藤全權に報告し、又林、八田正副總裁と重要會談を行つたが、この結果八田副總裁は五日のうらる丸で急遽上京することにほゞ決定し四日は午前九時といふに早くも總裁室に緊急重役會議を開いた、列席者は

林、八田正副總裁、伍堂、村上、山西、竹中、河本、山崎の各理事、斯波顧問、宇佐美總局長、石本總務部長

で猪田鐵道部長、市川經理部長、右近業務課長ら問題に應じて出席して會談をつゞけ、午後零時半、中食のため小憩、午後は更に一時半より續行した、會議の內容については石本總務部長は「本日の會議については一切發表出來ない」と語つたが、副總裁上京の直前であるので最近の懸案を一掃的に議題に

一、移民に關する滿鐵の對策
一、北鮮鐵道委任に關する問題
一、アルミ及びマグネシウム工業問題
一、產金會社問題
一、昭和製鋼所および滿洲化學工業成立に伴ふ販賣制度問題
一、滿洲化學工業對滿電の發電所問題

等の重要問題に對する決定を行つた模樣である、なほ八田副總裁の滿京期間は未定だが、これがため河理事は滿連期をおくらせて東京で副總裁を待合せて意見の交換を行ひ中央方面との交渉に當る筈

中央軍移動

【北平三日發】北平方面は支那逃亡兵三々五々北平に入り込み來り治安擾亂の惧れ濃厚となつたので

[illegible]【[illegible]發】方振武軍討伐に向つた杜聿武の第百十八師は既に十數個の列車にて平漢線に向ひ裝甲車三個列車もこれに參加した、方振武は目下保定に在るものゝ如く果して杜軍と戰鬪行爲を交へるや否や頗る疑問視されてゐる

[illegible]…勢[illegible]面に後退

[illegible]憲兵隊、公安局に特別警[illegible]ると共に蔣介石に對し善[illegible]持方を電請した、一方方[illegible]應欽に反抗氣勢を揚げた[illegible]支の形勢は一變せんとし[illegible]更に中央軍を北上せしむ[illegible]亂市の第四十二師に移動[illegible]た

丁駐日公使
けさ新京出發

【新京電話】新代駐日公使として赴日する丁士源氏は四日午前九時發「はと」にて出發したが、驛頭には執政代理寶熙氏、外交部總長謝介石氏、交通部總長丁鑑修氏、袁金鎧氏その他各部總務司長、鎮蔡參議、多田顧問、山成中央銀行副總裁を初め日本側よりは岡村參謀副長、小林海軍司令官その他多數の日滿要人の見送あり、丁士源氏は川島芳子さんより贈られた花束を片手に抱いて盛んな見送と萬歲裡に出發した

インフレ案米下院通過

【ワシントン三日發】大統領に對し三十億弗の通貨增發を中心とする所謂通貨統制の獨裁的權限を附與するインフレーション法案は三日下院における表決の結果、三百七票對八十六票の壓倒的大差で下院を通過した

滿洲國の對蘇聯反駁の內容
從來の主張を反覆

【新京電話】東支問題に關するソ聯側クズネツオフ副理事長の第三次反駁に對する滿洲國側の反駁抗議は森東鐵局長の手にて作成中であつたが、三日の首腦者會議にて決定、ソ聯側に發送されることになり、四、五兩日中に森村局長が携行ハルピンにおいて李督辦よりクズネツオフ副理事長に手交される筈であるが、本抗議文の內容は大體ソ聯側の第三次反駁文の內容たる

一、滿洲國の意圖が露支、奉露兩協定の廢棄に在りと指摘せる點
二、東支はソ聯の所有なりとの主張
三、管理局長の獨斷を不當なりとする點

等に關し逐次的に反駁を加へソ[illegible]と卽ちこれである

はるびん丸

五日午前八時三十分大連港外着豫定

人事

▲中野忠夫氏（滿鐵總務部文書課長）新任挨拶の爲め四日來社
▲中西敏憲氏（滿鐵地方部長）五日開催される新京中學校開校式出席の爲め四日十九時三十分發列車にて赴京の豫定
▲小磯國昭氏（關東軍參謀長）四日午前九時發列車で歸壬

御陪食を賜つた經濟代表

長守造り

では四日橫濱出帆の龍田丸で渡米の世界經濟會議豫備會商に出席する帝國代表石井菊次郎子、深井英五氏、同顧問門野重九郎氏を御召しになり御陪食を賜つた、なほ松岡全權外六大臣も同時に御陪食仰付けられた、寫眞は宮中を退出する（向つて左より）內田外相、石井、深井兩代表、門野顧問

「遠交近攻失敗に妥協を望む支那」
（下）對日策と平津の輿論

試みに三、四の平津新聞の論調を要約してみるとそれが判明する

大公報　中國は今日たゞ一箇の道を走ることしか無い、何かこれをいふ、徹底犧牲これである、國家の外患に應對するに和戰の兩途がある、東三省の失陷を顧みるに滿洲國成立以前においては日支の紛爭はなほ和議の講ずべきものがあつた、故に吾人は當時北較穩溫中において屢々自動的解決を主張したが、時衆議は感情の蔽ふところとなつて世人の重んずるところとならなかつた、その後國際に對する依賴はたゞ滿洲國の自然成立を否認するに止まり、對英、米、佛、露外交も空賴みに過ぎない、無窮の鬪爭と外患は止む時無く國力いよいよ竭まり今日に至つて處境益々困難に陷り形勢の迫るところたゞ屈服と不屈服の二つあるのみ、和戰二字を去ること甚だ遠く、現狀の下たゞ徹底犧牲あるのみ

支那の最大の患は士大夫階級の虛僞々瞞にある、昨年上海戰が延長するや一般商工業領袖、知識分子は私室にあつては平和を祈禱し惟戰事を恐るゝのみであつたが、公衆に對しては激越なる言辭を用ひ人に下るを恐るゝのみ、英人の斡旋で旗艦上交涉に從ふとの報道傳はるや、反對

北平晚報　抗日に對しては民衆は自信無く唯人に倚るのみであつて而かも當局は民衆の組織に力を致さぬ國民が頹然斯くの如くに至つた原因は當局が優柔であつて果斷の精神に缺くるからである、今日當局に自ら甘んじて李鴻章たる者出でず又岳飛たる者が無い李鴻章となつて人に罵らるゝを恐れ或は岳飛の如く身陣頭に立

遠かに起り當局は之に引かれ敢て進行しなかつた、越えて兩日にして日本軍の總攻擊にあひ我師挫折するに及び已むを得ずして停戰を協議したが、なほ屢々之が攻擊にあひ硬論百出し調印の前郭泰祺は群衆に毆打された、しかも協定成り市面漸く復するに及んで一般民衆は私かに祖欣幸とせざるは無かつた云々

右によつて如何に煽動家が活躍し又個人の立場のために國家の方針を蹂躪して顧みないこと大なるか判明し支那の急所を摘發してあますところが無い

實報　長城戰事爆發一…我軍の陣地は三四百里に亘り前して前線の士兵は全國軍隊の七分の一に及ぶ、而も數旬の苦戰後傷亡既に二萬に達し各方の軍隊は陸續北上すると雖も實力極めて薄弱

つて先死するを恐れたゞ逡巡徘徊するのみである、しかしこの逡巡徘徊は李鴻章に較べて更に國を誤るものである、時機既に迫り「一時の成敗と毀譽とを顧みること無くたゞ中國千秋の罪人を爲さゞることを求めよ」の一語は我當局の爲すべきことである、蓋し斯くの如くすれば中國なほ一條の路がある、これ今日の徘徊に較べて勝ることが多い云々

しかし無責任なる支那の輿論において亡國奴と罵らるゝを甘受し得るか、亡國を强ふる原動力は果して何であらうか？更に政府に抵抗の能力あるかと詰つたのは民衆に勢力ある北平の實報である

下あつて守るに堪へない、或はふ一般軍人は軍隊を私有物と見て個人の爭權奪利の工具となし政府の命令に遵はざらんとする、中央政府にして果して最後抵抗の決心あるか有らば國人に明示されよ、況んや敵軍は既に全部關內に侵入しその上本國から四ケ師を增調する、我は遼西を守り平津を保持せんとせば五十萬以上の精銳を增調しなければならぬ

北平晨報　それ目下中日の局を直ちに打開せんと欲せば屈服以外他に方法が無い、併しながら吾人は固より屈服に甘んぜず亦速に打開する必要無しと認める、唯長期相持せんとすることは日本の願はざるところであるから種々の方法を以て威嚇壓迫し一逞を求めんとすることは吾人の意料中にある、これを以て吾人の今日最大急務とすることは如何にして中日窮局の道を開き日は遂ることに[illegible]

と卽ちこれである

他に一二强硬なる主張をなす多くは支那が何處までも抵抗を續すれば日本は奔命に疲れるとふ趣旨である、これについて大[illegible]報は

日本の崩潰を說くものあるが、これは理想であつて假令日本が支へずとするもそれは支那が犧牲となつた後である故に必ずしも最後の勝利は何人に歸するかを問ふ必要が無い

と喝破してゐる、畢竟彼等の主[illegible]せんとするは當局安協であると[illegible]ても之を言ひ得ぬ、戰ひは不可[illegible]なるも安協は忍ます無條件の徹底[illegible]犧牲を甘受するか或は屈服、不屈服以外他に孰かの道を擇ばんとを要求するが、和戰二つ以外に何物か未知の都合善き方法があれば日支兩國の爲に幸ひと言はなければならぬ

◇

[illegible]腹のインフレ景氣でホクホク[illegible]の大阪商船にも悲哀あり。

◇

一喰はれば御機嫌が惡いし、さいつて喰ひ過されば怒られるし、浮ぶ瀨もない、と。

東天紅（72）
田中純一郎 作　林 三 畫

蛇の道（七）

坂口が、もう一度、晶子の部屋に現れた時、彼女はまだ、先刻のまゝ、椅子に腰かけてぼんやりしてゐた。

（坂口の奴、あのまゝ歸るつもりか知ら。歸るとすれば、存外、術のない男だわ）

しかし、このまゝ坂口との交渉が絕えて、折角の幸運を取りにがすことは、晶子にも堪へられなかつた。

（私、少し、芝居をやりすぎたか知ら）

さう思つて居るところへ、がちりと扉が開いて、坂口が入つて來たのだつた。

「おや、何か、お忘れもの？」

彼女は、しかし、自分の後悔などはおくびにも出さないで、冷やかに言つた。

「うむ、いや」

[illegible]窓の方へ連れて行つた。そして、二人で並んで腰かけさせてから

「おい、君イ、一つ、僕を助けて呉れないか」と言つた。

「助けるつて、何を？」

「かうなつたら、僕は、何もかも君に打ちまけて言ふがね、實は、僕、松波さんにねえ、君を取り持つと言ふことを約束したんだよ」

「まア」

「その代り、松波さんは、君に對して、出來るだけの援助を與へると、會社の方へも、充分な後援をして呉れると云ふ約束なんだ」

「つまり、私のからだを、松波の資本とが、交換されるつてわけなのね」

「まア、露骨に云へばさうだよ。しかし、その代りには、君は、今後、會社の最高幹部として立てるし、俳優としても、勿論、最高の地位と、最大の自由とが與へられ

[illegible]

『玉の緒の續く限り君國に應へ奉らん』

慶びの新元帥武藤軍司令官

けさ長官邸で謹話

新に元帥府に列せられた關東軍司令官武藤信義大將は三日夜十一時陸軍大臣よりの正式公電を旅順關東長官々邸において接受したが四日朝に至り、無上の恩命に感激しつゝ左の如く敬虔な態度で語つた

不肖信義、陸軍大臣よりの公電に接し五月三日を以て元帥府に列せられ、特に元帥の稱號を賜りたる恩命を拜し恐懼感激の至りに堪へません、今日この無上の光榮に浴するを得たるは明治十八年陸軍出仕以來先輩の御指導、同僚並に隷下將士の輔佐共力の賜ものに外ならぬと信じ、衷心感謝するところであります今後玉の緒の續く限りは正心誠意君國のため奮勵努力以て聖恩の萬分の一に酬い奉らんことを期する次第であります

玉の緒の續く限りは大君の深き惠みに應へまつらん

昨夜恩命に祝盃

軍司令官は感慨無量

けさ歸任の小磯參謀長談

三日歸滿、武藤軍司令官に重要案件の報告を了へた小磯參謀長は「一刻も早く新京へ」と四日早朝旅順より大連へ、更に「はと」にて名誠副官帶同あわたゞしく歸京の途についた、參謀長は三日夜十一時頃長官官邸において密議中武藤軍司令官の元帥府入りの公電に接し共々祝盃をあげこの光榮を心から祝福し「關東軍萬歲」のゆるぎなき前途をよろこび合つたものである、參謀長を「はと」の展望車に訪ひ「武藤軍司令官の元帥府入りの感想を」さたづねるさ

武藤軍司令官としては誠に光榮であらう、人格識見ともに高き武藤軍司令官の元帥府入りこそわが將士一同の心からの願ひであつた、我々は元帥軍司令官の下に將來ます〳〵努力いたさねばならぬ、昨日は着連と共に旅順へ、そして更に星ケ浦の滿鐵招宴へ再度旅順へ、實によく動けるものだと自分でも思つた幸ひ軍司令官との會見は昨夜十一時頃終つたが、丁度その時軍司令官の元帥府入りの公電に接したのだ、直ちに一同は祝盃をあげたが、武藤軍司令官も感慨無量の態だつた、自分は喜びの旨を述べ辭したが更に安藤要塞司令官と色々要談があつたので四日の午前二時頃迄話込んでしまつた、料亭彌生が自分がまだ大尉少佐時代に知つてゐた關係で昔なじみ甲斐に泊つたが、六時頃起きてすぐこちらに來たやうなわけだ

この間八田滿鐵副總裁、山西、竹中、河本、村上各滿鐵理事、宇佐美鐵路總局長、旅順より藤原秘書課長等多數知名士が見送りに來た

朗らかなけふの官邸

祝宴祝電頻り

四日の關東長官邸は平日より早くから門前から正門までの坂道は綺麗に掃除され裏口、臺所には出入の商人が威勢よく出入りし官邸の人々も朗かな氣分で忙しく立働いてゐる、午前八時安藤要塞司令官がイの一番に御祝に來り間もなく辭去したが、その後は東京、新京方面の祝電が引つきりなしに舞ひ込んで來る、九時長官は偕行社における配屬將校の訓示に臨み、それより一應關東廳に登廳、十一時五十分黄金臺の別莊に到り邸内に咲き誇る櫻花を眺めながら參謀、副官等六名の水いらずの午餐會を催した

武藤元帥の肩書

新元帥武藤信義大將の肩書の書き方は左の如くである

正三位勳一等功二級、關東軍司令官、特命全權大使、關東長官元帥、陸軍大將

松山本社々長元帥に祝辭

武藤關東軍司令官三日を以て元帥府に列せられた事につき松山本社々長は本社並に本紙二十萬讀者を代表して四日午後一時旅順白玉山腹の關東長官々邸に武藤元帥を訪問し祝辭を陳べた

天皇陛下航空本部へ行幸

空中の妙技を天覽

【東京四日發】我が精鋭なる空軍が始めて陸軍に編入されて二十五年、天皇陛下には四日立川町の航空本部技術部に行幸あらせられた、この日、陛下には湯淺宮相、鈴木侍從長、本庄侍從武官長以下を隨へさせられ午前八時四十分宮城御出門、同九時原宿驛御發、宮廷列車にて十時十五分東淺川驛御着、多摩御陵に着御神前に御參拜十一時東淺川驛御發十一時二十五分立川驛御着車、略式自動車鹵簿にて荒木陸相以下軍事參議官等奉迎の裡に飛行場側の技術部に着御の上二階の便殿に入らせられ御先着の秩父宮、閑院若宮殿下と御晝餐を攝らせられ御小憩の後各機材を御巡覽の上飛行場内の玉座に進ませ給ひ德川好敏少將の御説明にて編隊、集團、離陸、各種高等飛行の妙技、空中連絡空中戰鬪、對地攻撃、落下傘降下、編隊幷着陸、オートジヤイロの飛行振り等を天覽あらせられ午後三時十分立川御發車にて還幸の御豫定である、なほA・Kでは特に許されて午後一時卅分より全國に中繼放送をなすさ

道神樂奏樂裡に肅々と行進

七日午後一時より豫習

大連神社の遷座祭

大連神社の遷座祭は五日午前九時三十分の淸祓に始まり同十一時より新殿祭、六、七兩日は御飾、八日午後八時より正遷座祭を執行するが正遷座祭には古式に則り舊殿より新殿までの間行列を行ふ事となつてゐるので神職以下奉仕者は七日午後一時より豫習を行ふ事になつてゐる、行列中は總ゆる照明を滅消し單に松明を灯し京都より招聘した牧野藤二氏一派の道神樂「千歲の歌」奏樂裡に肅々行進するがこの間寫眞を撮影する事は絶對遠慮して貰ひたいとの事だ、なほ當日參列者は舊殿裏より迂回し行列參道に侵入せざるやう之れも注意して貰ひたいとの事である、大連放送局ではまたこの祭典に際してマイクロホンを設備し道神樂から拍手に至るまで全滿に放送する準備を進め神社では八日から社務所に於て希望者に對し五月一杯記念スタンプを押捺する事になつてゐるさ

大連神社で臨時大祭執行

九日午前十時から

大連神社では今回御祭神中へ畏くも明治天皇の大御神靈ならびに滿洲事變戰死病歿者の靈を合祀奉齋したので來る九日午前十時より臨時大祭を執行するさ

定員以上の乘船を防止

商船、對策協議

O・S・K・定期船うらる丸が超滿員の結果その三等船客の一部をハツチの上に寢せたと云ふ奇怪な事實に關し端しなくも船客の憤激を買つたが大阪商船側においても將來の對策につき種々協議の必要あり、取敢ず過去の事は過去として將來に對し萬全を計りサービスに遺憾なきを期する事となり、それ〴〵本社側においても具體策を講ずる事になつた、一方海務局水上署においても今後定員を超過して ゐる際は遠慮なく港則に照らして處罰する筈である

朝香宮、李鍝公兩殿下けふ御着京

明日南嶺戰跡御見學

【新京電話】朝香若宮、李鍝公兩殿下には陸軍士官學校生徒の御實修で稻垣校長以下職員生徒三百餘名と御同列、四日御來京遊ばされ朝香若宮殿下にはヤマトホテルに李鍝公殿下には滿洲屋旅館に御投宿の御豫定であるが御來京後の御日程は左の如くである

四日午後三時三十五分新京御着直ちに軍司令部に向はせられ屋上より新京一帶の地形を御展望遊ばさる、五日午前八時より再度軍司令部に向はせられ岡村參謀副長の講話を御聽取遊ばされた後寬城子並に南嶺の戰蹟を御見學遊ばさる、六日新京御發ハルピンに向はせらる

なほ稻垣校長以下幹部は滿洲屋旅館に士官學校生徒一同は新京記念館及び西廣場小學校に分宿の豫定

兩殿下御離奉

【奉天電話】朝香若宮李鍝公兩殿下には陸軍士官學校生徒とともに四日午前八時十分奉天發新京行列車に御乘車蜂谷總領事、粟野奉天地方事務所長その他奉天官民多數の御見送りの裡に御機嫌麗しく御離奉新京に向はせられた

谷口檢閱使一行旅順視察

第一日の日程を了る

特命檢閱使谷口大將一行は九時十五分大連より一路關東廳を訪問、直に要港部に引返した、鶯門入口には在鄕軍人海軍班、高等小學校旅順中學、第一小學校、少年團、官民多數の出迎へあり司令部前には河本大尉の指揮する三小隊より成る一個中隊の儀仗兵、津田司令官以下各幕僚、在港艦船乘組各海軍將校及び安藤要塞司令官、野田工大學長、西山財務局長、米岡市長、山村軍醫部長その他在旅文武各高等官の堵列出迎へを受け久保田參謀長の先導にて諸員の敬禮を受けつゝ司令部に入る、この時武藏關東長官は萬城目副官以下各伺候者として

武藤長官、安藤要塞司令官、野田工大學長、西山財務局長、日下內務局長、米岡市長、青木警察署長、大塚在鄕軍人分會長、押倉衛戍病院長

の順序にて引見され十時より要港部港務部、海軍病院、水交社等の檢閱をなし十一時卅分司令部發ヤマトホテルに歸還晝食の後午後一時再び自動車にて無線電信所及び海上部隊の一部檢閱を終り第一日の日程を終つた【寫眞は旅順における谷口檢閱使】

配屬將校會議

關東軍管下各學校配屬將校會議は四日午前十時より偕行社に於て開催武藤軍司令官臨場の上一場の訓示を爲したる後一同記念撮影を行ひ夫れより安藤要塞司令官講演の

戰塵の熱河へ畫筆の旅

江內豊君山海關へ出發

大連出身者にして出京後二科會に常連として確實なる畫實に基準し昨今同會の異色として存在する江內豊氏は過日來滿、陸海軍將星の多大なる激勵の辭を畫筆に秘め戰塵なま〳〵しき熱河聖地北滿方面へ戰跡を描破すべく三日一路山海關へ出發した、二十世紀に生きる青年日本の畫家として近代的この爆發畫も近く完成次第東京、大連にて發表する豫定である

四月中檢疫數

當地海務局の統計による四月中の檢疫數は次の如くである

卽ち隻數三百六十二隻總噸數九十八萬六千六百四噸檢疫人員は六萬八千八百八十三名、昨年同期に比較すると隻數において十三隻減總噸數において七七六四

鮮人避難民前居住地へ歸還

救護期限の到來で

過ぐる冬期間(十月—三月の六ケ月)ハルピンにおいて救護されてゐた鮮人避難民は一、四四〇戶六千百七十人であるがこれ等避難民は去る三月末日救護期限の到來と共に漸次從來の居住地たるハルピン近郊の殷家屯、太平橋、集源和、宗家店および三姓烏吉密等に歸還しつゝあり、現地治安問題については總領事館が特に當該地方の公安局とそれ〳〵連絡をとり鮮人農民をして自警團を組織せしめるほか烏吉密の集團農場には領事館警察分署の設置を見る筈で、農耕資金の貸付については目下關係當局で審議中である

土工大擧し事務所占據

富山縣の騷擾

【富山四日發】富山、高岡國道改修工事に從事する日鮮人勞働者百七十名はメーデー休日の給料を要求したので二日夕刻土工を解雇した處飯場に居た全協系徐滿在がリーダーとなり三日正午大擧して富山工區事務所を襲ひ之を占據し更に縣廳に押掛けんとしたので富山署より約百名の警官急行約六十名を檢擧し之を解散せしめたが富山署ではこの機を期し不穩分子の一掃を期し檢束者を追窮中

北票煤礦營口支局開設

北票煤礦總局(奉山鐵路經營)は今回營口陳家花園街の陳子淸を五萬元の保證金を以て營口支局長に任命し二道街益盛公內に支局を設置五月一日から事務を開始したが工業用としてまたはバンカーとしても炭質惡きと煖房用としては目下需要ない折柄撫順炭の賣れ行は大した影響はない見込である

ラヂオ放送で國民教育を

矢部謙次郞氏來京

【新京電話】東京中央放送局放送部長矢部謙次郞氏は三日關東軍高級囑託として京城より來京、國都ホテルに投宿したがソ聯の大電波放送、南京の怪放送に對抗すべく滿洲國に大放送局建設を各方面にて論議されてゐる折柄とて氏の來滿は多大の注目を惹いてゐる、氏を同ホテルに訪へば

今度の來滿は別にむづかしい意味はない、たゞ朝鮮の二重放送が廿六日完成されたのでこれを視察かた〴〵滿洲の放送局を觀察のため來たのである、來て最初に痛感したのはこんな廣大なところでは先づラヂオ放送で國民教育をせねばならぬ、朝鮮でも日本語と同時に朝鮮語でも放送出來るやうになつたから朝鮮人は大喜びだ、それで滿洲もこれが一番大事なことだ、大放送局云々は自分は第二義と思ふ、これも日滿合辨通信會社が出來てからのことであらう

と語つた、氏は十五日まで滯滿

モヒ中毒女衣類を窃取

苦惱の餘り

市內淡路町九番地芳野方竹崎ハツヨ(二)はふとした動機からモヒ中毒となり市內敷島町荒井醫院で注射をなし麻醉の享樂に溺れてゐるを家人が知つて、監禁同樣の身となつてゐたところ去る四月二十日苦惱の餘り芳野氏妻女キヨの衣類二枚を窃取、これを紀伊町第五博多屋質店に入質、荒井醫院に駈込んで注射を受けたこと發覺、三日大連署員に窃盜犯人として取押へられた

遺骨八十一體新京を出發

【新京電話】關東軍部隊の戰歿者八十九體の遺骨は在京の十二體の遺骨と共に伊藤中尉以下の戰友に護られて四日午前九時五十分發の列車で岡村參謀副長、新京各小學校生徒、官民その他多數に送られて南行した

大連驛ホームの擴張工事に着手

從來の驛本屋を後退

大連驛・ホーム及び驛前廣場の改築工事は廣場の擴張を手初めに舊機關車の取除け作業も着々進捗してゐるので愈々四日より第一ホームの擴張工事に着手することゝなり從來の驛長室及び助役室にあてられてゐた驛本屋を同ホーム待合室並みに後退させることになつた同工事完成まで當分待合室を驛長及び助役の事務室に當てることになり四日早朝引越をなした

檢疫船『みなと』

入港船激增に鑑み

海務局で新たに建造

海務局においては從來廟島丸、螢城丸の兩船を交替に檢疫に當らしめこの間兩船の定期檢査または沖の時化た際金州丸を代船として使用してゐた、しかるに最近の如く入港船舶の激增に鑑み同局ではかねてより快速艇を建造したがその名も「みなと」と命名し今後廟島、螢城、みなとの三隻を交替に檢疫に當らしむる事となつた「みなと」は船體は小さなものであるが波切りの工合が好くかなりの波濤にも堪へ得るもので速力も現在の廟島より以上のスピードが出るといふ

商業學堂の內地見學團

五日大連出帆

大連商業學堂日本內地見學團二十二名は松崎敎諭引率の下に五日出帆のうらる丸で渡日、神戶、大阪京都、東京その他各地を見學、十九日神戶發ばいかる丸で歸連の豫定である

區長任期滿了

來る二十日で

大連市區長ならびに區長代理各五十七名の任期は來る二十日を以て滿期となり同時に改選となるが現區長ならびに區長代理の中には辭意を有するもの少きにより大體に於て再推薦される模樣であると

天氣豫報

西の風　晴

各地氣溫(四日午前十一時)

旅順	十八	奉天	十二
大連	十九	新京	八
營口	十四	新義州	十四

警報解除　四日午前八時南滿洲附近の警報を解除す

けふの小洋相場(十一時)

金百圓は一三三圓六五錢

善鬼惡鬼（65）

平山蘆江作　苅谷深隍繪

果し狀（一）

長吉が、おこのを横抱きにかゝへて、驅け戻つて來たのは、もう夜明けに近い頃であつた。

「五郎兵衛先生の正直ものにも弱つちやつた。只の我武者で、手前勝手の亂暴ものだとばかり思つてゐたが、馬鹿々々しい律義者だ」

口早に云つて、おこのをおぎんの側へおしやり、雨戸をぐんぐんおさへつけてゐる。

「先生はどうしたんだ」

次郎吉が聞くと、

「どうしたつてお前、この娘御に白刄を持たして、おのれの首根つこを、ゴシゴシと、鋸切びきにしやうといふんだ。呆れかへるぢやれえか」

「首を切つて、どうしやうつてんだ」

「知れた事よ、四方八右衛門はこの娘御にとつてお祖父さんに當るこの子に自分の首を打たして、親孝行だくさ、まはりつくどい讐討をさせやうつてんだ」

「そこへお前が飛込んだんだね」

「飛び込んだにや飛び込んだが、何しろ相手は片手劍法の親玉だ、どうしてどうして、こちと等の手におへる事ぢやれえ。そこを無理無性に、おしこかして、この娘を引抱へて歸つて來たのだ」

「そして、五郎兵衛どのは、どうしたえ」と、おぎんが聞いた。

「裏山に大あぐらをかいておれの身體はどこへ持つてゆけばよいのだと、わめき立てゝおいでゞす」

「どこへ持つて行くつたつて、あれほどの先生を、勝手に持つてあるけるものか、おかみさん、おいでなせえ、二人がかりで、いや應なしに引戻して參りませう」

おぎんも次郎吉と一緒に表へかけ出した、が、間もなくすごすごと戻つて來た。

「どうしてどうして、お前さんたちが行つて、今更戻るくらゐならおいらと一緒に戻つて下さる五郎兵衛さまだ、てこでも動きやしめえ」

「戻る戻らぬよりは、どつちへ行つたか、行く先が判らなくなつたのだよ」と、おぎんはしほれ切つてゐる。

「行く先が判られえつて、そんな筈はありますめえ、まだいくらの時も經つちやゐねえんだ。次郎公お前と二人で、手分けをして、そこら中を捜して見よう」

「おつと合點だ。おこのさん、おかみさんと二人で、おとなしく留守居をしてゐなせえよ」

船頭二人は、暗がりの雜木林を、そこか、こゝかと探してまはつた。おぎんとおこのは手持無沙汰さうに、呆然と待ち明かした。

かうして、夜がほのぼのと明ける頃、長吉も次郎吉も相前後して戻つて來た。が、門口を入る時、長吉がまづ何ものかを見つけて「しまつた」と云つた。

「冗談ちやれえ、遠いところか、足のとゞく限り、雜木林の中を二人がかけずりまはつてゐる間に、五郎兵衛先生は、ちやんと門口まで歸り戻つて來なすつたのだ」

「ねえおかみさん、門口にこんなものを書いて、石のおもしをかけてありましたぜ」

さう云つて持込んで來たのは、手拭のちぎれかと思はれる布一切れ、その上には生々しい血をにじまして書いた數行の文言であつた。

御身あるゆゑに生きた我身には再びめぐり逢ふ時は、是非とも御身に討たれ申すべく候

上にはおぎんどのと書き、下には五郎と書いてある。

おぎんは何度も讀みかへして、

「あの人の行方は、けふ限り、もう探さずにおいておくれ」と、布をたゝんで、内懷へしつかりと納めた。

長吉も次郎吉も、聲を呑んで泣いた。おこのはおぎんの膝をゆすぶつて泣き伏した。

其時、表戸が、ゴトリゴトリとゆれる。

「しつ、五郎兵衛先生かも知れねえ」

「待て待て、お前は裏口からまはんな、おいらが表へかゝる」と、長吉が、足音をひそめて表戸へ近よつた。

キネマと演藝

うわさ話

▲いよいよ今晩午後七時から彌生高女講堂で山田耕作氏歸朝記念作品發表會を開く▲春の樂壇にふさはしく人氣俄然沸騰▲映樂館の白籐六郎もいよいよ内地へ歸つて靜養することになつたらしいが▲愛弟子トロ愛光が代つて六日から上映の「巴里祭」の解説にあたるらしい▲田村てる枝さんの名披露目小唄會が六日午後六時からヤマトホテル大廣間で開かれる（會費一圓）

低利資金の運用は
關係者協議で略決定
貸付開始は六月早々

二百五十萬圓の大藏省低利資金滿洲運用については直接運用機關たる金融組合、滿洲輸入組合において過般來夫々運用規定を作成中のところ、金融組合においては既報の如く運用規定の立案決定をみたるも輸入組合は現在の定款を變更せねばならず、卽ち第二十九條に本組合貸付資金は組合員出資及南滿洲鐵道株式會社より借入れたる資本を以て之に充當するものとす、但し當分の間南滿洲鐵道株式會社より借入れたる資金を以て融通し組合員の出資金は銀行に預入るものとす

とあるを變更し

低利資金 運用を附加し、新規開業及び事業擴張に融資する運用規定を作成せねばならず、又現定款第二條に「本組合は有限責任とし」とあるが、該組合は民法上の組合ならざる變則的のものなる爲め疑義を見るがこの點關東廳において有限責任でも差支へなき意向なるため、右項はそのまゝとするが、これ等定款變更のため輸入組合では來る六日臨時總會開催決定する、右の結果滿鐵の認可を得て愈々決定をみるわけだが、兩組合の運用規定作成後朝鮮銀行、滿鐵、關東廳との間に運用に就いての最後的折衝が行はれるこの際滿鐵では輸入組合の運用額百五十萬圓のうち、二割の補償を行ふについて、無條件補償を行ふや否や協議される筈であり

滿鐵側で は從來の輸出貸付の關係もあり、貸付についても從來類似の條件を希望することゝなる模樣である、これが爲め兩組合の運用開始は愈々來月早々より行はれる筈であるが、大藏省の二百五十萬圓の融資は八月末を以て締切られ、八月中に運用の出來ない場合は殘額は打切返還しなければならぬことゝなつてゐるので、兩組合では夫々分擔額を全部八月末までに借受け、これを運用資金として適時資金需要者に宛て貸出されることゝなつた

る米藁も七月一日以降は米國に輸入せらるべき貨物の包裝には使用せざることゝなつた右の報に接し關東廳では取敢ず二日附內務局長名を以てこの旨滿鐵副總裁、各民政署長、商議會頭宛移牒するところあつた

大連輸入組合
今期業績
四日臨時總會

大連輸入組合では四日午後一時より監事會を開催、昭和七年度組合事業報告、貸借對照表、損益計算書、財產目錄につき審議決定するところあつたが、定時總會は六月

開催の筈である、尙は同期中の組合收支を見るに總益金十一萬八千五百五十六圓、總損金九萬三千九百七十一圓、差引二萬四千五百八十四圓の剩餘金を計上、これもその儀缺損補塡準備金に積立てる筈でこれにより該準備金は八萬八千八百五十八圓となつた、尙は六年度後半より開始せる特別積立金は同期に九千十五圓となり、累計一萬三千四百八十八圓、缺損補塡、特別積立金合計は十萬二千三百四十一圓になつてゐる

三月中
滿洲國貿易
入超三百十九萬

【新京電話】財政部發表＝三月分外國貿易統計左の如し（單位圓）

輸出	三六、七九〇、七八四
輸入	三九、九八一、〇七一
入超	三、一九〇、二八七
一月以降累計	
輸出	一二九、七六八、六五九
輸入	一二六、九〇二、六二五
出超	一二、八六六、〇三五

熱河興銀券回收
六百萬元に上る
國幣の流通は圓滑に進行

【新京電話】中央銀行の熱河興銀券回收成績は去月二十日の期限までの回收總額は六百萬元に達し、北部方面における匪賊討伐未完了の一部地方を除き流通額は殆ど全部回收が完了されたと觀測され、同地方における國幣の流通狀態は極めて圓滑に信用價値を高めつゝあると

滯貨麥粉は
日を逐うて漸減
相場やゝ反撥先高見越

奧地輸送機關の不圓滑による荷捌きの不振と既約品の到着で、大連に於ける麥粉滯貨は一時二百萬袋に上り、華商側ではこの麥粉の洪水に狼狽して投賣りをする者續出し相場は亂調子を極め、一等粉の如きも二圓四十錢乃至四十五錢に崩落して

協定 値段よりも十錢方の安値を見せたが、最近銀價昂騰による購買力の增進で荷捌き良好となり新規約定品も漸次細り、かくて滯貨も百八十萬袋程度に減少したので相場も一等粉二圓五十五錢と十錢方の反撥を見、先高を見越されるに至つた、四月中の輸入粉は百十七萬袋に達し前年四月に比すれば三倍に相當するが、三月の百六十四萬袋、二月の百四十二萬袋に比すればずつと減少してゐるわけであつて、新規約定が細り、荷捌きが順調になれば

滯貨 は自然減少することになり百萬袋臺にまで減少すれば相場も正常に復するものと觀られてゐる、內地粉の原料たるアメリカ、カナダ、濠洲の小麥は何れも暴騰してゐる關係から相場は必然的に高値を豫想されてゐるが、銀高が繼續すれば荷捌きは順當とみらるゝので彼此相待つて先高を見越されてゐるわけである

米藁一切
米國輸入禁止

拓務省より關東廳への通牒によれば米國農務省植物檢疫局では二月二十日附を以て來る七月一日以降包裝材料としての米藁一切の輸入禁止を發令したと

尙同省令によれば木綿及麥藁の包裝は差支へなきも米藁は形態の如何を問はず一切輸入禁止する由にて、藁繩及麥藁蓆中にあ

バナナ専用船
朝熊丸配置

バナナのシーズン到來と共に大阪商船會社ではバナナ船を仕立て、臺灣バナナの滿洲輸入に大童となるを常としてゐるが、本年度も愈々第一船として朝熊丸が五日基隆發大連に直航するが十日頃入港の豫定である

低資運用で
臨時總會
六日輪組樓上で

低資百五十萬圓融通決定と共に輸入組合聯合會では關東廳、滿鐵その他關係各方面と折衝を續けつゝあつたが、漸く一段落となつたので、來る六日午前八時より大連輸組樓上で臨時總會を開催、左記諸議案を中心に最後的態度を決定することになつた

一、大藏省低利資金借入の件
二、輸入組合定款改正の件
大藏省低利資金運用に關し組合定款の不備の改正變更
三、低利資金貸付に關しこれが規定並に取扱規則
低利資金規定制定の件

尙は各組合とも右の結果に基き本月末迄に夫々臨時總會を開催し、

州外の寶庫
復縣を見る
產業の現狀と將來

【一】

「燈臺もと暗し」の諺へにもれず我々關東州在留邦人は滿洲國への認識において、その地續きたる復縣についてあまりに知らな過ぎる、遼陽の白塔を知らぬ邦人は少なからうが復州の古塔を知る者はなからう、撫順の無煙炭を知る人は多からうが五湖嘴の無煙炭を知る人は極めて稀だ、いな、關東州境が貔子窩附近で二、三里の間莊河縣と接してゐるだけで、あとは貔子窩から普蘭店に至るまで殆ど全部が復縣であり復縣の土地を踏まねば滿洲國に入れないといつて過言でないことを知る人は殆どない

それも學良政權時代で、一歩州境を出れば不愉快な支那官憲の壓迫があつた時代なら已むを得ないが現在のやうな日滿關係の親密な時に、このやうに足許眞暗で濟ますことが出來るのだらうか

◇

そこで我々滿鐵出入記者團と滿鐵資料關係者との間に復縣視察の計畫が立てられ、四月二十九、三十日の二日つゞきの休日を利用して、瓦房店より復州に出で、南行して五湖嘴半島の石炭礦と粘土坑を見、海路石河に出てほゞ復縣の心臟部を打診することが出來た、沿道の風光や出來事などは別に同行の同人の記すところであるから僕は主として經濟的見地より復縣の現在を見、かつ將來をトしたいと思ふ

◇

僕らはまだ瓦房店驛に縣長李端君、縣參事官荒川海太郞君、縣譯官鮫島國三君をはじめ多數の縣當局の歡迎を受け、驛長室において縣勢の大體の說明を聞いた、まづ地理的にいへば現在復縣は

面積	三、二七六方支里
內譯（耕地	一、八九八、七七四畝
荒地	一七四、九六三畝
人口	四六八、六一一人
內譯（男	二五五、三二六人
女	二一三、二八五人

縣ではないが、人口は奉天省六十縣中第五位にあり、ことに敎育よく普及し、既敎育者數の多いことは瀋陽縣についで第二位にあることを知るに足る

◇

復縣は第一區より第九區に到る九つの行政區劃に分れてゐる、第一區の中心は瓦房店で、同時にこゝに縣廳が置かれてある、滿鐵線の旅客は車窓附屬地と反對の側に一、二町の空地を隔て、宏壯なる建物を見るだらう、あれが縣廳でこれほど滿洲國側の主要行政機關が滿鐵停車場に接近してゐるところは他にない、第四區の中心都市は復州で以前はこゝが縣治の中心であつたが張車閥の時代に瓦房店に移された、縣の中心であることからいふも、又交通の便からいふもこれは當然の事だらうが、復縣の富は概觀して滿鐵線の西に存するからその中心に位する復州の價値は減少してはならぬ、換言すれば二區より五區までが西部、一區と六區が鐵道線路に沿ふ中央部、七區より九區までが莊河縣および貔子窩に接して東部をなしてゐる

◇

最初僕らが復州行きの計畫を立てた時は一切徒步によるつもりであつたが、瓦房店驛にて縣廳の好意による大型バスと復州炭礦より差廻してくれたトラックに分乘した時、僕らの滿洲國に對する知識の淺薄なのに自らあきれた、卽ち文化の尖端をなす自動車は滿洲の田舍まで砂煙りをあげて去つて居るのである、現在復縣汽車公會に屬してゐる自動車公司は十四でバスは二十四輛あり、その路線も

一、瓦房店復州間（片道小洋銀一元二角）
二、瓦房店復東鎭間（同一元四角）
三、瓦房店五湖嘴間（一元八角）
四、復州娘々宮間（一元）

と瓦房店を中心として、縣の東西の端まで夫々二十邦里に餘る自動車交通が開かれてゐる、この他復州炭礦は自家用トラックを有し瓦房店又は普蘭店との間に貨物および從業員の運送を行つてゐるから、交通の頻度は少いとはいへ左程不便な土地でないとがわかる

◇

道路はもとより惡いが、滿洲の田舍としては上乘の部だ、それに僕等一行のために特に處々修理を行つてたとひ雨が降るとも計畫を中止するやうなことなきやう取計らつてくれたとの事でトラックの上より修理の跡新しいところを目擊するたびに縣當局の好意に感謝した、道路は產業開發の大動脈だ現在の縣當局は今後道路政策に主力を注ぎ取敢す瓦房店から縣の東北隅銅礦湯温泉へ到る線と、同じく瓦房店より西北隅の古都たる永寧監に到る線とに着工するとの事であるから將來の發展は刮目すべきものがあらう（和氣記者）

鮮銀發送の荷爲替
大阪で問題となる
爲替管理法に抵觸してると
關東州は法令未だし

大連五品代行會社では去月二十八日鮮銀支店を通じ、大新株百株外公債價格一萬二千圓を荷爲替附を以て大阪某取引先に送附し、取引先においては直に荷爲替の淸込みを了したが、大阪鮮銀支店では五月一日より施行の爲替管理法に規定された有價證券類の輸出入に關しては大藏省の認可を受くべしとの條項に抵觸するものとして荷爲替振込みの取消しを要求して來たとの通知あり、當地株式關係者では非常な物議を生じてゐる、卽ち內地においては五月一日より爲替管理法は施行されたが、關東州內には特例を設けるとの政府の聲明だけで未だ施行細則の內容さへも如何なるものか發表されざる狀態にあり、從つて爲替取組その他においても如何なる手續きを採るべきかが不明なので、さしづめ實際問題として今回の如き當地より有價證券の內地送附が不能に陷ることになり關東廳の爲替管理法施行細則の發表の遲延は財界に一種の不安を與へるのみならず、斯くの如く日滿間の商取引を阻害する事甚だしきものあり一般に遺憾なりとせられてゐる

再特許追願
蒙古丸外十隻

三月末日を以て期間滿了となれる大連汽船の船舶十五隻に對する內地沿岸航路の再特許は三日遞信省より認可の指令を得た旨、神戸支店から大汽本社へ入電があつたが大汽では更に六月二十四日を以て特許更改期となる左記十一隻に對する再特許を申請するところがあつた

蒙古丸、泰來丸、山東丸、山西丸、河南丸、河北丸、天山丸、崑山丸、遼河丸、湍山丸、益進丸

關係筋代表出席
船車連絡懇話會
五日滿鐵社員俱樂部で

貨物船車連絡の圓滑を期するため年一回開かれる第三回船車懇話會は五日午後三時から大連滿鐵社員俱樂部で開かれるが、出席者は滿鐵側山口營業、吉富港灣兩課長ほか七名、商船および日淸側吉植次席ほか二名、郵船側里澤出張所長代理ほか四名、原田汽船側加藤睦夫氏、大汽側廣瀨營業課長ほか三名、國際運輸側小川海運課長ほか三名の等で二十議題中主なる議題は左の如くである

一、保稅倉庫問題並に最近貨物輻輳による通關遲滯問題に對する滿鐵の對策を問ふ（商船提案）
一、鐵路總局管下主要驛への運絡輸送實施促進願度（近郵提案）
一、各社の滿洲輸出通關手數料額を統一願ふ（滿鐵提案）

四月中の
手形交換高
前月より減少

大連手形交換所における四月中の手形交換高は金勘定二萬八千四百七十五枚、金額八千七百四萬一千二百八十九圓で、銀勘定は七千四百七十一枚、金額五千五百五十五萬二千六百六十六圓であるがこれを前月に比較すると（單位圓）

	枚數	金額
金	三、九九九減	三四、七二二、三六六減
銀	一、九〇一減	一元、三五六、九四九減

右の通り金銀兩手形の枚數金額共激減を示してゐるが、これは當月は輸出入貿易共不振であり一般取引も閑散であつた爲めと休日多く交換日數が尠かつた爲めであるが、更に當月を昨年同期に比較すると

	枚數	金額
金	三〇増	一〇、八八〇、八八〇増
銀	三、〇三〇減	三三、九九九、三〇六減

右の通り金手形は枚數金額共增加が之れは前年同期においては銀市場活況のため滿商側の手形流通が多かつたに對し本年四月は閑散であつた關係であらうとみられてゐる

四月大豆積出
前年對五割四分強

本年四月中大連埠頭より歐洲向大豆の積出し噸數は九萬三千五百九十四噸で昨年同期に比すれば三萬三千四百三十九噸の增加、率に於て約五割四分の激增振りである

支那輸入品の
原產國名標記種目追加

支那輸入品の原產國名標記方法に就ては既報の如くであるが、今回更に四月七日上海稅關總務司署タリフ・セクレタリーより上海商務參事官宛二十七項目に亘つて追加する旨通知あり、關東廳へも移牒あつた、その主なるもの左の如し

一、毛糸（一卷）の表記は、レッテル無しは直接包裝若くは外裝にスタンプするかプリントする
一、自動車トラック（他國製部分品を輸入して組立てたるもの）車體の見え易い所に原產國名を表記する、外裝にはプリントする
一、機械部分品には部分品を組立てたる後見え易き所に文字を打出し又は彫込外裝にはスタンプ若くは文字を表記すること
一、電氣アイロン、茶、珈琲、煎じ器、度量衡、電氣メートル、タイプライター、ダイナモ類は各品の見え易き部分に刻印若くは鑄型を打ち文字を彫り、若くは文字も打出し、又は文字を燒付け、外裝にはスタンプし、若くはプリントすること
一、鹽魚俵入の物は俵にプリントし若くはスタンプする外レッテル若くは荷札にも同樣
一、砂糖はガンニー袋入、大袋物はガンニー袋にスタンプするか若くはプリントする、又袋に付けたるレッテルにも同樣一封度二封度入の如き小袋入の物は袋にスタンプするか若くはプリントし、又袋に付けたるレッテル及外裝にも同樣ボール函入若くは包皮の砂糖はボール函若くは紙包にスタンプするか若くはプリントし、又ボール函又は紙包に掛けたレッテルにも同樣、罐入砂糖は罐に文字を刻み込み若くは文字を彫り込み又レッテルにはスタンプ若くはプリントすること
一、果物（鮮果）直接包裝にスタンプするかプリントする、又外裝にも同樣・なほ本品には某國製の代りに某國產とすること
一、硫安の大量物には各容器にスタンプするかプリントすること
一、木材（板、棒狀）は各品にスタンプし若くは文字を打込むこと

聖德實業會
七日總會

聖德實業會では七日午前九時より聖德會事務所において第七回定期總會を開き左記の件を商議する

一、昨年度事業報告
一、昨年度會計報告
一、入退會者報告
一、本年度收支豫算
一、役員選擧
一、本年度の實業會發展策
一、店員表彰式

尙總會終了後星ケ浦にて家族會を開くと

四月中不渡手形

大連手形交換所の四月中不渡手形は小切手枚數五枚三名、金額三千五百五十二圓八十五錢で、內二枚一名は入金濟みとなり三枚二名は入金なきため取引停止の處分を受けた

甘丶塵

◇…この頃〇・S、Kの定期船が屢々ヘマをやつて問題を惹起してゐる三日入港のうらる丸でも總滿員の結果が、三十人あまりの三等船客をハッチの上に寢せたとて船客連が憤慨し、船長に談じ込んでその不都合を詰つたのはなし

◇…これも滿洲景氣の一面を語るもので、同時に商船會社に取つてもこよないめでたいことだ、それだけ商船會社としては深甚の注意を拂ふ義務がある、大連にはこの夏頃商會も開催されるらう

◇…別項にもある通り、五品代行會社から大阪に送つた株式現物が爲替管理法に抵觸するとて引が保留された、處が關東州はまだ管理法が施行されてない、それに特殊地域の故を以て多少の特例さへも設けられるとのこともある、當業者は頗る腑に落ないものとしてこの不徹底を憤つてゐる

何れは大連のやうに內地人の到が豫想される今日、高見任ども一つ本社に進言して船客ービスの大改善をやるが肝要らう

市況 四日

特產
銀安を眺め
大豆堅調

今朝の定期は大豆は銀安を眺め堅調に豆粕、豆油は不振、高粱は銀安に強含を辿つた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（堅調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	四六〇	四七〇	四六〇	四六〇
六月末	四六〇	四七〇	四六〇	四六〇
七月末	四六五	四七〇	四六五	四六五
八月末	四六五	四七〇	四六五	四六五
出來高	六十八車			

▲普通大豆（出來不申）
▲豆粕（出來不申）
▲豆油（出來不申）
▲高粱（強含）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇
六月末	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇
七月末	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇
八月末	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇
出來高	二十九車			

▲包米（出來不申）

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込）	四八四〇	四八二
出來高	百三十車	
普通大豆（袋込）	四七六〇	四七六
出來高	五車	
豆粕	一五二〇	一五三
出來高	十三萬五千枚	
豆油	一三八五	一三八
出來高	八千箱	
高粱	二三五〇	二三五
出來高	一車	
包米	二三七〇	二三七
出來高	一車	

定期喰合高（三日）（單位）

		前日對比
大豆	三七四四車	△一七
高粱	一〇〇一車	△一
豆粕	一七七三千枚	△五千
豆油	三九五百箱	△一五百

株式

五品弱保合

諸株共小堅く四圓臺と緩りボンヤリとなつた▲代行會社から一萬餘圓の荷爲替の件で、[illegible]

銀塊急反落
緩り後急落

[illegible]

上海爲替情報

【上海四日發】アメリカの通貨膨脹案通過せるため銀塊引締め戾り氣味となるとの入電あり銀塊安の割合に市場緩りなりしも投機筋押目買氣のためヂリ高を辿る(中略)二十四、八分の五銀行賣り出來値段は滿商內、圓は大連筋と商館筋の小口輸入ありて下げ支へらる、引値標金賣物無のため上げる

寄	
上海標金	
值	九三七元五

商品
麻袋弱含み
綿糸低落

●麻袋 產地錢八分の三安、靑八分の三安、爲替同事、地場鈔票弱保合で當市は氣乘薄く見送る引際氣配は現物三十八錢五厘、當限三十八錢五厘、六月三十六錢三厘、七月三十六錢五厘、八月三十六錢五厘、九月三十六錢七厘、十月三十六錢八厘見當
●綿糸 米棉現物五ポイント高、先限一、二高、印棉四留比高、米日爲替十二仙高、大阪三品は當限一圓九十錢安、先一圓安に寄り引は各限四、五十錢高と引締り當市は不氣乘閑散

銘柄	約定期	値段	個數
福助	七月限	一八三二	二〇
同	同	一八三五	三〇
出來高	五十梱		

市場電報（四日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一九片一六分七
同先物	一九片一六分一
紐育銀塊	三五仙八分一
孟買銀塊	六留比六安
スチール	四七弗八分五
アナコンダ	三弗八分三
英米爲替	三弗八九仙〇分〇
米日爲替	二四弗二三仙
米支爲替	三五弗三五仙

神戸日米

第一回	三弗八分七
第二回	三弗八分七
第三回	三弗八分七

棉花

●米棉

現物	八仙三〇
七月	八仙二五
十月	八仙二五
十二月	八仙四四
一月	八仙四七
三月	八仙七一
五月	八仙六六

滿洲日報
發行人 鈴木一 編輯人 橋本 印刷人 本村武
大連市 發行所 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢 一部賣 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金一圓六十錢 場所指定 二割以上加算

停戰斡旋の運動は眞面目に受取れない
支那側の狡猾と執拗を憤り 痛烈、我陸軍の聲明

【東京四日發】陸軍中央部は四日談話の形式で左の痛烈なる聲明を爲しその決意を明かにした
四月中旬長城線に在つた商震揚正治軍は我軍の攻擊に依り灤河右岸に潰走したが四月二十二日關東軍が關內不進出の方針に基き長城線に復歸するや之れに乘じ王以哲、何柱國の敗將灤河を越え又もや長城線に接近し來り執拗に挑戰を繼續しつゝあり**若し之れ以上隱忍せば滿洲國の國土防衛困難となる懼れあり**一方何應欽等頻りに外國公使に對し停戰斡旋の運動を爲しつゝある樣なるが**これ一時日本の鋭鋒を緩和する策謀であつて**其の誠意は毫も認め難し依つて恒久平和の將來を大眼目とするためには**喜んで犧牲を拂ふ決心がある**故に寛大な我軍行動の持續と否とは支那の態度如何に依る

第三國代表の介入は直接交涉原則に反す
南京政府の停戰希望に對してわが外務省靜觀態度

【東京特電四日發】日支休戰調停に關する蔣介石の態度につきてはわが外務省は次の如く依然靜觀主義を以て終始せんとする模樣である
蔣が北支における日支抗爭を防止し、日支正常關係の復歸に寄與するため駐支英米公使に調停を依賴し、且つ黃郛を北平政務委員長に任命するに至つた心情に對しては同情を禁じ得ない、併しながら日支停戰交涉、若しくは直接交涉の基礎を築くために第三國の代表者を介入せしむるが如きは日支直接交涉の大原則に悖り、寔を以て寔を制するの皮殼を脫せざる行爲であるから輕々に我方としては受諾し難い、黃郛が就任と同時に北支における支那側の軍事行動を一切停止し、支那軍隊の撤收を履行し、且つ對日ボイコット、排日教育等一切の排日運動を嚴重取締るべきことを約し、これを現實に履行する場合においてのみ日本側としても停戰交涉若しくは緩衝地帶設置問題に關し地方的交涉開始を考慮するであらう
右の方針は陸海軍部當局にても略意見の一致を見てゐるとのことである

劉軍は戰死百名、負傷者五十餘名を出した

停戰問題魂膽
何應欽の打つた芝居か

【奉天電話】最近支那側で頻に傳へられてゐる日支停戰交涉は何應欽が現在の中央軍をもつてしては北支における雜軍並びに舊東北軍の整理を斷行することは到底出來ず更に日本軍の進出をも抑へる自信なきため、北平に在る英、米、佛三國公使に盛んに運動を試み停戰交涉を依賴してこれによつて日本軍の進出を一日でも遲延さすべく極めて狡猾な策より出でたる何應欽の打つた一芝居で、從つて何等誠意あるものではなく三公使團でも到底成立の見込なきことは明かであるため氣乘りせず何應欽の日支停戰運動も問題とされてゐない

方、于兩軍 開戰か
平漢線運行停止

【天津四日發】平漢線は去る一日以來運行を停止した、このため北平は保定、鄭州、漢口方面との聯絡輸送一切不可能となつた、鐵道從業員の談によれば保定附近で方振武と于學忠軍とが既に開戰せるためとの事であるが、開戰については未だ確報に接してゐない

反蔣派撲滅の暗殺團組織

【天津特電四日發】中央軍は平津地方の反蔣派に對し暗殺團を組織しその撲滅を期してゐるが、方振武軍と中央軍の衝突は反蔣派蹶起の導火線となる模樣で形勢重大視されてゐる

丁强支那兩軍 白石嶺で激戰

【山海關三日發】支那軍第三師は秦皇島を奪回せんと前進中と傳へられ、丁强軍は之を阻止せんとして秦皇島西方白石嶺で遭遇し多勢を頼む敵を擊退し、秦皇島入りを阻止したが、支那軍は應援隊增加しつゝあり、再度の激戰は免れまいと觀られてゐる

島村枝隊損害

【新京電話】興隆縣附近において激戰をした島村枝隊の二十六日以後における損害は次の如くである
戰死兵二、負傷士屋大尉、鷲田中尉、阿部少尉、下士官以下七十一名
支那兵は墻子路、楊樹溝の兩方面に分れ各々一千乃至一千二三百名となつて退却中であるため谷部隊は目下急追中

興隆縣支那軍退却中

【奉天電話】興隆縣より退却せる……

劉軍の壯烈な肉彈戰

【奉天電話】二十八日多倫を占據した滿洲國軍劉桂堂軍は去月二十五日林西より行動を開始して以來各地の敵を擊退し、二十七日多倫に山西軍趙承綬軍の攻擊を開始し二日間に亘る猛烈なる攻擊も城壁堅固なるため陷落せず遂に六百名の決死隊を組織して城內に突入肉彈戰の後これを占據したものでこの戰鬪により敵は死體二百、機關銃、小銃彈多數を遺棄して潰走し、劉軍の損害は判明したのみでも死者六百名を出してゐると

支那街にも爆彈投下 天津公安局狼狽

【天津三日發】發電所、領事館官舍と續け樣の爆彈事件に驚愕して支那官憲は嚴重警戒に當つてゐるが、日本租界に隣接せる支那街南市にも爆彈を投じた者あり、公安局は大狼狽し十時半から臨時戒嚴令を布き物々しき警戒をしてゐる

嫌疑者逮捕

【天津四日發】爆彈事件突發と共に警官隊總出動遂に軍隊も一部出動し非常警戒に就き內外人の別なく通行人一人々々の身體檢査が行はれたが、午後十二時二十分頃警官の誰何に逃走せんとした二人の支那人を嫌疑者として逮捕し目下嚴重取調中である

齋藤、高橋兩相は近く會見せん
晴曇を分ち難き政局

【東京四日發】高橋藏相辭職說傳へられ未だ實現せず或は最近の機會にて齋藤、高橋兩相の會見となり愈々實現すべしと言はれてゐるが一方此の儀、居据はるとの觀測も行はれてゐる右心境の變化は元老重臣方面より高橋藏相に對し非常時日本解消せざる今日辭職するは無責任なり、藏相は政友會の閣僚として入閣したものでなく元老重臣の要望に依つて入閣非常時日本の財政を背負つてゐるものであり辭職許されざるは當然なりといふもの出でたる爲めである、然し既に高橋藏相は辭めるといつて行くと言明してゐる以上高橋藏相の辭職は當然である、只藏相は辭職時期を伺つてゐるに過ぎぬと云ふものもあり、更に政友內部にも高橋藏相の意思を濫り種々說を爲すものがある何一說には齋藤、高橋兩相の會見は警察部長會議後と見てゐる向もある

この非常時局に政爭は遺憾
近く上京する宇垣總督語る

【京城特電四日發】中央の政治問題に關し一切沈默を持して帝國の大陸發展の先驅を承はる朝鮮總督の任務や重大なと一意家公の至誠に邁進してゐる宇垣朝鮮總督は愈に五月東上を發表するに際し、政談一夕を爲したので、さてこそ惑星來ると中央政界に衝動を與へたやうであつたが、當の御本人は暇かなもので
擧國一致この難局を打開せねばならぬのに、政爭のみに沒頭するやに思はれるのは苦々しいことやないか、それも陣笠連が騷ぐのなら兎も角政黨に重きをなすものが騷ぐなどは遺憾のことぢや、僕の東上は來年度豫算の大綱について中央政府の諒解を求むるものであつて他意はない、この頃噂されるやうに內閣が安定しないのなら東上の必要はないのだから僕の東上期は內閣安定後に決まるのだ、何とか彼とかいつたつて十日頃までにはつきりすると思はれるが、どうかな、それから軍部內に抗爭があるやうに今なは傳へるやうであるが、昨年東上の際國民全體が擧國一致を要求してゐる今日、その中樞ともいふべき軍部に對し斷かる噂を立てられるのは遺憾の極みであるから徐々結束を固くせねばならぬと意見を述べたに對し首腦部も同感であつたので、今日斷かることのあるべき筈はないと信ずる、恐らく軍部に對する認識不足が軍部內を離間せんとする劣惡分子の宣傳に過ぎまい兎に角小異を捨て大同團結、眞に擧國一致の正道に邁進すべきの時で、紛々たる巷說などを氣にする場合ぢやない、それよりも滿洲國の堅實な發展を祈つて止まぬ、……なもどんな田舍にいつても大手を振つて步けるやうになつたのは近年のことぢや、滿洲國內の治安維持だつて少くとも十年はかかると思はねばならぬが、隣接地の朝鮮からどしどし入つて行つて大いに開發に努めることが吾々の責任と思ふから來年度からその點に力を入れればならぬと思つてゐる次第だ、東上も何時か分らぬが今回はこの根本方針確立が主要用務だと語つた

使命の重きに鑑み獻身的に働く覺悟
經濟兩代表の聲明

【東京四日發】世界經濟會議帝國代表石井、深井兩氏及び隨員一行は齋藤首相以下各閣僚始めホームを埋める多數の見送り裡に午後零時半東京驛發臨時列車で橫濱に向ひ、一時十四分橫濱岸壁着、龍田丸に乘込み群衆の萬歲裡に午後三時出帆渡米の途に就いた、石井、深井兩氏はこれに先だち左のステートメントを發表した
世界は今や非常な共通的不況に襲はれ、之を除去するため何事か共同して爲さればならぬと各國共考へてゐる、私共使命の重きを考へ自己の微力を思ひ心を……

日英輸出織物の販路分野協定
イギリスの提案要旨

【ロンドン三日發】英商相の提議にかゝる日英民間當業者協議案に對する日本政府の質問は松平大使の手を經てランシマン商相に提出された、これが回答を得次第、大使は本國政府に打電し更に政府の指示を仰ぎ、來週頃再びランシマン商相と會見する筈であるが、英政府としては日英當業者の協議會を世界經濟會議以前にロンドンにおいて開きたいから日本當業者の代表を出來るだけ早く派遣して貰ひたいとの希望を示してゐる、この案はランシマン商相がランカシア紡織業者と協議した結果生れたもので、ランカシア方面では商相を歡迎し日英民間當業者の會合は出來るだけ早くやりたいとの意見が多い、イギリスとしてはその會合の目的がイギリスの實質的貿易販路を擴張することにあることは勿論であるが、イギリスの當業者はよく結束して日本との交涉に當るとの警告的氣分が濃厚である、イギリス側提案には左の如き方針が織込まれてゐるとのことである
海外市場中、ある特定の部分をイギリス輸出織物品のため優先權を與へ、他の一方を日本に讓ることで、つまり關稅調節よりも海外市場の分割をはかる方が協定に達し易い

忠誠宣誓義務

【ダブリン三日發】アイルランド自由國下院は三日英皇帝に對する議員の忠誠宣誓義務條項を自由國憲法中より削除する忠誠宣誓廢止法案を最終的に可決した

元帥刀傳達に松浦人事局長渡滿
祝電山積

【東京四日發】陸軍省人事局長松浦淳六郎少將は三日元帥府に列せられた武藤司令官へ御下賜の元帥刀を傳達する爲め五日午後九時半東京驛發新京へ直行する、尚傳達終了後在滿各部隊を視察し中旬頃歸京の豫定である

四日武藤關東長官々邸を訪問祝辭を述べた名士左の如し
安藤要塞司令官、同飯野副官、赤峰衞戍病院長、矢澤一等軍醫正旅順衞戍病院長、坪倉二等軍醫正、滿洲報社長西片朝三、旅順重砲隊將校一同、滿洲義勇評議員釘島實濱、日下內務局長、滿日社長松山忠二郎
なほ新京より廻送された祝電は主なもの數通に過ぎないが大使館の長官机上には各方面より祝電が山積されてゐると

地租前納命令 河北省各縣に

【天津四日發】河北財政廳は軍費捻出のため、全省各縣に民國二十三、二十四兩年分の地租を前納すべしとの命令を發した、天災と人禍のため河北地方民は極度に窮しつゝある際、種々救濟請願を爲しつゝある際……

英首相歸國

【ロンドン三日發】世界經濟豫備商議の重大使命を終へたマック英首相は三日午後三時ベレンガリア號でサザンプトンに到着し直に列車でロンドンに向つた、尚マクドナルド氏は今回ル大統領との會談の成果に關し四日下院で詳細報告の筈である

突如この奏令の施行は相當の紛議を豫期されるが、それだけに當局の決意も亦强硬なものがある

津島財務官

【ロンドン三日發】駐英財務官津島壽一氏はワシントンの世界經濟豫備商議に帝國全權の顧問として活躍すべく三日オリムピック號である

……稀めて居りますが、上は畏多くも聖上陛下の大御心を指針と致し、下は國民一般の聲援を拍車として心身のあらん限り帝國のため世界復興のため働く覺悟である

金約欵履行問題
ル米大統領の聲明

【東京特電四日發】アメリカが金本位を放棄して以來、同國政府公債の所謂金約欵履行問題が種々論議されてゐたがルーズヴエルト大統領は此問題につき左記聲明をなした旨ワシントンより入電があつた
米國政府公債の利札支拂のために金を輸出することを禁止する
米國政府公債の利子は公債を發行した所で支拂はれることになつてをり、これは公債を買つたものは誰しも十分に承知してゐる筈で、この際海外における公債所有者のため金輸出禁止條項を暫時停止することは國內の所有者に對して不公平である

門野顧問は來る十三日出發

【東京四日發】石井、深井兩全權の最高顧問門野重九郎氏は一行に遲れ十三日午後三時出帆のカナダ汽船エンプレス・オブ・アジア號でバンクーバーに向ひ二十二日上陸アメリカ經由ロンドンに向ふことになつた

ニューヨークに向け出發した

ドイツ產業聯盟
聯邦政府の統制下に

【ベルリン三日發】ヒットラー首相は愈々ナチス年來の宿望たる產業統制に乘出し、三日產業家聯盟會長クルップ・フォン・ボーレン博士と重要會見を遂げた結果、ドイツ產業界を綜斷する產業家聯盟を直接聯邦政府の統制下に歸屬せしめるに決した、但しボ博士は依然聯盟會長として留任することゝなつた

强制勞働奉仕 獨政府令公布

【ベルリン三日發】ヒットラー首相は曩に經濟再建四ケ年計畫の第一步として青年に對する强制勞働奉仕を實行すべきことを言明したが、愈々ドイツ國民中の男女に對して一定期間祖國に對する勞働奉仕に從事すべき義務を課するに決し、三日政府令を公布した、要旨は左の如くである
一、一九三四年一月一日迄に滿十九歲に達するドイツ青年は例外無く之を第一次强制勞働軍として徵集す
一、女子の强制勞働施行細目は追つて之を定む
一、第一次勞働軍は六月間勞役場に勤務す、しかして第一年度終了後においては勞働奉仕期間を一年間に延長す

各種事業に關し主務省と打合せ
八田副總裁上京用務

滿鐵重役會議は四日午後二時より開かれ、主として鐵道問題について協議し四時散會した、この結果を齎して八田副總裁は夕刊所報のごとく五日うらる丸で上京するが重役會議後、記者團との會見において左の如く語つた
滿鐵の增資案はさきの議會を通過し、これに基いて滿鐵の方の相談も出來たので增資後の事業の內容について主務省と打合せるために五日離連上京することになつた

滯京期間 は未定だが六月中は滿洲に居りたいので成るべく早く歸つて來る、小磯參謀長と會つて話を聞いたが、農地開拓會社の方もやる方針で進んでゐるやうだ、しかし同會社の設立に當つて東亞勸業を如何にするか等の具體的問題はまだ定つてゐない、滿鐵の監督機關をつくるとの話は參謀長からは全然きかなかつた、昭和製鋼所及び滿洲化學工業會社設立に伴ふ

販賣機關 を如何にするかは現實に製品が出るのは二年さきの話なのでまだ具體的には話は出てゐない、たゞ銑鐵はそれまでに引續き賣られねばならぬので社議決定までの便法として現在のまゝやることになろう、北鮮鐵道の交涉はこれからで、委任經營になれば獨立の機關をつくつてやることにならうがまづ契約を作つてからの事だ

金福鐵道の補助金
總計九十萬圓

金福鐵道に對する補助問題はその後同鐵道と滿鐵および關東廳當局の間に交涉が行はれてゐたがこのほど決定、和田金福鐵道副社長は五日來連、關係方面に挨拶廻りをする筈、補助金は打切の形式をとりその金額はなほ極秘に附せられてゐるが大體四十萬圓で關東廳およ滿鐵が折半して負擔し、さらに滿鐵は金福鐵道の貨物を滿鐵線に連絡輸送することによつて得る利益として約五十萬圓を割戾すことゝし、結局總計九十萬圓の補助がなされるわけである、金福鐵道は既に七年度は六年度に比し三二%の收益增であり八年度は銀高による戎克との競爭力の增大により七年度より五〇%增加見越されて居り、將來は瓦房店の開發や城子疃安東間の自動車營業の開始等により同線の輸送量が一層增大する見込みなので、今次の補助金を社債借替へに當て、爾後十箇年計畫で自力更生をなすことになつた

北滿外商の紛爭對策
貨物仕向切替

東支鐵道の紛爭はますく紛糾し最近ソウエート側の無誠意からポクラニーチナヤ封鎖說まで唱へられるに至つたが、この結果北滿外商筋も本問題の經過に極度の神經過敏となり、卽ち從來東支東部線を主要地盤として活躍をつゞけてゐたワッサルド以下の外商筋は萬一ポクラ封鎖が實現すれば東部線の不通となり今後の特產取引に大支障を來すため既に外商筋では東部線仕向の貨物を漸次南部線に切替んとする形勢も現れ、これ等外商筋の親玉ワッサルドでは大連支店長フロム・エルム氏に命じて滿鐵側の情勢を調査せしめてゐる、而して同氏は三日滿鐵々道部を訪問森永連運係主任と約二時間に亘つて懇談を重ねるところあつたが東支問題今後の成行と共にこれ等外商の動きは、北滿特產物の輸送徑路に大變化を與へると共に特產界に大影響を及ぼすべく最も注目されてゐる

軍縮委員會 獨修正案審議

【ジュネーヴ三日發】軍縮一般委員會は三日午後五時より開會、英國案に對するドイツの修正案を中心に審議を行つたが、席上英代表エデン大佐はドイツ代表との私的折衝の結果に關し左の如く言明した
ドイツ修正案に對し英政府は妥協私案として歐洲大陸各國に對し一定割合の武裝警官を保有することを許容する提案をなしドイツ政府は之を受諾、他の各國も僅少の修正を加へた上で同樣右提案を受諾した

松岡氏名古屋へ

【靜岡四日發】松岡洋右氏は四日午前十一時半靜岡驛着少憩の後十一時五十分發で名古屋に向つた

社説
武藤元帥の榮譽と任務

五月三日、武藤大將に元帥の稱號を賜る。大將が人格高邁、武將としての功勳拔群なるは既に十目の見る所、十指の指す所である。殊に最近にありて、滿洲事變の後を承けてその善後の重任に當り、日滿議定書を交換しては日滿兩國の國交を磐石の固きに定め、熱河平定を最後として全滿治安維持の功を遂げ、又滿洲に於ける日滿兩國の民心の安定を導き、兩國文武官の融合に力を盡して、滿洲國國成發展の基礎を造つた。その功偉は百戰以て堅軍を破るにまさる。その勞苦の大は萬策以て兵を賦するに勝る。聖上之を嘉し給ひて武將最高の榮冠を賜はるも亦由る所ありと云ふ可きである。

◇

思ふに、滿洲國は既に創立時代を過ぎて、今や建設時代に入つた。既に置かれた基礎の上に、之の組織が出來たので、是れからは内部の造作に取り掛られねばならぬ。新國家を良くするも惡くするも此の造作の作り方如何に待つ所が多い。その爲めに今後大將の任務は益々重大となる。その任務としての大切な點は、よく日本の國意を體して大達觀し、大綱を把持して苟も誤る所なきにある。滿洲國の新國家建設に對する熱誠の人心の安定を諾り、在滿の新國家建設に對する熱誠を觀し、日滿人の心的融合を闘するなど、皆今後大將の爲すべからざる重要任務である。大將の人格と力量とは相ともに此の重要任務の遂行に十分である。今度元帥號を賜はりは、此の任務の遂行に更に確信するを得しめんとする國家意思の表現とも見る可く、大將の責任に重大を加へたと云ふ可きである。吾人は平素大將の人格と力量とに推服する者、大將が此の重任に當りて遺憾なく確信する。大將、聖恩を畏み「玉の緒の續く限りは大君の惠にこたへまつらん」の……

御遷座祭

大連神社の新社殿御造營の功成り、今五日より始めて、御遷座祭が擧行される。先づ五日には清祓、新殿祭の御式あり、六日、七日は御飾、八日は本殿御遷座祭、九日奉祝祭ありて、以後十一日まで春季大祭となる。同神社には現在天照大御神、大國主神、靖國神を奉齋しありて市民の氏神として一般に奉祀する所である。即ち此の御神事は三神の御靈代を新社殿に奉遷するのであるが、此の機會に於て新たに明治天皇の御神靈を奉齋する事になり、併せて今度新に靖國神社に合祀された諸神靈をも奉齋する事になつてゐる。

◇

夫れ祭神は皇國の基本である。我國政治道德の根源は唯祭神の一事にある。無始の始めより無終の終りまで一貫する皇國の精神は唯神事によりてのみ發揚される。國民精神の注入も顯現も祭式によりて完全にされる。民心の統一も國力の發展も是れに由りてのみ完成される。我が學校教育、社會教育の本體は此處に置かれればならぬ。されば各地に必ず神祖の御神靈を奉祀し、要するに、神祖の御遺訓な繼承し給へる御神靈、又之れに貢獻し給へる諸神靈を以てし、毎年祭式を擧行して國民意識を放散せしめざるを期する。今次の御遷座式、奉祝式に際しては、市民一同すべて此の意義を徹明し、敬虔以て奉祀す可きである。

關東州野球大會（第六日）
13—4 國際勝つ
對取引所戰に

本社主催第十八回關東州野球大會第六日目（四日）國際運輸對大連取引所の準優勝戰は午後四時廿分より滿倶球場において安藤弟（球審）吉野、安藤兄（壘審）三氏審判の下に國際先攻で開始したが十三對四で國際大勝閉戰六時四十分

◇

期待されて居た松木の着運に依り取引所チームは松木を四番に据ゑ野原から池永まで水も漏さぬ打順で國際の堅陣を攪亂せんと企て、老雄岩瀬自らプレートを守つて國際の矢面に敢然起つた、先づ一回表岩瀬は輕く國際を一蹴し、同裏には野原二球目の直球を三壘打し武井の死後玉井もまた二壘打して出で更に松木、圓城寺の連續四球と岩瀬の右飛で堂々三點を塊げて幸先きよきスタートをなした……

經過

國際	0	1	4	0	0	2	3	2	1	13
取引	2	0	0	0	1	0	1	0	0	4

優勝戰
六日に擧行

本社主催第十八回關東州野球大會準優勝戰も四日を以て終つたが國際運輸對南滿電氣の優勝戰は愈々來る六日午後三時より滿倶球場に……

勞働需給調節の青帮制度計畫
滿洲勞働界に新紀元

【奉天電話】相互扶助の精神から生れ今日まで發達し依然全支に數十萬の結合を有する親分子分の組織で船舶その他の積荷勞働を初め一般勞働者の需給調節する機關として發達して來た支那青帮制度は上海から揚子江沿岸に相當の根據を有してゐるが、滿洲にも青帮制のものを組織せんと畫策する者がある、それは滿人が嘗て全支を統一した時滿洲人……

待遇改善問題に穩健な態度
滿鐵社員會評議員會の議題

……

石油自給策の國家統制策
商工省鑛山局成案

【東京四日發】商工省では石油自給策上緊急事であるとの建前から劃時代的國家統制を斷行すべく鑛山局で研究の結果、次の二つの原案を得たが、陸、海、大藏、拓務各省と協議した上最後案を作成の筈である

一、國家管理案　生産輸入販賣の權利一切を國家の獨占とし、この權利を委囑のため大合同石油會社を設立する右會社は石油專賣利益金から相當額を政府に納附す、政府は納附金と持株配當で低溫乾餾工場を設置し、代用燃料奬勵に充つ我國にある外國石油會社の持株を強制的に買收する

一、許可制に依る統制案　石油輸入に許可制度を採用し、製油所を有し生産しつゝある者にのみ之を許可す、原油輸入を無税又は低率關税、製品輸入は高率關税を賦課する、英米資本系統以外の原油供給確保のためロシア、ルーマニアから輸入を圖りボルネオ石油會社を助成す

鮮鐵委任經營大體方針を決定
滿鐵重役會議にて

北鮮鐵道委任經營に關する滿鐵重役會議は四日總裁室で開かれたが正副總裁以下在連各重役、宇佐美總局長等出席、午後は石原鐵道部附參事も加はつて詳細説明をなし、いよ〳〵報償金その他について滿鐵としての大體の方針を決定した。從つて村上理事は石原參事、穗積技師等に命じて最後の調査を行はしめ八日ころ石原參事、穗積技師參事等を帶同約一週間の豫定で京城に赴くはずであるが、京城において鮮鐵局幹部と會見し鮮鐵側の要求その他充分に先方の意見を聞き腹藏なく意見の交換を行ひ、委任經營の根本方針について圓滿なる了解を遂げることゝなつてゐる

蒙古人教育方針
實業教育普及に努力

【新京電話】滿洲國においては建國以來、滿洲人の民度向上のため盛んに教育の振興をはかりつゝあり、その成績見るべきものがあるが、一方數千年の歴史を有し一時は世界的に名を轟かした蒙古民族も現在においては滿洲人以上に民度低く而も蒙古地域には何ら教育機關の設置なく、これが教育振興に關しては政府當局において同地方の産業開發政策と共に研究を重ねて……以上の結論として政府當局の意向は變するに徒らに高等文化人の養成に當るよりも土に塗れたどつしりした黒い蒙古人を養成せんとするものである

奉天外人に公費賦課

……

日下局長招宴

日下關東廳内務局長は四日午後六時より青葉において廳内各課長、各係主任その他七十餘名を招し盛宴を催した

大淵理事渡滿

【東京特電四日發】大淵滿鐵理事は三日夜九時四十五分東京驛發列車にて滿鐵本社に向け出發した

危險物取締規則

關東廳に於ける危險物取締規則はいよ〳〵五日附を以て關東廳令として公布され七月一日より施行されることゝ決定した

關東廳辭令（四日）

關東廳囑託部　兼關東廳囑託　安田謙太郎
外務省へ出向を命ず

人事

▲河本大作氏（滿鐵理事）四日午後四時三十分發列車で北上
▲金關丈夫氏（京大助教授）同午後三時着列車で來連ヤマトホテル投宿
▲牛澤玉城氏（外交時報社長）五日出帆のうらる丸にて離連、歸京する
▲武田胤雄氏（營口滿鐵地方事務所長）四日七時五十分來連ヤマトホテル投宿

東邊道の資源を探る（18）
難波勝治

寬甸、輯安二縣の農產物收穫
今後の盛衰は交通設備如何

概言すれば滿洲側の縣治事情がどうあらうと、その土地々々の民氣がどうあらうと、鴨綠江右岸の串貫道路修築は必然の要求である、殊に同じ東邊道でも寬甸、輯安二縣は、安東が昔から唯一の貨物積出地であつた、林木は勿論作物にしても、一に鴨綠江を搬下して安東に集散し、更に奧地に必要な物資を買取るのが慣習であつた、それが近來滿洲側における森林地の伐採區を漸減し、且つ從來重に山東方面に需要された柞蠶繭糸な、大部分日本内地の織物工場に吸收されることゝなり、必ずしも道を安東に擇ぶに及ばなくなつた

尤も朝鮮側の林產物は、營林廳の中心地がなほ廠面積の多くを殘す關係上、鴨綠江の水運をさう悲觀さるべきでないが、しかし朝鮮東岸の發達と共に、鑛目當ての商取引、並にそれを充す交通機能の開通計畫は、年々に多岐多端となつた……

市況（四日）

家庭

『アヤメ』の珍種發見 南關嶺で
大連一中の小林教諭等

▼…大連一中の博物研究會員數名は去る四月二十七日の臨時慰靈大祭の午後を利用し小林勝先生に引率されて南關嶺へ博物採集に出かけましたが色々な植物の珍種を採集してかへりました、中でも最も注目に値するのはアヤメの一種で、花は莖の高さに比して大形でありますが外花蓋は非常に細く、色は紫黄色で細い紫條が澤山見え子房は殊更に細くて殆ど地面に接するほど長いものです

▼…小林教諭は其後種々の文獻によつてこの植物を研究中でしたが未だ何處の文獻にも見當らず恐らく全くの新種に違ひないとして假に「ヒメホソバネヂアヤメ」と名づけて近く植物學會に提出すべく準備中です

▼…なほ當日はこの外關東州內ではかつて發見されなかつた「アンザンアヤメ」數株、其他州內でも珍しい「マンシウスミレ」「ハナイトバカラマツサウ」等多數の收穫があり、在來植物研究家にはとんと顧みられなかつた南關嶺も大連一中博物研究會員によつて一躍重要な植物採集地の一つに數へられる事になつた譯です（寫眞は新發見のヒメホソバネヂアヤメ）

ハンドバッグ類の若返り
お試し下さい

革のハンドバッグがよごれましたら淸潔な絹天の小布にキハツ油を含ませ內外共に丁寧に擦つてよごれを落し、あとをきれいなやはらかい布で拭きとります、よごれのひどいのはキハツ油に浸す位にしてブラシで擦り洗ひおとします。乾かして良質のクリームを塗りやはらかい布で磨上げますと新しい物のやうになります、殿方の折鞄や皮の財布、スーツケース類も同樣にすれば若返ります

乳幼兒愛護週間に 私のお願ひ（下）
大連醫院小兒科醫長 浮田友樹氏談

◆…世の中で一番罪が深いと思ふのは骨が金儲け、嘘の肉でくるんで外に神樣の皮を張つたり學問の衣物を着せたものです、學問自體にも色々缺點がありまして生きた學問死んだ學問とありますちりちりばら〳〵になつた學理は時に全く死んだ骸骨の學問でありますその一番の例がカルシユーム、ヴイタミン紫外線或はホルモンとかいふ樣なものでせう、これ等何れも人の身體に大切な缺くべからざるものです、然しそれだけでは何もなりません、かう云ふちり〴〵ばら〳〵の學理を人の生活に一番大切なものと思はせたり又思つたりして、われ〳〵の生命を鈍らせる事も屢々見られる事實であります、溫室でならせた果實の美しさで人の子供の發育を夢みたり、實驗室內で不自然な動物實驗の結果だけで人の子の榮養法を考へ出したりする事もあります、人間は少くとも植物や動物とは違ひ子供として子供の魂があります、精神があります、さう簡單には行くはずがありません、四、五年前のことフランスの或る新聞に左の樣な論說が出てゐました

◆…赤ん坊が生れるとさあ種痘、結核の豫防接種、ヂフテリヤ、猩紅熱、百日咳の豫防、水痘も小兒痲疹もワクチンをやれ、牛乳を豐富にやれ、母乳を飲ませよと、とても澤山の仕事に母は何をほんとにせねばならぬか見當がつかない

といふ樣な意味がありました、これはほんとに無理からぬ事であります、滿洲にありましても色々と有益な意見が述べられて居ります太陽燈を買へ、紫外線硝子を用ひよ、一重窓とせよ、欄間を設けよ壁を改良せよ、ペチカは有害なり溫水煖房に改め窓を開けて寢よ、カロリーをとれ等いくらでもあります、これ等が皆自由に出來ましたら何も申す事はないのですがせいぜい南向きの家にでも入つたら幸ひとせねばなりません

◆…四月七日鳩山文相は、ラヂオ時局特別講演に「聯盟脱退に關して」と題してかういふ事をいはれました

只今日本は國難に遭遇してゐる然し外患といふ意味では此度より遙かに大きな國難に再度ならず見舞はれて居る、而も、今日まで我神聖なる國體を恥かしめなかつたのは上御一人より下庶民の末に至る迄愛國の念に溢れ內憂といふものがなかつた、外患恐れるに足らず只內憂を恐ると云ふ一節がありました、これは我が日本の國の話しでありまして人間の體の事などにたとへるのはどうかと思ふのですが誠によい敎訓であるのです

◆…病氣を恐れ、家屋にあらゆる防禦方法を講じ己は中に蟄居してびく〳〵して居るとすれば、それは張學良が日本の軍隊を恐れ防備に汲々としたり、我飛行機を怖がつて、地下室を設けブル〳〵慄へて居る樣なものです、人間も一動物であります以上、動くといふ事がわれ〳〵の生命であります、われ〳〵は動かなかつたらわれわれの健康は保てません、そこに內憂がかもされて來ます、國家に於ても外敵に備へる爲めには非常な軍費を要します、人間の身體も外の病氣に備へるには莫大な金が要りますが內憂を避ける爲めには出來るだけ大自然にふれよく動けばよいのではないでせうか、然し我々は學問に反逆する事は出來ません、どうしても學問を骨子とせねばなりません、關東廳及滿鐵の努力はむなしからず殆ど晋々の進むべき道を敎へられてゐます、これから脱線さへしなかつたら安全といつても差支へないと思ひます、只共同一致步調を揃へて進むことが大切です

◆…私は最後にお願ひがあります、自分で家を建てられる方は出來るだけ理想的に衛生的に設計される事が必要ですが折角自分の家が衛生的でもその附近が不衛生であつたらどうでせう、恰度芥箱の中に石炭酸を抱いてゐる樣なものです自分に能力のないものはその芥の中で裸で動いて居るわけです若し海岸の砂の中の樣に、又は廣々とした田園山野であるならば石炭酸の御厄介にならずに共に健康でありませう、それで若し出來る事ならばそれ等の餘財をもつて心ある有力者の力により滿洲都市の綠化運動を起して貰へないでせうか、森林は都會の肺臟であります これが本年の乳兒愛護週間に於ける不肖浮田の心からのお願で御座います

肥るのは厭 痩せたい そして背高く

【問】二十二歳の娘ですが肥つて恰好がわるいので困つてゐます、何か適當な痩せ藥又は痩せる方法はありませんでせうか、それに背ももつと高くなりたいのですが無理な願ひでせうか（肥りすぎの娘）

無理に痩せることもありますまい

【答】貴女の年配では肥つてゐるといふことも健康の一つの徵として無理に痩せることもないと思ひます、痩せる藥もいろ〳〵ありますが、中には害があつたり、或は用ひた時は一時奏効しても止めれば直ぐ元のやうに肥つたり、本當にお勸め出來るやうな藥はありません、それよりも日常の食物に注意して特に糖分のもの脂肪分のものを減じ、身體の運動を増す樣な方法をおとりになつたらよいと思ひます、身長を高くすることは貴女の年齡ではお氣の毒ながらこの上餘り望まれません（三浦學）

何事にも根氣がない 腦病か

【問】二十歳の青年です、現在身體には別狀ありませんが何をしてもいやになり長つゞきがしません、何か事を始めやうとするとそれが心配で恐ろしいやうに思はれ、人中へ出たり人と對談したりすることが最もきらひで訪問など苦痛の種です、萬事かういふ具合で他の人から見たら可笑しいと思はれるでせうが事毎に氣を遣ふのです、少年時代からこんな工合でしたし別に神經衰弱でもないやうですが、母が若い時腦病持ちだつたさうですから私も腦病なのでせうか何か良い精神の轉換法をお敎へ下さい（惱む青年）

病氣はあるらしい 運動をなさい

【答】貴君のは小さい時からの症狀のやうですが何かスポーツでも始められたら効果があると思ひます、色々な事を申上げて却て貴君の神經を尖らすことになつてもいけませんが唯腦病者（精神病者）は自分では「俺はキチガイではない」と信じ切つてゐるものですのに、貴君はさうでないかと心配されてゐる位ですから狂人ではありません、しかし腦神經の病氣はあるやうですから專門醫に診てもらつて適當な處置をなさい、氣の合つた快活な友人と交際すること、つとめて戸外散歩、登山その他の運動を行ふのは大變よいことです（土井三郎）

親が悩む子弟の教育

內地の工業に入れゝば學資が續かない
早く獨立させるにはドウする

【問】四男二女の世親でございます、長男は今年六年に在學してゐます、學校の成績は一般によい方でございますが特に機械を分解したり組立てたりする事に興味をもつてゐるので、この分だつたら工業學校に入學させたら將來早く獨立する事が出來、成功を收めはしないかと考へます 中學校へ還つても卒業後の就職は覺束ないし、商業とも考へてゐますが、やはり子供が興味をもつてゐる工業學校に進ませてやりたいのでございますが何にしましても中等程度の工業學校がこちらにないので內地に送るよりほか方法がなく、さうなると現在の家庭の經濟狀態では毎月三十圓の學資を仕送る事は不可能です、こちらで通學するのでしたら或る程度までは家庭の經濟は犧牲にしても一まとめに學資を支出しないのでやれるのです、でこちらで工業學校にやるためにはやはり中學校を卒業させて工業專門學校にでもやらなければ方法がないし、すると次々に弟妹が後に控へてゐるので經濟は益々困難になると豫期してゐるのです、で出來得れば中學程度の工業學校を卒業させて早く獨立させたいのですがどんな道をとつたらよろしいでせうかお伺ひいたします（大連山田さと）

特徴は飽くまで伸してやれ
內地に送らずともこちらで中學校へ

【答】出來れば本人の趣味は理解と能力をもつてゐる學科の方適ひそれに對して相當に力を注ぎその研究に努力させられる事が最もよい事だと思ひます、實際にそのお子さんと家庭の狀態を知つて居たら本人の趣味の度合その強さ又それを遠い將來に向つて伸ばして行く上に於て行き詰らないで伸びる力があるものかどうか詳細なことが判明するので私一個人としての意見を申し上げる事ができるのですが直接知つてゐるのでもないので確然たるお答へが出來兼ねるのです、がそのお子さんの能力に應じてできる限りの助力は與へて欲しいと思ひます然し充分考慮しなければならないことはたゞ小細工が好きといふだけでやる場合もあり、それが將來ずん〳〵伸びるだけの永續性ある能力をもつてゐるかどうかが疑はしい事もよくありがちの事ですからその點充分考へにおく必要があると思ひます

▼……▲

將來伸びる芽生があれば他に多數の弟妹もゐられるため相當な學資が入用の事とは思ひますがお子さん全部が同趣味をもつてゐられるのでもないでせうし、それ〴〵お子さんの性格に從つて趣味も違ふと思はれます、親として全部に同等な敎育をさづけたいのが情ですが、といつて折角備へてゐる能力を其他の弟妹に不等な敎育をさせるために無下に棄てゝしまふとは惜いと思ひます、この考へ方は第三者の立場から申して親御さんには冷淡のやうに聞えるかも存じませんが私は能ある者は特別にそれを伸ばしてやることが最も必要なことぢやないかと思ひます

▼……▲

でその目的を達するためには是非內地へ送られなくてもこちらで中學校へ送られ中學を卒へて工科なり旅順の工大なりに進ませられたらいかゞでせう、學資の點で中學卒業後その志す專門學校へ行けないとすればその人の性能次第では關東廳、滿鐵の奬學資金を利用する事もできるのです、其方面に特別優れた智能があれば將來色々の事を研究する上にも一般の智識を必要とします、中等程度の工業學校ではこの點は不足と思ひます、その意味からも中學校に入學して一般科目を學習して工科なり旅順工大豫科に入學される事は意義ある事ぢやないかと思ひます（太田大連南山麓小學校先生談）

ミツタンとボンコ センソウノマキ
（42）橋本清史作並繪

テーブルノ ウエニ アッタ カミヲ ヨムト フシギ フシギ ハネノ ゾウリ ダッテ。

ミツタン ハイテ ミル コトニ シタ。 ナカナカ ハキニクイ ゾウリ ダヨ。

ハイテ アシヲ ウゴカスト ヤ ア！ トンダ トンダ フワ フワ フワ ト。

ミツタン ユクワイ ニ ナッテ アチラ コチラ フワ フワ・フワ フワ トリ ノ ヤウ。

滿日各地版

驛ホームの出入に入場料徴收か
出入客増加、雑踏を極むるに鑑み 奉天驛當局で講究中

【奉天】奉天驛プラットホームが常に雑踏を極め最近一老婆が列車から飛び下りさまレール内に落ち瀕死の重傷を負ふた事件あり、旁々今後益々人口の増加に伴ふて乘降客も多くなるので、この際ホーム出入に二錢乃至五錢の入場金を徴收し幾分でも雑踏を整理しては、との意見あり、目下奉天驛で研究中であるが、混雑を防ぐ點からいへば實施することは當然であり、ホームを散歩場とする者を取締り得るばかりでなく一部箱乘專門の掏摸を防止することにもなり旅客には便利となるので其の實施には反對する者は恐らくないであらうが、見送、出迎ひ人には多少迷惑であらう然し内地各驛においてはプラットホームには一切自由出入を許してならぬのであるから慣習となれば別に問題はないと見られてゐる

中央か省かに人が必要だ
各縣の状況を視察して 中川男奉天で語る

【奉天】男爵中川良長氏は三月來來奉し四月二日から約三週間安奉線から奉海沿線の各縣を視察し歸奉したが語る

四月中に歸京の豫定であつたところ滿洲國の地方行政を視察したいので奉海縣其他七、八縣の縣公署を訪問し地方の商民團、農會の代表者等とも會見し縣長縣參事官等の

實際 方面の行政關係を見學して來たが得るところは多くこれで吉林、興安省を始め新京を視察し遲くとも本月中には一度歸京する考へである縣政についても單に素通の見學であるため一切の批評はこの際差控へたいが中央政府と省縣の關係は地方行政の實體をよりよく知つた人が中央なり省なりに居ることが必要であると痛感した、何といつても地方の財政は疲弊し農村の避難民は相當縣城に集まつて來てゐるから縣公署の財政も容易でないらしい、素人觀ではあるが中央政府の關税徴收の開始後地方行政財政上に影響を與へたことは免れない、然し地方は匪賊の討伐により昨年よりは約三分の一に減退し

歸順 匪賊の數もかなり多く東邊道では飛行機により歸順を勸告するなど我皇軍は非常な努力を拂ひつゝあり僅かに十餘名で守備してゐる地方で一歩も匪賊の襲來がない程日本軍の威風にはいづれも匪賊は脅威を感じてゐる實状を目撃して來たが特に晝夜を分たず前線において活動し夜間十二時頃にも斥候を出し匪賊の動靜と状況を調査し時に奇襲をするといふ風で其の辛勞の程は想像以上であり感激に堪へなかつた、前線部隊の各將士の勞には感激せねばならぬ

氏は二、三日間滯在の後北行の模樣である

遼河々巡隊一行歸る

【營口】遼河水域治安維持の萬全を期すべく四月廿三日河巡隊を率ゐて鐵嶺及途中巨流河等遡上の壯圖を試みた遼河水上警察局第一分局長岡本忠雄氏の一隊は最初の豫定八日間即ち四月三十日頃歸着すべき筈のところ其後杳として消息を絶ち同本局においても極度に心痛して彼此と消息を得んものと努め居たが一方巷間の風説には匪賊の襲撃に逢ひたるならんと無稽の噂を爲し憂慮されてゐたところ、三日田庄臺より同隊が無事なる事の報に接した、同分局長歸着の上は疑問視された沿岸水路匪賊情勢等の包みは開かれ詳細の事情分明するであらう

創立記念日觀櫻會

【旅順】旅順衞戍病院創立記念並に傷病兵慰安觀櫻會は三日正午から同院内に於て擧行、矢澤、坪倉兩院長を始め職員一同、來賓には安藤、津田兩司令官、伴民政署長、米岡市長其他官民並に婦人家族連多數により式典を擧げ終つて爛漫と咲き誇る數千株の櫻下に設けられた祝宴場で矢澤院長の挨拶あり乾盃が交され在旅美形連總出動で酒間を斡旋、觀櫻祝賀野宴は遺憾なく發揮された、看護兵員の假裝行列、華やかな模擬店、餘興場の遠音囃子主客は勿論痛々しい傷病兵一同も今日ばかりは十二分の歡樂を滿喫した（寫眞は櫻下のメンテーブル）

更生の熱河
全寧赤峰二縣をみる

（一）

日滿兩軍が熱河省に入つてから縣政は全く一變し新縣政に依つて政治を開始してゐる、同方面の治安維持は日滿兩國軍警、地方自衞團縣公安局が相互に連絡を執つて之に當つてゐるが、治安の安定と共に今迄疲弊してゐた一般農村も段々と盛氣を呈して來たことを認めることが出來る、殊に滿洲國政府が阿片税の輕減を斷行したことは疲弊のどん底に呻吟してゐた「けしの國」の全農民に與へた一大福音であつた、今茲に全寧、赤峰各縣についての具體的調査を掲げて見やう

◇一、全寧縣

全寧縣は嘗て人口三萬を有してゐたが、現在では約二萬人に減じてゐる、此處には昨春迄、設治局があつたけれど財政的の理由で大同元年四月限り廢止されてしまつた、茲で民衆代表の話を聞くと大體左の如く口を揃へて軍閥の惡政を攻撃してゐる

軍閥の苛斂誅求と惡政の結果、全縣疲弊の極に達してゐる、人口は減少の一方で縣外に移住する者は非常に多かつた、併し日滿兩軍の手で湯玉麟の魔手が消えてから新政が布かれ特に阿片税の輕減布告の結果、地方民衆は何れも善政を謳歌してゐる、そして段々歸來する者が増えて來たし阿片耕作率も前年に比して素晴しく多くなつて來てゐる

又耕地面積は七千頃であつたが現在では約三千七百頃に減じ農村は到る處廢墟の樣な有樣である、之が原因としては

一、湯玉麟の苛斂誅求
二、阿片に對する多額の課税
三、軍閥の擾亂
四、殆んど無價値な興業銀行紙幣を人民に與へ現大洋を徴收せる事

の諸點が擧げられる

◇二、赤峰縣

赤峰縣は交通、商業貿易上の一大中心地で物資の集散頗る繁盛を極めてゐる、殊に赤峰城内は古來殷賑を極めた地點であるが、現在ではその面影もなく、經濟的に甚だしく疲弊してゐる、數年前の人口は十六萬三千七百餘であつたが現在は約八、九萬に減少してしまつた

◇

此の惡政の結果として遂に財政局及徴收局の税金收入は激減して各種機關の經費の不足や官吏俸給未拂を招き各機關の機能は麻痺沈滯して益々不正な惡税を課徴する樣になつた、例を擧げれば官吏の俸給は十一ヶ月分縣公安局職員は一年分未拂となつてゐた、又人民に課してゐた税金は

一、畝捐　全縣の旨地黄有面積は七千四十五頃であつたが惡政の結果と連年の炎荒の爲に人民が逃亡して現在では三千餘頃となつて徴税實收入が半減するに至つた、此の税率は毎畝一年征收大洋二角四分である
二、車馱捐　毎月約百元で之を地方警學補助金に充當してゐた
三、出街油糧捐　毎石細糧一角、粗糧五分
四、麻湯捐　毎百斤五分
五、屠宰捐　年收約一萬元（中二割は入札者に與へる）
六、奢侈舖捐
七、小腸捐
八、湯鍋捐

等あるが此の中でも小腸捐、湯鍋捐は極めて惡税である、赤峰全縣における大同元年度阿片産量、税額及畝數は左の如くである

種阿片畝數　三百七十頃
阿片税額　三十七萬元餘
出産量數　百十一萬兩餘

響水寺一周道路
各方面の開設要望頻り

【金州】山水幽谷の仙境として遊覽客の絶え間ない大和尙山及び山麓の響水寺は近く警察官救療所も設置されることに内定しその聲價は頓に高まるに至つたがこの名勝に通ずる道路が裏は既に完成し表も昨年朝陽寺に至る迄が竣工せしため登山並に遊覽者はその利便に快哉を叫んでゐるも朝陽寺より響水寺間を連絡する區間は施工することに計畫されたまゝ現在では放置の状態にあり此の間地元の住民は勿論外來者間にもこれが實現方を要望し近時その聲は頻に擡頭するに至つた、なほ南山戰蹟道路及響水寺迄の表道路に於ける數箇所の急カーブは此の程金州土木管區の手で緩和工事が施され大型滿電バスの運行も容易となつた

滿洲國の工業中心 奉天の一帶に建設
國内工業計畫案内容

【奉天】滿洲國が近く實施せんとする國内企業及び工業計畫案については既に大綱を決定し國家統制下における重工業と日滿統制經濟よりする輕工業及び日滿投資企業の範圍に區別し工業國税徴收の種類は去る三月一日鄭國務總理の聲明により根本方針は明かとなつたが右の内更に研究を要するものは審議委員會に附議し審議中で工業地としては原料の集散に便にして工業用水の豐富と動力等が重要視される關係から依然奉天が中心となるもので近く重工業に着手する筈である、但しその種類は嚴秘に附されてゐるも重工業は大東邊門外に設けられ輕工業その他は市政公署の買收地に何れも計畫されてゐる模樣で本年中には實施の緒に着くものと見られてゐる

大羅津の大黑柱 新安面長決定す
齋藤長治氏任命さる

【羅津】曩に金琪宅氏新安面長を辭し道會議員選擧場裡に出馬し面書記李春燮氏臨時面長代理となり後任面長の任命に就ては世人注視の的となり一日も任命の速かならんことを待望中の處二十六日附咸鏡北道廳勤務の齋藤長治氏拔擢任命され二十九日午後四時多數官民の出迎へを受け着任し羅津ホテルに旅裝を解いた

因に同氏は當年四十八歳の働き盛りで明大法科卒業大正八年大望を抱き渡鮮爾來朝鮮總督府警察官として一貫し總督府警視高等官四等となり昭和五年勇退し郷里にあて晴耕雨讀自適して居たが今時本道土木課勤務となり朝鮮一の新安面長に拔擢されたものである

同夜刺を通ずれば語る

全く寢耳に水の樣に二十六日任命されました、各方面に亘り放射状に發展する羅津當面の問題としては内地人教育機關の設置に保健衞生防疫施設や交通等と思はれるが何分とも市民の御鞭撻を仰ぐ外ないと思ふまあ宜敷賴む

露人店舗に怪彈丸

【奉天】去る一日午後九時ごろ千代田通りのロシア人經營外國物産舖に何者か外部路上より十錢玉大の鉛を二階に射込み窓硝子を破壞し、二日夜も同樣東支商業部に射込んだものあり何れも窓硝子を破壞しただけで被害はなかつたが五月一日のメーデー當日と二日間に亘り何れもソウエート系ロシア側の被害であり東支鐵道紛糾●折とて奉天署高等係では神經を尖らし目下犯人嚴探中

鎭江山の櫻
土曜日頃が眞盛り

【安東】風雨に祟られた鎭江山の櫻は一兩日滿開が遲れたが四、五日頃には咲揃ひ、六、七の土曜日曜が最も賑ふであらうと豫想されてゐるので安東驛では二日勢多事務助役が飛行機で奉天に向ひ上空から花信を撒布した

京城商議役員會

【京城】京城商工會議所では三日午後二時から役員會を開き

一、鮮滿間往復旅客運賃割引制度實現促進の件

につき凝議することゝなつたが右は一昨年來滿鐵側と種々折衝を重ねたるも今尙實現されず鮮滿交通關係は益々密接を極め其實現は鮮滿双方の利益なるを以て近く入城する村上理事に對し膝詰談判をなし急速實現を期せんとの意氣込みである

日本海時代現出に努力
岡田永太郎氏談

【京城】來城中の大阪商船專務、朝郵取締役岡田永太郎氏は日本海航路につき記者に左の如く語る

敦圖線の開通によつて資財の殺到が日本海に集注されることは言を俟たざるものであるが、社外船の活躍も大したものと想像される即ち日本海時代現出に際しては商船と朝郵とは相提携して益々地盤確保に努め積極的に幾多社外船の進出に對抗すべく覺悟してる次第である

世界紅萬字會の活躍

【鐵嶺】滿洲側民間慈善事業唯一の機關として活動してゐる世界紅萬字會鐵嶺支部では事變以來特に目覺しい活動を續けてゐる最近の事業統計によると三月八日より十五日までの間に無棺屍體八〇、曝露棺八四八、嬰兒屍體遺棄三二を處理し種痘五一二、施粥は一月以來[illegible]月までに一萬一千二百五十八人、施衣三百二十人あり、尙貧民學校を開設し男女生徒五十一名を收容して日本語教授を開始すべく準備中であると

正義團誓盃式

【奉天】滿洲國正義團は當時兎角の風評があつたが大いに内容の刷新を圖り不心得なる一部員の振舞によつて同團の威信を損じ一般民に嫌惡の念を抱かしめ延いては團の發展上遺憾なりとし之等不良分子の一掃を期したるため其後益々團員も増加し第四回誓盃式當時には三千五百なりし團員が現在では約五千名に達したので五月中旬酒井主盟の歸奉を待ち第五回誓盃式を擧行する筈である

中銀の附屬業務整理に着手
興業金融會設立

【新京電話】滿東三省官銀號の附屬業務は來る六月末をもつて滿洲中央銀行より分離されるがこれ等の附帶事業中當舖業務に關してはこれが統一のため資本金五百萬圓をもつて興業金融株式會社を新京に設立し更に各地斯業統一には奉天に公濟公司、吉林に永衡公司、チチハルに賓會公司、ハルビンに江豐公司を各百萬圓づゝ投資して設立せんとするものがあり、目下これにつき詳細檢討中である、而して奉天の公濟公司は在來の公濟棧、萬年泉、東興泉を統轄することゝなり既に各營業處に對し閉鎖を命ずるとゝもに從業員二千名につき整理を發表した、又開原の公濟糧棧從業員十八名の淘汰をなしたが最近更に鐵嶺地方で第二次整理を行ふことゝなつてゐる

金州の支那語講習會

【金州】金州では關東廳主催の下に左の方法に依り支那語の講習會を開くことゝなつたが講習希望者は本月五日迄に民政署に申込まれたしと、なほ初歩のものは去る三日より滿鐵補習學校に於て開講してゐるを以て同校に入學申込まるゝも差支へなし

△期間　自五月至翌年三月
△程度　急就篇散語程度より官話指南程度まで
△講師　滿鐵囑託菅適理氏
△入會金　全期間を通じ金一圓、別に月謝を要せず
△會場　滿鐵社員集會所を借用
△講習證書　會期中授業日數の三分の二以上の出席者には講滿證書を授與す
△開講の期日は追て通知

陸大生見學

陸軍大學生六十餘名は今井幹事以下の教官が引率、四日午前鞍山から首山に到着櫓山附近の戰蹟見學、同日午後五時遼陽着同夜遼塔ホテル、油屋旅館に投宿、五日午前九時五十分發列車で北行すと而して同一行中には久邇侯爵も加はり居らるゝが同侯爵は四日の夜も湯崗子に御宿泊遊ばされたと

赤十字施療

【金州】赤十字社金州支部では來る十三日より左の日取に依り管内の巡回施療を行ふと

△十三日馬家屯會△十四日新金州及南山會△十五日小孤山會及大孤山會△十六日董家溝會△十七日黄咀子廟會△十八日玉皇頂會△十九日登瀛屯驛及徐山會△二十日廣寧寺驛及劉家店會△二十一日二十里堡會及閻家樓會△二十二日老虎山會△廿三日愛川村及大魏家屯會△廿四日金州會

尙天候其他事故のため診療不能の場合は順次繰下する

赤坊審査會
八日鐵嶺醫院

【鐵嶺】滿鐵社會係主催第五回赤ちやんの審査會は八日滿鐵醫院小兒科で審査される由、審査資格は昨年二月三日より本年二月二日までの間に於て出生した赤ちやんで審査希望の保護者は六日までに地方事務所又は滿鐵醫院小兒科に申込まれたしと

傷病將兵到着

【遼陽】長城附近に於て負傷せる將校以下七十五名は三日午後四時二十分臨時野戰病院列車で錦州から遼陽着直ちに遼陽衞戍病院に入院した

會と催し

●鐵嶺神社決算審議會　【鐵嶺】九日午後一時半より地方事務所樓上で鐵嶺神社昭和七年度の決算報告八年度の豫算審議會を行ふと

●遼陽輸組役員會　【遼陽】遼陽輸入組合では四日午後一時から事務所で役員會開催低利資金問題其の他に付協議する處があつた

●遼陽春季運動會　【遼陽】遼陽地方事務所では三日午後二時から町内區長、民會長、滿鐵各箇所長の會合を求め春季大運動會開催之に要する經費等に付打合せをなしたが近日更めて各方面の委員會を開催すと因みに運動會は廿一日（第三日曜）の豫定であると

于深海旅長以下 地に伏し投降

輝く鶏冠山守備隊の高石〇隊

鄧鐵梅匪の滅亡近し

【安東電話】鄧鐵梅匪殲滅を目標とする第三次三角地帯大討伐の日滿軍は破竹の勢ひで敵匪を擊破、鄧匪の終滅もいよ〳〵近まつてゐるが鶏冠山守備隊の高石〇隊は一日牌坊において鄧鐵梅の旅長于深海以下百餘名を急襲包圍して投降せしめ完全に武裝を解除しなほ續いて歸順に應ぜざる敵匪を急追北方に擊退した、この戰鬪で敵の遺棄死體十五馬三で多數の銃器を鹵獲したが我軍の損害は馬一頭が負傷したのみである

高石中隊は第一次三角地帯討伐に敵の驍將李慶成以下三百名を歸順せしめたが今亦鄧匪の總參謀格である于深海以下を生捕りさいふべく鄧鐵梅の兩腕をもぎ取つたもので鶏冠山部隊の重ね〴〵の殊勳は一般に非常に感謝されてゐる

逃ぐるに急

青くなつた田英匪 上田部隊の追擊急

【鐵嶺】上田隊長指揮の鐵嶺〇〇隊主力の猛烈なる追擊を受けつゝある田英司令引率の匪勇軍は二十九日以來追擊急なるため殆ど駐まるところなき有樣で東南に逃路を求めてゐたが、これに追尾する上田部隊は飽くまで殲滅せずんば止まざるの意氣を以て降雨後泥濘膝を沒する惡道を冒し連日高粱を嚙じりつゝ言語に絕した困苦艱難に耐へつゝ追擊又追擊の幾日を續け二日夏家欑子北方十里双樹子に到着、此處に鐵嶺公安隊二百名の一團と完全に連絡し三日朝より引續き追擊戰を繼續してゐるが兵匪は漸次北方に遁走しつゝある、而も敵は乘馬であり我軍は全部徒步部隊とて追擊意の如くならぬ模樣である、三日上田部隊からの情報によると敵は東方鐵道沿線に出ず北方に逃げつゝある情勢なるを以て一日以來石水頭、八寶溝に出動待機中であつた鐵嶺、奉天警察百餘名も三日一先づ原地に復する事となり、午後三時半着列車で歸着した、敵の逃げ行く北方は部落も少く加へて敵匪は極度に食糧缺乏し再び東方に出でんとするは明瞭なるを以て引續き鐵嶺開原間の警備は嚴重を極めてゐる

開原軍警警戒

【開原】康平に於て日滿軍に擊破された田英合流の匪賊約一千は大明安碑方面より漸次東南に向ひ滿鐵線を橫斷し東山地方に遁れんさする形勢ありとの報に接した開原鐵嶺の軍隊は五月一日各所に配兵し開原警察署は四平街より數十名の應援を得て徹宵待機中であるが該賊は今尙は遼河右岸に潛在し逃走の機を窺ひつゝあるものゝ如しといふ

滿洲國軍を 匪賊襲擊

【奉天】東豐縣崔石沈に匪賊討伐の出動中であつた滿洲國軍三百餘名は去る一日午後四時大刀會匪數百名の襲擊を受け警長は捕虜となり李指揮官は行方不明となつた旨の報告に接した山城鎭〇〇隊は直に同地に向つて出動した

出動警官歸奉

【奉天】康平縣城襲擊後わが上田部隊に追はれた田英、買兩匪團が討伐隊の急追に滿鐵線を橫斷東進の形勢にあるため去る一日急遽出動した、奉天署島田警部の一行は二日間に亘つて同地縣道を挾んで警戒中であつたが右匪賊團は依然として平頂堡西北方二十五支里の縣道に停滯してゐるので奉天省よりの島田警部の一隊は一部を殘留し二日夜一先づ歸奉した

鴨江警備機關 統制協議會

【安東】鴨綠江岸の滿洲國警備機關統制に關する協議會は既報の如く一日午前九時より安東縣公署において開催、星子民政部警務司總務科長、都留同警務科長、永井財政部關稅科長、島崎交通部事務官、小坂奉天省警務科長及び安東側王縣長以下國境、海邊、水上、地方各警察局、稅關、稅捐局、緝私局等の代表者列席し

一、鴨綠江岸の警備機關の統一範圍
二、統一機關の所屬部署
三、統一外の關係機關との連絡

の三案について意見を交換した

北支の反蔣熱 漸く尖銳化

馮玉祥狼火を揚ぐ

【奉天電話】北支一帶に今や反蔣熱が具體化し張家口に頑ばつて靜觀して居た馮玉祥が主謀となり反蔣派の糾合に努め鐵血除奸團西南派に河北の各將領を誘動し天下を賣る蔣介石を打倒せよとその旗幟を鮮明にするに至つたと傳へられ閻錫山、韓復榘等の實力派にも參加を勸誘してゐるが露支復交を契機としてソウエートに緣の深い馮玉祥が漸く峙に反蔣の狼火を擧げたことは注目される、東北舊軍閥と韓復榘一派の去就が相當重要視されて居り蔣の運命も北支に於ては今や全く影を薄くした

馮占海に多倫 出動命令

【奉天電話】多倫に居た山西軍に對し劉桂棠軍は二十八日夕方總攻擊の結果敵軍を擊退し完全に多倫を占據したが何應欽はこれに對し馮占海軍に應援のため急遽出動を命じた

死の街田庄臺に 平和の光り

鮮農の新樂土も輝し

【營口】營口日滿市民の命の糧と頼む水源地は事變以來幾多の危險と困苦とに曝ひ或る時は砲彈の洗禮を受けある時は匪賊の襲擊に逢ひ危險に瀕したる事度々であつたが僅少の警官と水源地從事員との協力防備に依つて彼等兇惡の魔手に一指だに觸れさせなかつた事は實に日滿市民が滿腔感謝の意を表せねばならない事である、頃日は警官の增派と從事員の增加と加へて日滿軍隊の警備嚴重を極めたので危險は一掃され安全となつた、又對岸田庄臺はこの安全を得た市民は商工業に力を入れ市中一般活氣を帶び又日沒後は死の街と化した田庄臺も水道電氣會社よりの送電を受け本年二月以降同市街へ送電を開始したので夜間の照明晝の如く文化の恩浴を蒙り一方警備に便宜を得、昔々今昔の感嘆なきものがある、亦水源地南對岸には既報の移住鮮農は荒蕪地の開拓にいそしみ孜々として働く樣は實に頼母しく河畔には舟便を得べく棧橋の建設を急ぎかくて新樂土の完成は一步一步と進みやがて水源地田庄臺、鮮農新樂土と三角形の聯絡も完備し來年度よりは產出米六萬石の收穫は確實に掌握し避難當時の愁眉を開くことは間もあるまい、彼の殺風景な遼河長流も水源地附近迄遡れば二百尺の送電線塔は空にそびえて自から三角形地聯絡の重任を帶びたる如く誇り顔に偉觀を放つてゐる

謎の魔奇術

葬儀と結婚行列利用 密輸團新戰術

【瓦房店】國境の密輸團は瀆の眞砂子と一所でなか〳〵絕えないが密輸團取締官憲と智能と智能のごちらが進步するか比べ合ひの形である、從來大仕掛の戎克、トラック、馬車の密輸は殆ど根絕したが常習犯の密輸團には背後に黑幕となつて參謀部に首魁者が智能計畫を巡らし敎唆的に手を代へ品を替へ巧に檢擧の手を逃れんとしてゐる、最近新しい戰術は白黑葬儀を假裝して棺の中に絹布其他高價の品を詰め込み御念入りに白衣の會葬者まで編成して國境警察隊員を見るとアイヤマーヤ〳〵と悲しそうに泣き聲立て、往く者或は三頭立て五六臺の馬車に結婚行列を裝ひ御丁寧に花嫁花婿の花馬車まで作つてピー〳〵ドン〳〵喇叭の音勇ましく密輸品を隱匿して取締官憲を悩ましてゐる、何分滿洲國人の勞働者は朝から晩迄こき使はれても一日僅かに五六十錢であるが綿布類一反身體に纏つけて來ても三圓の砂金で五六日の分を一日に儲かる譯、野生副隊長、林、大塚其他小隊長部下を督勵して徹宵奮鬪してゐるが何分廣汎なる地域に僅少なる警察隊員では鼠の鼬を追ふ樣なもので增員せねば却々至難である

耕農資金割當

【四平街】梨樹縣公署では過般奉天省公署より耕農資金として貸與されたる滿洲國幣六萬元の割當につき管下各區を檢討協議するところあつたが、この程左記の割合にて分配する事と決定した

第一區五千元、第二區四千元、第三區五千元、第四區七千五百元、第六區八千元、第七區八千元、第八區七千元

鮮鐵の 職制變更

交通路開拓に備ふ

【京城】朝鮮總督府鐵道局では業務組織及職制の一部を變更し之れに伴ひ全鮮的に六百十名餘の大異動を一日附斷行した、その改正事項の主なるものは本局の分課及地方における事務所制度の變更で從來建設事務は本局工務課と淸津出張所及釜山、大田、京城、平壤の工務事務所で分掌したものを本局に建設課を設け、建設事務の全部を統制せしめ出張所、運輸及工務の各事務所を廢止して上記各地の外に新に元山に鐵道事務所を設け運輸、改良及保線の事務を掌らしめることゝし建設事務を別箇の一體系とし運輸、改良及保線の營業に關する業務を合一したものである、之を要するに滿鐵委任經營を解消して再び國營となりてより八年間を閱した今日線路の增設と運輸の增加とにより事業擴大に鑑み且つ又北鮮鐵道滿鐵委任經營及び其後に於ける北鮮中繼日滿裏日本交通路の開拓に備ふる變革をも加味されたるものである

旅順閉塞隊記念祭

【旅順】恒例に依る旅順口第三回閉塞隊記念祭は決行當日の三日午後二時より白玉山麓記念碑境內に於て擧行、安藤、津田兩司令官、山村軍港要港部長、野田工大學長、作民政署長、米岡市長を始め在滿軍艦千戶、第十六驅逐隊司令、神威乘組陸戰隊在鄕軍人會員並に第一小學校生徒市會議員各町總代參列神官に依り嚴かに祭典が執行され、各軍隊代表、各官衙學校代表者の玉串奉奠の後參拜軍隊は足並み整然として軍歌、閉塞隊「君と國とに盡すべく…」が高らかに合唱され吉田在鄕軍人海軍總長の挨拶あり閉式夫れより一同神酒を頂き臨時散會した(寫眞は記念祭の一部)

飛行機の參觀

發動機の運轉を行ひ 七日旅順工大前廣場

【旅順】去る三月二十日發會式を擧げた工大航空研究會は昨年軍部より借り受けたサルムソン機二臺を以て研究してゐるたが、客月三十日第二回、二日は第三回の研究會を開き內燃機の研究會を行つたが、更に通稅の整備に參加した山本大尉より同地に於ける航空作戰の話演を聽き愈々第四回よりは實地的に研究を進める事になり、七日午前九時より正午まで工大前廣場にサルムソン機を引き出し發動機の試運轉を行ひ中學校、女學校、小學校の各生徒及一般人にも詳細な說明をなして參觀せしむる事になつた、尙航空研究會は將來學生航空聯盟と同樣な實地の研究もする計畫である

花見客の 賃金割引

【營口】陽春の行樂に大連、旅順安東の各地への花見旅行者に對し營口驛にては賃金の割引をなすることになつた、汽車賃は五人以上の團體二、三等往復に限り五割引卽ち營口驛より大連往復大人一人金四圓〇四錢三等、金七圓三十四錢二等、又旅順往復同上三等金四圓七十錢、二等金八圓五十錢、安東往復同上三等金六圓六十錢、二等

警備船無事

遼河舟航保護

【鐵嶺】遼河水上警察所では遼河舟航保護の爲め既報の如く巨流河と鐵嶺西郊馬蜂溝の二ケ所に分局を設置し各一隻づゝの警備船を配置するに決し、警備船は二十三日營口發、二十八日鐵嶺着の豫定であつたところ二日に至るも到着せず行方不明說さへ傳へられてゐたが、三日午前十一時一隻のみ巨流河に到着し一隻は故障の爲め營口に引返した事判明したるを以て茲二三日中には馬蜂溝にも警備船を迎へる事が出來るであらう

バス追突し 老母昏倒す

人事不省に陷る

【旅順】二日午後四時頃旅順乃木町三ノ二五柳澤忠二郎氏は母親シユ(五七)を伴ひ大正公園の花見をなし歸途滿電バスで舊市街待合所前で下車、二三步する時乘つて來たバスが追突しシユに接觸したためシユは其場に昏倒左足指、右足下部及び膝底打傷をなした爲め左耳より出血し大騷ぎとなり直に關東廳醫院へ收容目下手當中である、意識不明にて未だ生死不明である此椿事に依り大連地方法院からは岡本檢察事務取扱、木梨書記は三日午前十時來旅旅順署吉田司法係と共に實地檢證並に取調べる處があつた

滿洲號 不時着陸

强風のため

【熊岳城電話】三日午後五時四分滿洲號六八號が大連より奉天に向ふ途中强風のため航路を北に向け熊岳城南方にてエンヂンに故障を生じ辛うじて市街北方に不時着陸した、操縱者は中村軍藏氏、同乘者は遠藤參謀で兩氏とも無事である

滿鐵では旅順、大連間往復割引切符を金十一圓九十錢で發賣の期間は大連旅順行四月二十八日より五月七日まで安東行は四月二十九日より五月八日までゞ途中下車は通用期間中復路に限り何れの驛にも途中下車が出來る事で熊岳城、湯崗子五龍背の溫泉に立寄り鈴艷を拂ふも一興であるが團體を離れての單獨行動は出來ぬのである、而して安東鎭江山の櫻花は五月七日頃が滿開の由である

特產發送高

【四平街】四平街日滿特產聯合會が調査した四月中の四平街驛特產發送高は四百六十車にしてその內譯は左の如くであるが、七年十月以降の累計は四千四百八十八車である

混保大豆三、大豆六二、莫豆三、高粱五六、小豆三、瀟黍四六、包米三四、屑粟六、小麻子八、蘇子一三、吉豆五、小米一九五、元米三、胡麻一六、穀屑一、大麻子三、粟穀三

安東の赤ちやんデー

【安東】安東の乳幼兒愛護デーは五月五日の端午節に地方事務所社會係、安東產婆會の應援で開催、當日午後一時から鎭江山で「乳幼兒と母親懇安會」がありまた輸入組合の主催で乳兒愛護講演が催されるほか滿鐵、西川、成田、春野兒玉、木村各醫院では三日から乳幼兒の健康相談に無料で應じてゐる

高山東拓總裁新京へ

【京城】南鮮管內事業視察中の高山東拓總裁は豫定通り一日午後五時入城した、京城には四日間滯在後西鮮、北鮮の管內事業視察の上新京に入り滿洲國要部、關東軍首腦部及び滿鐵幹部と會見、滿洲國內に於ける東拓關係新規事業につき種々打合せを爲す筈であると

家庭で出來る結核の自然療法

この療法を無視して單に藥劑だけで結核の治癒は難かしい

サナトリウム、——即ち結核の自然療法は、世界的結核病學者として有名な獨逸のブレーメル及びデッドワイエル兩氏が、自分達の結核を癒した體驗を基礎にして創案したもので、只今ではその療法を行ふ結核療養所のこともサナトリウムと呼ぶ樣になりました。

この結核療養所が初めて獨逸のゲルマルスドルフに建てられたのは一八五九年で、その創立者は自然療法の創案者の一人である前記のブレーメル氏であります。

結核療養所といふのは空氣の清い塵埃のたゝない土地、氣候ともに衛生に適した健康地を選びそこで主として空氣日光食物などを利用し、衰へた自癒能力を昂めて結核を根本から癒す方法を教へ、且つ實行させる一種の衛生學校ともいふべき病院であります。

自然の醫療效果を

ブレーメル氏はこの自癒能力を昂めて結核を癒す所謂「自然療法」によつて、不治の病といはれた結核學説を破り、多くの全快者を出して「結核は治癒する」といふことを實證したのであります。

歐米には、この樣な療養所の數は非常に多く、英國には現に二百餘の結核療養所がありますが、日本では僅に五十四、その病床合計四千四百十二、全國百二、三十萬の結核患者數からみると、斯うした療養所へ入れる患者は限られた一少部の人々であつて、殘り大多數の患者は自宅で療養すべく餘儀なくされてゐるのであります。

元來、自然療法の要諦は衰へた患體の自癒能力を昂めることによつて

食慾を増進し

全身の榮養をよくし、白血球の食菌現象を旺にして結核を征服するにありますが、今日では無理して療養所へ入らなくとも、ヘーフエ療法によつて、結核療養所で療養すると同じ樣な效果ある療法が、家庭で、併も至極經濟的に出來るのであります。

ヘーフエ療法といふのは、ヘーフエ菌といふ微生物を活性のまゝ藥にした生物藥を服用して、結核を病原から癒さうといふ療法でありますが、このヘーフエ菌には澱粉や蛋白、脂肪等の各食品を消化するヂアスターゼ、プロテアーゼ、リバーゼ等の消化酵素の外に、食慾を増進し肥胖に效あるヘーフエインスリンやヴイタミンB、そして衰弱した身體の榮養をよくするヴイタミン類やアミノ酸類等の榮養素が、大病人の弱りきつた胃腸でも無駄なく吸收出來るコロイド狀態で含まれてゐる上に、白血球の食菌作用を昂め新陳代謝を旺盛にして衰へた自癒能力を勃々と振ひ興す細胞賦活作用がありますので、自然療法にはもつて來いの藥物として、多數の醫家から賞揚されてをります。

ヘーフエ菌を活性のまゝ藥にした生物藥で有名なのは、彼の澤村博士の發見に係る「錠劑わかもと」でありまして、之は非常に廉價に頒布されてゐますので、比較的長期の療養を必要とする結核患者にも負擔が輕くてすみ、その上何よりの喜びは、この「錠劑わかもと」を服用してゐると在來の藥劑では經驗の出來なかつた盗汗、發熱、食慾増進、衰弱恢復等のキヽメの現れが目に見えますので、のんで實に張合ひのある藥だといつて、結核患者から非常によろこばれてをります。

下熱劑によらぬ自然下熱の話

「下熱劑の害と」

藥劑、殊に化學藥劑には色々の副作用が伴ふもので、下熱劑を服んだためにピリン疹が出來るとか下痢、嘔吐、惡心等の症狀が現れるといふことは、よく耳にすることであります。その上化學藥劑には習慣性といふ作用があり、毎日藥を用ひてゐますと遂には適量では利かなくなります。

例へば不眠症の人が催眠劑を用ひてゐますと、初めのうちは適量で間に合ふのが、次第に藥に慣れて習慣性に陷り、二倍三倍の藥を用ひる目になります。その結果はモルヒネを注射しなくては眠れなくなり遂に不幸な慢性モヒ患者として一生を棒にふることにもなります。

これと同じく結核患者も熱さましとして色々の化學的醫藥を運用して居りますが、モヒの場合と同樣、その用量を次第に増さなくては一向熱も下らぬようになります。殊に結核患者が下熱劑を用ひる場合は、他の熱性患者の場合とちがつて、身體が

衰弱

して抵抗力が不足してをりますから結核菌に攻められる外に下熱劑の副作用をうけることは引いて結核治療上にも大きな故障や頓挫を招くことになります。

その點から、實に自然的な下熱方法として「錠劑わかもと」は得難い存在で、「錠劑わかもと」には下熱に直接效のある要素は含まれてゐないに拘らず、これを服用すると徐々に熱が下つて來ます。併も化學藥劑でなく、生物藥ですから副作用が少しもない。

これは、結核菌をコンクリートの樣に堅めてゐる脂類肪體といふ蠟樣の物質を「錠劑わかもと」中のリバーゼといふ

要素

が溶かして結核菌をムキ出しにし、そこへヘーフエ獨特の作用で増加した白血球の大軍が押しよせて結核菌を食ひつぶして了ひます。——即ち、化學的の下熱劑の樣に一時的の生温い下熱作用でなく、直接結核菌を攻めたてゝ之を征服し菌毒の發散を封鎖し盡しますから、熱は根本的に除かれる譯でありまして、「錠劑わかもと」を服用して熱が下つたのは、とりも直さず結核菌の勢力が挫けた證據であり、それだけ結核が治癒したことを意味するものであります。

一體結核、患者で熱が徐々に下り、そして食慾が漸進して來ることの二つの現れが見えて來たら、結核も最早

九分

通り癒つたとみてもよい程大切な傾向でありますが「錠劑わかもと」を服用すると、この下熱と食慾増進が兎も角目に見えて現れて來るので、患者にとつては實に服み甲斐がある譯であります。

併も右の「錠劑わかもと」は二十五日分一圓六十錢八十三日分五圓といふ奉仕的廉價で東京市芝公園大門內榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇〇番）から頒布されてをります。

◇結核の擴大想像圖——中央に結核菌が白血球に包まれて食ひ殺されつゝある圖

肺病が輕快して近々に復職

妻の心づくしで

（富山）中川二郎

私は五年前に肋膜炎を患ひ、其の後養生怠ることなく續けて居りましたが、昨年三月風邪を引き普通の風邪と思つてその儘に二三日過ぎましたが、午後になれば定つて發熱するし、盗汗があり、これまでの風邪引きと違つてゐると心配しつゝ居りました處、或る朝喀血し、早速地方の呼吸器專門の醫師に診察を受けました處、肺結核も二期半を過ぎて居り、絶對安靜を要するとのことにて、即日入院加療しました。（中略）

小康を得て三ケ月目に退院致しましたその翌日、又々喀血致しました。今度は自宅にて治療を受けてゐましたが、經過よろしからず、一日一日衰へて行くのが見えました。（中略）

私は死を覺悟して、一時は醫者も藥も止めてゐました處、妻は、新聞廣告を見て、私に話さず、最寄の藥局より「錠劑わかもと」三〇〇錠入一瓶を買つて來て、私に示しました。私は新聞廣告なんぞは、針小棒大であつて信ずるに足らん、これまでの藥と同じく、何等效果がなからう。然し買つて來た物は今更致し方が無い、と、不承不承服みました。

半分位服むと、氣分は爽になり、毎夜の盗汗も輕くなり、食慾も増し、一た瓶終りる時は、盗汗は殆ど見ず、食慾平常と變ら無くなり、尚引き續き服用して居ります。效果の顯著なるに驚いて居ります。（中略）

只今七瓶目を服用して居ります。服用前に比して、體重八百五十匁を増し、血色よろしく、醫師も早くよくなつたのに驚いて居ります。

私も近く復職出來ることになりました。これひとへに「錠劑わかもと」のお蔭と、只々感謝して居ります。（後略）

大陸の凄い魅力! 滿洲の『メッカ』化
タッタ四日間で申込團員約二千名 埠頭は押すなく

埠頭見學團から覗いた滿洲熱——きのふまでタッタ四日間に申込んだ見學團が二十九團體、一千九百三十七名、東洋一の埠頭ではあるが押すな押すなの盛況だ、事務所では「どうして、これからですよ」と問題にせぬが、顏觸れを一寸拾ひ上げて見ると

小學生 七八一名
師範生徒 五〇三名
中學生 四九五名
その他 一五八名

如何にも修學旅行シーズンだが小學生以外は全部內地からのお客さんで賴母しい滿洲熱の若人達が北は札幌、南は大分、佐世保からはるぐ海山越えて續て五月中にやつて來るのだ、中には奈良や大阪の女子師範生もまじつて居り、どうやら最近內地ではどうせ旅行するなら滿洲へといふことになつてゐるらしい

團	日	人員
東京日本橋區小學校長滿鮮視察團	五月一日	六名
札幌市會議員一行	二日	五名
大日本米穀會員	三日	三四名
群馬縣皇軍慰問團	一日	二二名
新義州實業視察團	八日	二〇名
大阪東區小學校長團	八日	六名
近藤利兵衛商店	十九日	六五名
鞍山小學校生	六日	一四〇名
鐵嶺小學校生	六日	一三七名
大田公立學校	九日	七三名
新京室町小學校	四日	一〇〇名
南山麓小學校	三日	二〇四名
樂城子普通學堂	三日	八六名
奉天公學校	三日	四一名
長野縣師範學校生	七日	三九名
奈良師範學校生	八日	六〇名
富山師範學校生	八日	三〇名
愛媛師範學校生	十日	六八名
廣島師範學校生	十二日	一二〇名
香川師範學校生	十三日	八〇名
奈良女子師範學校生	十日	四〇名
大阪女子師範學校生	二十日	六六名
大分縣日田中學校生	十日	六四名
大邱中學校生	十日	七〇名
佐世保中學校生	十日	一〇三名
京都市立工業學校生	九日	三五名
岡崎商業生	二十二日	五〇名

なんとゼロを運ぶ
春の日永にあくびの乘務員 なげきの『船車連絡』

內地定期船の發着毎に大連驛から埠頭まで僅か二粁四分の間をこれでも一、二、三等車に手荷物車を連結し乘務員四名を乘せて堂々往復してゐる所謂船車連絡列車は、四月中に十六回往復運轉したが、さてこの列車はどんな風に利用されたか、大連驛の統計を覗いて見ると

◇…運轉往復數十六回で、乘船のため利用した乘客總數百四十人一回平均僅かに七人二分足らず連絡手荷物總數七百十七個で平均八十四個だが、上陸して北行する乘客總數は四百一人で平均二十五人足らず、連絡手荷物總數八十四個で平均僅々五個足らずといふ極めて不景氣な數字を示してゐる

大阪商船が鳴物入りで宣傳し、滿鐵が乘客サービスとして乘り出した連絡列車も、一ケ月の成績から見れば比較的に多い乘船連絡手荷物運搬に使はれてゐるともいへる振はない有樣である

戰はんより寧ろ捕虜たれ!
古北口にある支那兵 川原部隊に續々投降

【奉天電話】曩に古北口の戰鬪において我が軍の捕虜となつた一支那兵が、目下同地にある支那軍は後方の督戰隊と日本軍に挾擊され今や全く孤立の狀態にありこれが活路を開くには日本軍の全滅ではなく捕虜となることであると洩らした如く捕虜の中負傷兵は承德に送られ治療を受け健康の者は若干の報酬を貰つて雜役夫に使用されて居り、優遇されてゐるので捕虜は永らく日本軍に使用されることを希望し最近同地の川原部隊に對し續々投降する者が多くなつた

海を越えて「去來する苦力群」
一ケ月で約四萬人

所謂デッキパッセンヂャーとなつて遠く上海、芝罘、朝鮮等の港々から海を越えて滿洲へ出稼ぎに來る苦力が四月中に大連港に上陸[illegible]女三千四百七十四人合計二萬九千七百二十九人で昨年同期よりは四千二百三人卽ち約一割六分の增加を示してゐる、次に滿洲の各地で稼ぎ大連港を經由して夫々の國へ歸つた四月中の苦力數は男一萬一千三百四十五人、女千四百七十九人合計一萬二千八百二十四人で昨年の同期より千三百三十六人、約一割二分の增加である、この數字から推せば四月中に尠くも大連を經由せる一萬六千九百五人の苦力が滿洲國內に增加した事になり、渡滿苦力の約六割までが滿洲に腰を据ゑた勘定になる

奉天教育廳の旅大見學團
來る十四日奉天發

【奉天電話】奉天教育廳主催の旅大見學團一行は滿洲國側縣立各學校の教師中より各一名を選拔し三十名の團體にて教育社會科長吉村氏が先導で十四日奉天發大連、旅順を見學するがそのプランは左の通り

▲十五日 滿洲文化協會、滿鐵本社、滿洲日報社、大連圖書館、大廣場小學校、滿蒙資源館、大連埠頭
▲十六日 大連市役所、神明高女、南滿工專、中央試驗所、大連一中、伏見臺公學堂、電氣遊園
▲十七日 小崗子公學堂、早苗小學校、小崗子硝子工場、沙河口工場、星ケ浦
▲十八日 旅順記念塔、戰蹟、白玉山、高等公學校、工科大學
▲十九日 熊岳城農業試驗場及び農業實習所
▲二十日 歸奉

放火犯に判決 懲役三年言渡

日ごろ不仲の主人の長男へ抱く怨みを晴らさんと主家へ放火した市內連鎖街家具商久富商店の元店員柳井春雄(三)にかゝる放火事件は四日大連地方法院長島裁判長から懲役三年(未決拘留百二十日通算)の判決言渡しがあつた

句佛師復歸 近く實現 阿部總長上京

【東京四日發】句佛師の僧籍復歸問題につき京都東本願寺の阿部總務總長は過日觀櫻會參列のため上京した際文部省を訪問し下村宗教局長と會見種々懇談を重ねたが本山では最早や句佛師の周圍にある所謂取卷き連は大體彼から離れ壇信徒の中では切に句佛師の復歸を熱望してゐる者が多數あるので此際師の僧籍を復歸させたしとの意衷を披瀝して文部省の諒解を求めた結果下村局長も之を諒としたので東本願寺派に於ては愈々此問題につき宗の各機關に附議することになり句佛師の復歸は近く實現するものと見らる

山田耕作氏の講演と演奏
ゆうべ盛況裡に終る

山田耕作氏の歸朝演奏會は昨四日午後七時半より彌生高女學校講堂に於て本社主催の下に開催された、第一部の講演は一時間半に亙り主としてレーニングラード及モスクワの音樂學校の狀況について詳細に說明したる後、ソウエート製のロシア民謠數曲をレコード演奏と共に解說を加へ聽衆の拍手を浴びて下壇し直に增田信子女史の獨奏、メデウェデフ夫人のピアノ獨奏を終りて午後十時、聽衆は最近のソウエートの音樂動向につき大なる收穫を收めて解散した(寫眞は會場にて)

今度は慰藉料請求 龍子は頑張る

【東京三日發】先頃迄松竹女優として相當名を賣つた谷崎龍子(二九)がイタリー大使館書記官ペットリオ・アルゲラに蹙酒を呑まされた上暴行をされたとの告訴を提起した事件は相互の地位からセンセーショナルな話題を提供してゐたが東京地方裁判所では國際關係上これを重視しイタリー大使立會の下に取調中のところ暴行と認むべきものなきこと判明不起訴と決定したが、龍子はなほ承服せず濱尾子爵、大野辯護士を代理として貞操蹂躪に基く五千圓の慰藉料請求の訴訟を東京地方裁判所に提起した

帝國飛行協會が民間飛行士養成
一朝有事に備へる

【東京四日發】滿洲事變以來民間飛行家の必要は各方面より痛感されてゐるが陸軍參謀本部でも七日民間飛行學校を視察し調査の一步を進めることになつたので民間航空の總元締帝國飛行協會でも創立二十周年を記念する事業として一朝有事の場合第一線に立ち役に立ち得る一等飛行士を多數養成することゝなり八年度に於て免狀を得たものから一名に就き五百圓の獎勵金を給與する一方二等飛行士も長距離飛行の出來る樣訓練らして置くのを目的として一期三週間の期限で航法を講習させることゝなつたが此の外民間飛行場を各地に設置し飛行練習に便宜を圖ることゝなつた

時局講演會

親日論者として又思想界の新人として常に社會思想善導並びに內鮮融和の爲力を盡しかつて大正八年朝鮮各地に於ける獨立萬歲騷擾起るや敢然身を挺し鮮人同胞の悲憤を代表して排日熱橫溢の各地に講演行脚を續けること數十回その愛國的熱情と至情もて黃色人種の大同團結を叫び民衆の自覺と覺醒を促し今やその卓越せる識見その至情は內鮮滿人の畏敬の的となつてゐる民衆社長改衆社々長徐成烈氏は同社主筆徐應波、同交涉部長李海瀾兩氏と共に過般來奧地各方面に講演行脚を續けて居たが、今回再び來連し來る六日午後四時半より滿鐵社員俱樂部において時局大講演會を開催し大いに熱辯を揮ふことになつたが朝鮮同胞は勿論一般の來聽を歡迎すると

巡回診療醫 滿鐵衞生課で沿線に設置

滿鐵衞生課では沿線小學校の齒科眼科醫師設置なき箇所に巡回診療醫を設置五日より巡回せしむることゝなつたが齒科は醫師一人增設一校に二週間乃至三日年百五十日間巡回し眼科は診療所なき校十六箇所に既設の診療醫が年四回巡回する

成層圈

名古屋の石垣

名古屋城の石垣(間知石)を見ると一つ殘らずマークがついてゐるといふが、これについてこんなナンセンスがある、名古屋城の入口に「恩賜名古屋城」といふ標柱が建てられて一般に公開された直後のこと、名古屋市の某役人が臨行に向つて大聲をあげたものだ「君イ名古屋の人間はこれだからアカンよ、公開されたばかりだのに最早あんなに落書きをしトル」——いづくんぞ知らんこれが全部文字石ばかりなのだ、名城研究の泰斗名古屋高工の土屋敎授は早くからこの文字石に注意を向け名古屋市建築課の松山寅雄氏その他を督勵して大がかりな調査をはじめ殆ご全部の「石ずり」の作製を命じたがその大部分が最近出來上がつたそれによると落書きとも見られる記號は全部大名の旗印、船印などでその數は約二百五十種類あるものと知れた、中には「加藤肥後守內××」などといふ大きな「名石」も數個發見された名城拜觀者の中には前記石ずりの蒐集家も見られるようになつた

頭巾の紐で窒死

新潟縣中魚沼郡仙田村茂野間治四女ふみ子ちやん(一)は二十五日午後二時頃七歲の姉に背負はれ自宅屋敷內で遊戲中頭巾の紐で首がしまり窒死とはお氣の毒

俳句、破產に過ず

山梨縣中巨摩郡敷島村宗重郎弟水晶加工業青木興助(四)は中府市柳町柳正堂書店から分類俳句大集、子規句集外俳句書籍十餘點を萬引した現行をこの程山梨縣中府署員に取押へられた、青木は雅號を一笑と稱し峽中俳壇の宗匠株とされ俳句に凝り過ぎて破產した憂き目からこの犯行に及んだものであるといふが、世は樣々である

なるほど名案

負債整理に躍起となつて居る秋田縣仙北郡雲澤村の自力更生會では村民の借地額を正直に申出でるやうすゝめて居るが、恥しがつてなかく申出ないので、百圓券、二百圓券、千圓券に區別して申告箱に入れさせることにしたとは思ひつきである

臺灣坊主の娘

東北帝大病院皮膚科の塚田進博士が完全な毛生法を發見したと云ふニュースを讀んだ大阪の一少女が敢然家出、父親が追跡するなど大騷ぎの末、目下仙臺にあつて禿頭解消の途を辿りつゝあると云ふ朗かな春の話題ご紹介——少女は纖河シモ子=假名=氣の毒にも完全な臺灣坊主であらゆる療法も效果なく絕望の青春を送つてゐたが博士の發明を知り再び黑髮への執着に燃え遂に現金十圓を持つて大阪市天下茶屋の自宅を出で長驅仙臺へと家出した、娘の家出を知つた父親は大いに狼狽娘の手持品を調べた所新聞の切拔きによりそれと知り直に仙臺に急行して見ると果して娘の姿が發見された、シモ子は今同地の親類から每日通つて朗かであるといふ

女給の意義如何

群馬縣沼田町稅務課では女給稅賦課についての調査を進めてゐるがさて條文にいはく「女給とは西洋風の設備ある客席において客の接待斡旋をなす婦女をいひ」……とある

鬼中佐の墓守

日露役二〇三高地の激戰に鬼中佐とうたはれた當時旭川廿六聯隊の飯盛正成氏は今度鄉里會津に歸り白虎隊の墓守として餘生を奉仕することになつた

石橋文三郎氏追悼會

大阪における新聞社支局界の舊顏として知られてゐた石橋文三郎氏は中風症と腎臟病のため數年來健康勝れず、阪急沿線箕面村牧落の自宅で靜養中であつたが、遂に去月二十三日午後十一時三十分死去した、享年五十三歲

氏は大每販賣部を振出しに本社前身滿洲日日新聞に入り大阪支局長、廣告部長、營業局長を歷任、また僚紙大連新聞の創立にも關與しなほ滿洲報の理事たりし事もあり、滿洲に在ること十餘年であつた、質性溫厚篤實、その逝去は各方面より痛惜されてゐる

仍つて關係社たる大連新聞、滿洲報及び滿日の三社長發起となり六日午後四時半より東本願寺に於て氏の追悼會を開催することになつた、舊知の多數來會を希望すると

萬國博へ行く女工使節
四日龍田丸で渡米

【東京四日發】シカゴの萬國博で繭から生絲になるまでを實演して見せようといふ美しい女工使節片倉製絲の秦香代子さん(二三)岐阜縣郡是製絲の森田紀枝さん(一九)の二人は四日の龍田丸で渡米した

●下藤保護者會● 大連下藤小學校保護者會は四日午後七時半より同校において春季保護者會總會を開催したが同時に幹事の改選あり九時半過盛會裡に閉會した

天龍・大の里一行
愈よあすから關西角力蓋明け 大廣場土俵の猛稽古

革新更生の新道に精進する當代人氣力士、天龍大の里一行の關西角力協會の全精銳は三日入港のうらる丸で協會設立後の初の來連をなし愈々六日より大廣場東拓空地に於いて華々しく初日の幕を明けるが何分久し振りの來連とて各方面の人氣をあほりたて加ふるに新採用の組合せは俄然當地話題の中心となり既に團體申込及び全場所棧敷買切り申込多數あり非常な盛況を豫想されて居る又一方協會員は來連と同時に星ケ浦溫泉ホテルを借り受け天龍大の里以下全力士は合宿をなし合宿規約を設け夜間の外出等も制限し恰も各大學角力部合宿舍の如き觀あり着連後一夜を明かしたばかりといへ未だ船旅の疲れも癒えぬ四日早朝、全力士はやくも大廣場假土俵に現れて猛稽古を開始し極度に緊張を示しつゝあり必ずや未曾有の大角力を現出して角界ファンを熱狂的熱戰に導くであらう、尙既報の如く本紙讀者(本紙刷込の割引券持參)に限り三割引をなすことになつて居るから同刷込みを利用せられたし

初日(六日)取組

◇第一組
(1)(雷の峰 山錦) (2)(藤の里 大和錦)
(3)(玉碇 笹岩) (4)(大の里 鳴海瀉)
(5)(錦洋 常盤野) (6)(信夫山 常陸島)
(7)(肥州山 大島) (8)(天龍 綾の濱)

◇第二組
(1)(神通川 松の里) (2)(大[illegible] 駒錦)
(3)(羽後嶽 大柳) (4)(上宮山 霞ケ浦)
(5)(武の里 中の里) (6)(常昇 鳴汐)
(7)(能登海 汐ケ濱) (8)(鐵岳 大高山)

試合方法は(三回戰トーナメント式に依る)

關西大角力
讀者優待割引券
この券持參者に限り各等三割引
後援 滿洲日報社

本社見學 ▲奉天公學校生徒四十六名は四日午後加藤訓導引率の下に本社を參觀▲鐵嶺日語學校生徒四十名は四日山本德一郎氏引率の下に本社を參觀

鮮人殺しに死刑求刑
共犯は無期

朝鮮平安道定州郡生れ金玄水(三)李海春(三〇)の兩名にかゝる殺人強盜事件の公判は四日午後二時大連地方法院長島裁判長係りで開廷被告兩名は吉林省阿城縣で農業をしてゐたが匪賊の迫害を受けて昭和七年二月ハルビンに避難し就職口を捜してゐる矢先、吉林で知り合ひの李東洙(五一)を殺害財產奪取を企み二月十七日東洙を撲殺し、麻繩に縛して柳行李に詰めハルビン埠頭區北安街三番線附近に遺棄したといふ殘虐非道の事件で立會の高井檢察官は被告金に死刑、李に無期懲役を求刑した

安樂椅子

新元帥として輝く武藤全權が未だ少佐時代の話——外遊の途次、セイロン島のコロンボに上陸したところが土地で有名な豫言者が、その武藤少佐の顏をツクぐ見て「貴下は眞に稀に見る長者の相がある、將來は大したものだ、尤も六十歲前後には一度必ず大病を患らうが、それで若し助かれば八十位までは確に生き得る、そして運は晚年に至つて益々ひらけ、非常な出世をするであらう」と占つたものだ

◇……

當時元氣一杯の武藤少佐は「此の貴下者、何ないつて居る?」と笑つて聞き流してゐたが不思議や今から三年前、思ひがけもない大病に罹り赤十字病院に入院したが、その時になつてヤッとその豫言を想ひ出し「やはり人間には運命といふものがあると見える」と笑つたさうだ

◇……

ところが豫言は再び當り、今度は輝く元帥として稱號を賜るに至つたので驚いたのは昵懇者達で卽ちこの豫言を知友間に紹介して居るが當の元帥も此事を思へばさすがに感慨無量であらう

氏子各位に謹告

當神社御造營竣工に付御祭神中へ畏くも明治天皇の大御神靈並に靖國神社へ合祀相成し滿洲事變戰死病歿者の靈を合祀奉齋相成五月八日午後八時より正遷座祭九日午前十時より臨時大祭十日午前七時三十分より春季大祭執行相成候に付御參拜相成度此段謹告候也
追而合祀大祭正遷座祭の各奉祝祭は九日に於て兼行奉仕相成候
昭和八年五月三日
大連神社々務所
同 氏子總代

海と空と (179)

高杉晋一郎作　橋本清史畫

春來る（七）

看護婦に案内されて部屋に入つた。

靜かだつた。

裏の心は石のやうにしんと固まつてゐた。重病人ばかり集めてある部屋で、物音一つ無い。適當な間隔を置いて、寢臺が六つほど並んでゐた。みんな白いシーツに被はれて、中に人が寢てゐるのかゐないのか分らぬほど、身動きもせず、靜かだつた。附添が二つの寢臺に一人づゝ附いてゐた。餘りいゝ待遇ではない。施療患者だ。

看護婦は靜かにベッドの間を縫つて行くと、奥から二番目のベッドで止つて、ついて來た裏に肯くやうな眼配せをした。

裏はもう、躊躇はしてゐなかつた。寢てゐる者の顔の向いてゐる方へ默つて行つて立つた。もう見ないでも分つてゐるそれは逸見だ……だが、別人のやうに頬骨が異樣に突出してゐる逸見だつた。

人の氣配に、病人は薄く眼を見開いた。眼は熱で一枚皮を被つたやうにぼやけてゐた。白眼が黄色く脂つこく濁つて、開いてゐても見えるのか見えないのか分らなかつた。

「逸見君。僕だ」

裏は眞直ぐ立つたまゝ、そのいたく／＼しくやつれた逸見を瞬きもせず見凝めた。

逸見は默つてゐた。

「分るか？」

すると微かに肯いた。

もうそれ以上何を云つたらいゝのか裏には分らなかつた。言葉が無かつた。今更此の奇遇の説明を求めたり、したり、する場合ではない瀕死の色を、彼は逸見の面上に讀みとつた。だが默つてゐるには餘りに感情が脹れ過ぎてゐた。

「苦しいか？」

やつとこれだけの事を云つた。

病人は無感動な表情で肯いた。

何故誰もゐないのだらう。ボールはどうしたのだ。ボールは連れて來てゐないのか。千田屋では見舞つてやらないのだらうか。

「誰か看護人は附いてゐないんですか」

裏は傍の看護婦に訊いた。

「えゝ、病院の附添婦以外には」

看護婦は簡單に答へた。裏は病人に一歩近づいて、低く、だが強く、不安に滿たされながら訊いてみた。

「ボールさんは、どうしたのだ」

逸見の眼はもう閉ぢてゐたのだが、再びうつすらと開いた。さうして、うん、と肯いた。

裏の心は地崩れに會つたやうにがら／＼と音のする感で落ちて行つた——あゝ、これは、もう解らないでゐるのだ……

その時、急に、逸見の上半身が寢臺の上に起き上つた。看護婦があつ、と叫んでかけ寄つたが、もう逸見の手は裏の腕をしつかり掴まへてゐた。彼の瞳孔は夢遊病者のやうに焦點を失つてゐた。

「朝、朝日奈？」

この時初めて彼はそれが裏であることが分つたのだ。何も答へられないで熱いものがぐつと咽喉へ詰ると、裏は瞼へ滲んで來る涙を押へられなかつた。

「と、どうしたんです」

うわ言のやうに病人は叫んだ。

それを無理に看護婦は寢かせつけやうとしてゐた。

「一寸貴方は、外へ出てゐて下さい」

看護婦が叫んだ。

裏は踵を廻して室外へ出て來た。さうして背中へ閉ちた扉にぐつたり身を凭せて、顔を俯けてゐた。何度か熱い固いものが、胸と咽喉の間を往き來してゐた。

十分程もさうして立つてゐたらうか。背にしてゐる扉を押されて、はつと我に返つて、裏は身を退いた。看護婦の顔が覗いてゐた。

「どうぞ……あの、あまり昂奮するやうなお話でしたら、あとで」

あとで、とは遺言の時を指すのだらうか。裏は、自分自身をも意志で鎮めつけなければならなかつた。

新刊紹介

▲人の噂（五月號）刻下の急務たる「赤化對策並に日本精神の世界的擴充」につき日本主義昂揚最高峰に立てる人々を招きその熱烈な抱負經綸をたゝき、朝鮮統治問題については朝鮮實業界の元老韓相龍氏、代議士朴春琴氏が「朝鮮の社會と民心の動向」を叫んでゐる、その他中歐に澎湃たる獨裁の大機運と人地球を呑み掛けた風雲兒群の腹を探る、愛郷塾を生んだ水戸人と其の特性、政局編趨、崩壞の危機を孕む政友會、安達氏と一黨の動向等の讀物があり、更新飛躍號らしい編輯振りである、（價三十錢、東京市麹町區内幸町幸ビル月日社發行）

▲短歌研究（五月號）前月號に劣らぬ出來榮である、卷頭の土屋文明氏と松村英一氏の五十首競詠は全歌壇の興味をそゝるに足るものであらう、その他の作品には空穂、超空、白秋、夕暮、水穂、麗氏等をはじめ大家中堅の雄篇を以て飾つてゐる、福士幸次郎氏が「打ちのめされてゐる短歌」と歌壇に呼びかけてゐる、また吉田絃二郎氏の「西行を讀みつゝ」室生犀星氏の「歌人巡禮」の二文がある（價五十錢、東京市芝區新橋七丁目十二番地改造社發行）

▲水鳥（五月號）價三十五錢神戸市須磨區若宮町和田別邸内水鳥社發行

▲石楠（五月號）價五十錢東京市中野區西町四〇番地石楠社發行

▲無線電話（第五號）價五十錢東京市日本橋區通一丁目野村ビル内日本無線電話普及會發行

けふの放送

大連 JQAK 五月五日

▲自午前六時　第二ラヂオ體操
▲自午前六時三十分　第一ラヂオ體操
▲自午前十一時　相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）
▲自午後零時十分　相場（特産、錢鈔、株式、各地相場、公設市場値段）ニユース
▲自午後三時三十分　相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）ニユース
▲自午後六時　ニユース
▲（六時三十分）講演「角力道の革新に就て」關西角力協會天龍三郎
▲角力觸太鼓　關西角力協會呼出

東京 JOAK 五月五日

▲小唄（一）春霞（本調子）（二）五月雨に池の（本調子）（三）梅雨もよい（本調子）（四）お互に（本調子）（五）長兵衛（二上り）（六）あまりつらさ（三下り）（七）潮來出島（三下り）唄東京田村貞、三味線田村てる枝、替手大槇小ゑん▲筑前琵琶「伊賀の蹊」法螺山樋田旭耀▲長唄「安宅の松」唄堀部一八、同秋山一郎、同本郷富士雄、三味線中村愛子、同淺野みや子、上調子高城良子▲職業紹介事項▲ニユース▲氣象通報

▲講演（六時三十分）陸軍少將男爵徳川好敏▲（七時）ピアノと管絃樂、ピアノ獨奏ジエームス・ダン、管絃樂コロナ・オーケストラ指揮紙恭輔▲（七時三十分）清元彌生の花淺草祭（三社祭）淨瑠璃清元小喜久太夫、同清元久太夫、同和歌尾太夫、三味線清元梅助、上調子同梅丸▲（七時五十分）連續ラヂオドラマ、ジヤン・ヴアルジヤン（第四篇）豐島與志雄原案JOAK文藝課編輯、第一景ブリユーメ街の家、第二景市街戰▲配役、ジヤン・ヴアルジヤン（友田恭助）コセット（瀧蓮子）老婢トウサン（杉村春子）青年マリユス（汐見洋）テナルデイエ（東家三郎）その娘エポニーヌ（田村秋子）テナルデイエの仲間の惡黨バベ（熊輪欣司）同モンパルナス（石川方賢一郎）同ブリユジヨン（瀬戸日出夫）ガヴルーシユ（白井友三）クールフエーラック（三浦洋平）他に青年大勢及音樂等

第四十七回　滿日勝繼碁（秋元氏二回勝 三回目）

互先先番　高本吉郎氏　秋元豐二郎氏

—【7】—

百四十手終り（高本氏）七目勝

樽平柳壇

題「醉態いろ／＼」　小林若八選

樽平を出る客みんな千鳥足　佐一
惡友と樽平で醉ふ面白さ　緻行
ほろ醉で樽平出ると春の月　テツ
樽平で大平樂の輿を据え　子和
樽平に醉て一家の朗かさ　しげ子
樽平でふと鼻唄の輕い醉　都留平
樽平で思はず尻が長く也　てるを
樽平でお國が知れる隱藝　天郎無
醉潰れ樽平だけは覺えてる　凡平
樽平の酒小氣味よく醉はせ　甲子
圓滿と樽平だけで歸る晩　虚坊
樽平に機會を作り醉ふも春　骨保
樽平で飲む酒の味別な味　白菜
樽平の酒へ惡醉さましに來　青甫
上機嫌樽平を出る千鳥足　老鐵
千鳥足樽平の土産妻は當て　凉風
樽平で下戸が上戸に早變り　如蛙
樽平で本當の酒の味を知り　佛心
樽平の酒に天婦羅よく辿り　雨明
樽平と聞いて醉ひどれやつと立ち　大連　小西美名都
樽平と知れて女房にゆるされる　奉天　松本松陽
惡友をまいて樽平に醉ふてゐる　大連　佐賀氏
樽平で仲よく握手醉ふてゐる　大連　高木滿山
朗らかな唄樽平の夜が更ける　大連　清月秀男
樽平を滿足さうによろけて出　撫順　日高阿喜良
醉ふたのを樽平にして事はすみ　大連　田中雲永
樽平で二次會拔きに醉ひつぶれ　大連　田村南九
樽平に飲みなれてから通になり　大連　桐生孔二
のみ直す足樽平へ吸ひこまれ　平壤　野田錦魚
樽平へ朗らかに醉ふ顔がより

秀逸（賞金一圓宛呈）

春の夜を先づ樽平で呑むときめ　大連初音町三〇六　松木溜
樽平で日本一の良いきげん　大連霞町一三ノ四六　高柳桂馬
脱線を樽平だしにつかはれる　滿鐵孤家子驛　萬屋五平
樽平に來て醉ざめを酒にする　大連眞金町二ノ五　鈴木博
樽平と聞いて二次會下戸も行き　大連眞金町八六　渡邊雨明
仙愛なく醉ひ樽平で勞はられ　大連霞町十四丁目　海老水母
樽平で呑めば女房の指圖なり

樽平柳壇懸賞募集

課題「宴會」「春」「混ブラ」各題五句▲締切五月五日▲用紙官製葉書▲住所氏名明記▲高橋月南氏選▲五月中旬本紙發表▲賞　秀逸五句へ金一圓づゝ

送り先　大連磐城町帝國館通り　天婦羅、おでん　季節御料理　樽平　電話五六二二四番

家庭へ入るとなぜ肥る？

クラスメートをびつくりさせる秘訣があります　運動による「美容」保持

小學校を終へて女學校に入學したばかりの頃、つまり十三四歳の頃は色が黒くて骨もゴツ／＼に感じ、やせつぽちできたならしいやうな女の子も、卒業近くなるとどことなしに女らしく、美しくなるのが常です、これはちやうど清春期に入つて生殖腺の發育に伴ふ内分泌の關係によるもので、これに依つて皮下には脂肪組織が段々沈着し、身體には丸味がつき皮膚は緊張してきて光澤を増すのですしかも脂肪組織といふものは血管が少い上に、脂肪組織そのものゝ色の白いことから脂肪を増すと皮膚の色を白くするのです、で―婦人は年ごろになると

誰れでも美しくなる―つまり婦人のからだの美しさの九〇パーセントは「皮下脂肪」による―といつても過言ではないでせう、しかしそれも程度に依るものです、あまり發達しすぎると今度は、からだの線が大まかになり、間が拔けて不恰好になるのは貴女方の御承知の通りです、さて―女學校の上級から卒業の時分には、あかぬけはしなくても、からだの均衡はとれ、丸みを持つて美しい、肉體美として申し分のなかつたものが、一度び卒業して家庭に入ると急に肥り出して、前に述べた「脂肪組織」の發達し過ぎるのが大部分の御婦人のやうです、學校に行つてゐた頃はこんなではなかつたのに―と臍分

苦にやみ氣にする人も多いやうです、これはどうしてゞせう、といふのは、第一に生活の變化から來るのであつて、その主要な原因の一つは運動不足といふことなのです。在學中は特にスポーツの選手ではなくても運動が相當によいため、餘分の脂肪が沈着するといふこともないのですが家庭で一日暮すとなると何と云つてもこれまでに比べて運動は不足します特に坐つてゐることが多いと、足腰のあたりが餘計大きくなつてきます「脂肪組織」は運動をしない部分に特に多く沈着するものですから―でさうした不恰好になることを防ぐにはどうしたらいゝのでせうか。

それにはまづ、何よりもその直接原因である運動不足におち入らないやうには注意することです、これまでに比べて急に不足するといふことが最も良くないのですから、家庭にあつてはラヂオ體操もよし、適度のダンスもいゝでせう、歩くこと、自分自身で工夫して、出來るだけ全身をまんべんなく動かす運動をすることです、そして更に最も安全な科學的な藥物を適度に用ひ、常に便通に注意して一日一回はあるやうに心がけさへすればどんなに家庭でクサつてゐても決して脂肪組織は餘計沈着せず學生時代の肉體美を損ふやうなことはありません、たゞ知つてゐていたゞきたいのは藥物を用ひる時にその選擇を誤らぬことです、その多くが

頭痛下痢を伴ひ易いものですから「アイマー」は甲狀腺その他いろいろの消化劑を巧に最も合理的に配合してある藥劑で、このアイマー中に配劑されてゐる甲狀腺劑は人體の内分泌をうながし新陳代謝を旺盛にする作用を有するものですから最も合理的且つ安全に脂肪組織の沈着を避けることが出來る理想的なものです、粗食療法だので切角の健康を害するやうなことはもう33年の女性の摸倣することではありません、原因は一つ「運動不足」といふ判りきつたことなのですから、今すぐ適度の運動新法のプランをお樹てなさい、そしてその補充としてアイマーをお購めなさい！このつぎ懐しいクラスメートにどこかで偶然

邂合したときかの女たちはきつとびつくりするでせう、家庭に入つても素晴あなたのやうに、素晴らしい肉體美を保持出來るなんてと。かの女はその秘訣をどんなにか追究することでせうね―

満洲日報
五月四日發行

北支形勢急轉

抗日戰中止を命じ北平に善後委員會

南京政府の時局對策

【上海特電四日發】國民政府は南昌會議の結果中央軍に抗日戰中止を命じ、日本軍と停戰協定を締結すべく態度を決定した

【上海三日發】支那軍が灤東に進出して挑戰的に出る場合には關東軍は徹底的に膺懲すべしとの決意を知つて怯えた支那側は、南京政府より何應欽に命じて灤東の支那軍に進出停止を命ずると共に、石友三、方振武等の反蔣策動に對してもその連絡せざるに先立ち、先手を打つて切崩しに努めつゝある一方、英、米、佛三公使に停戰調停を依賴すると同時に北平に行政院駐平政務整理委員會を設置し委員長に黃郛を任命し、蔣介石も數日前南昌に黃郛、張群を招致し北支對策を協議した事實あり、北支の擾亂化を避くべく準備を整へてゐる、この結果反蔣運動も、ものにならず長城方面の支那軍の挑戰行爲も一段落の形勢となり、憂慮された北支の事態もこれ以上發展せずこの儘推移するものと觀らるゝに至つた

蔣の妥協方針の表現

委員長に黃郛任命の事情

【北平三日發】本日の南京中央政治會議で北平政務委員會の設立並びにその委員長に黃郛を任命した事に對し消息通は次の如く見てゐる

親日家として有名で而も蔣介石とは義兄弟の間柄なる黃郛をもつてすることは、國民政府内における蔣介石對汪兆銘、宋子文派間の對立で蔣介石が優勢なるを反映するもので、今後は漸次蔣介石派の主張する妥協の外交方針が隨所隨時に現はれるのであらう、殊に親米派の驍將たる宋子文の渡米は蔣介石の對日策謀反對者中の最有力者を國民政府部内から留守にしたもので、今後蔣介石派は黃郛を通じ北支においては何等掣肘される事なく、その對日主張の實現に努力し得る事とならう、傳へらるゝ停戰交涉等も今日迄は勿論問題にならなかつたが、黃郛でも就任すれば、漸く交涉相手も出來た譯で日本側もこれなら何とか考慮して吳れる餘地もあらうではないか（寫眞は黃郛）

英公使乘り出さず

【北平三日發】當地外人側の情報によれば支那側より再度停戰交涉斡旋の依賴を受けた英公使ランプソン氏は支那側の依賴者が政府の正式代表でないのと、現在の狀態が停戰協定成立の目算なきを見越し、依然之を默殺し時局の推移を見る事に態度を決したものゝ如くジョンソン、ウイルデン兩公使もランプソン氏と同樣の態度を執るものと見らるゝに至つた、而して

戰區救濟委員會

政治會議に附議

【上海特電四日發】上海電報によれば灤東における治安維持問題に關し北平にて何應欽と內政部長孔祥熙等協議の結果、中央に建議し灤東地方に戰區善後委員會を組織し、これにより灤東の復興、難民の救濟、將來の治安維持に當らしめんことを電請し來つたが、二日の行政院會議は汪精衛主席の下にこれが討議を行ひ、戰區救濟委員會と改稱しその組織職權について

經濟會議招請狀を六十六國に發送

三日聯盟事務局から

【ジュネーヴ三日發】聯盟事務局は去る二十九日のロンドンの經濟會議組織委員會の決定に基き、三日全世界の六十六ケ國に六月十二日よりロンドンに開かれる世界經濟會議に出席を要請する旨の招請狀を發送した、なほ右招請狀には二十九日の組織委員會で米代表より各國に對して勘定休日參加要請の提議が爲された事が附記されてゐる

天津日本租界の暗黑化陰謀

發電所等に爆彈投下

【天津三日發】三日午後九時半何者か日本租界發電所正門に爆彈二個を投じ大音響と共に炸裂したが被害は無かつた、右は租界を暗黑化せんとする陰謀で時節柄重大視されてゐる、犯人は逃走したが右警戒中午後十一時四十分花園街に面せる總領事館構內の大田領事官舍の前庭に又も爆彈一個を投じ炸裂したが幸ひ被害は無かつた、再三の爆音に租界の人心動搖し駐屯軍では直に步兵一部隊を出動せしめ各重要個處の警戒に當り日本租界は物々しい光景を呈してゐる

支那側に嚴重抗議

日本側の對策

【天津四日發】領事館並びに發電所への爆彈投入に、日本租界は恐怖と不安の中に一夜を明かしたが四日未明來司令官々邸において中村軍司令官、桑島總領事等首腦部は同事件の善後處置について重要協議中で、その結果は爆彈破片等より見て兩事件は全く同一系統の組織的計畫行爲で、租界外よりの

原田男首相を訪問

【東京三日發】西園寺公秘書原田男は三日午前九時官邸に齋藤首相を訪問し政局問題につき首相の意見を聽取し十時辭去した

南天門の敵投降續出

【新京電話】南天門一帶の敵の堡壘を奪取したる川原部隊は敵と近く相對峙してゐるが、敵は依然攻勢的態度を改めず、一日以來每夜逆襲し來りその都度わが軍のために擊退されてゐるが、毒間は敵て前進することなく砲兵をもつてわが第一線に砲擊を繼續してゐる、この方面の敵は連日投降するものがあるが、その捕虜の言によると給與は一體に不良であつてさきにわが軍に投降したる第二師の兵士等がわが軍のために好遇せられてゐるとの情報が自然に附近の住民の口より支那軍の陣地內に流布されこれがため投降の機會をうかゞつてゐるものが多數であると

潛入者の行爲なること明瞭なれば支那側がこの種兇暴團體を公認し居る事實を指摘し嚴重なる抗議を提出する模樣である

は追つて中央政治會議に諮り決定することになつたと

鄭總理の詩作三昧

薰風に輝く新綠の若葉と紺碧に澄んだ絕景な星ケ浦ヤマトホテルの庭越しに觀賞してゐる滿洲國總理鄭孝胥氏に二日、三日と引續き武藤長官、滿鐵の各招宴に列席したが、四日は二十五年來の習慣通り朝三時半に床を離れ、東向きの窓に面した机に倚りかゝり、靜かに明ける星ケ浦の風光を心ゆくばかり娛しみつゝ、鄭宰相は忘れ得ぬ詩囊を解いて詩作三昧に耽つてゐる「けふは氣持よく四詩物しました」と次の詩を示した五日は早朝から老虎灘に詩趣を探るさうである

▲星浦雜詩

南行萬翀已參差。殘夜尤驚海日奇。四十年來爲條者。驚絲還許映花枝。

海色從邇曉日紅。島聲紫碎語春風。多情好事尋花侶。背說頹年夜起翁。

挾壁施窗憶壯年。推窗海色自無邊。人間正有千重恨。何壁悤誰更問天（標窗見海船似神戶）

含桑疎濃閑漸淡。人生花事類何言。花前人與春俱老。惆悵沾襟豈酒痕。

▲武藤元帥坐間賦招魂社

人自銷魂花自春。却收花氣作英魂。流芳百世應無愧。歲々花前待舉尊。

商震軍、方軍に合流の形勢

北平北方々面に後退

【北平三日發】第二集團軍總指揮を辭職した商震の軍隊の一部約四千名は後退を命ぜられて北平北方順義方面に到着しつゝあるが、同軍は一部改編されて密雲に殘り順德方面の原駐地に歸還する模樣でこの軍隊は平漢線に在る方振武の反蔣軍と合流するのではないかと見られてゐる

中央軍移動

【北平三日發】北平方面は支那逃亡兵三々五々北平に入り込み來り治安擾亂の惧れ濃厚となつたので何應欽は憲兵隊、公安局に嚴戒を命ずると共に蔣介石に善後策の支持方を電請した、振武が何應欽に反抗氣勢を揚げたので、北支の形勢は一變せん、蔣介石は更に中央軍を北上せしむべく潼關駐屯の第四十二師に命令を發した

【天津三日發】方振武軍討伐に向つた杜聿武の第百十八師は軍數個の列車にて平漢線に向ひ車三個列車もこれに參加し振武は目下保定に在るもの果して杜軍と戰鬪行爲を交へるや否や頗る疑問視されてゐる

重要諸懸案を携へ八田副總裁あす上京

けふ滿鐵緊急重役會議を開く

小磯參謀長は三日歸連し、同日武藤全權に報告し、又林、八田正副總裁と重要會談を行つたが、この結果八田副總裁は五日のうらる丸で急遽上京することにほゞ決定し四日は午前九時といふに早くも總裁室に緊急重役會議を開いた、列席者は

林、八田正副總裁、伍堂、村上、山西、竹中、河本、山崎の各理事、斯波顧問、宇佐美總局長、石本總務部長

で羽田鐵道部長、市川經理部長、右近業務課長ら問題に應じて出席して會談をつゞけ、午後零時半、中食のため小憩、午後は更に一時半より續行した、會議の內容については石本總務部長は「本日の會議については一切發表出來ない」と語つたが、副總裁上京の直前であるので最近の懸案を一掃的に議題に

一、移民に關する滿鐵の對策
一、北鮮鐵道委任に關する問題
一、アルミ及びマグネシウム工業問題
一、產金會社問題
一、昭和製鋼所および滿洲化學工業成立に伴ふ販賣制度問題
一、滿洲化學工業對滿電の發電所問題

等の重要問題に對する決定を行つた模樣である、なほ八田副總裁の滯京期間は未定だが、これがため五日までに歸任の途に就く害の十河理事は歸連期をおくらせて東京で副總裁を待合せて意見の交換を行ひ中央方面との交涉に當る筈

側が改めて提唱せる直通運轉並に特別技術協定設定の提議については貨車返還問題が未解決なのでこれが交涉を開始すべきにあらずとしてこれを拒みすべきものはこれを變更し常態に復せる後外交的に交涉すべきことあらば改めて交涉すべしとの既定方針を反覆主張するものである

滿洲國の對蘇聯反駁の內容

從來の主張を反覆

【新京電話】東支鐵道問題に關し蘇聯側クズネツオフ副理事長の聲明に對する滿洲國側の反駁文は四日決定、ソ聯側に發表されたが、三日の會議は森東鐵科長の提案によつて決定したものであつて

インフレ案米下院通過

【ワシントン三日發】大統領に對し三十億弗の通貨增發を中心とする所謂通貨統制の獨裁的權限を與するインフレーション法案は三日下院における表決の結果三百七票對八十六票の壓倒的大多數で下院を通過した

丁駐日公使けさ新京出發

【新京電話】新任駐日公使として丁士源氏は四日午前九時新京驛にて出發したが、驛頭には謝外交部總長初め日本側よりは岡村參謀副長、小林海軍司令官その他多數の日滿要人の見送りあり、丁士源氏は川島芳子さんより贈られた花束を片手に抱いて盛んな見送りに萬歲裡に出發した

遠交近攻失敗に妥協を望む支那

（下）對日策と平津の輿論

大公報

試みに三、四の平津新聞の論調を要約してみるとそれが判明する

中國は今日ただ一筋の道を走ることしか無い、他になかれないといふ、徹底犧牲これである、國家の外患に應對するに和戰の兩途がある、東三省の失陷を顧みるに滿洲國成立以前においては日支の紛爭はなほ和議の議すべきものがあつた、故に吾人は當時主戰高潮中において屢々自動的解決を主張したが、時衆議は紛々として世人の重んずるところとならなかつた、その後國際に對する信賴はただ滿洲國の

北平晨報

北平晚報

實報

御陪食を賜つた經濟代表

長き遍り四日橫濱出帆の龍田丸で渡米の世界經濟會議豫備會商に出席する帝國代表石井菊次郎子、深井英五氏、同顧問門野重九郎氏を御召しになり御陪食を賜つた、なほ松岡全權外六大臣も同時に御陪食仰付けられた、寫眞は宮中を退出する（向つて左より）內田外相、石井、深井兩代表、門野顧問

東天紅（72）

田中純　作
林一三　畫

蛇の道（七）

『玉の緒の續く限り君國に應へ奉らん』
慶びの新元帥武藤軍司令官
けさ長官邸で謹話

新に元帥府に列せられた關東軍司令官武藤信義大將は三日夜十一時陸軍大臣よりの正式公電を旅順關東長官々邸において接受したが四日朝に至り、無上の恩命に感激しつゝ左の如く敬虔な態度で語つた

不肖信義、陸軍大臣よりの公電に接し五月三日を以て元帥府に列せられ、特に元帥の稱號を賜りたる恩命を拜し恐懼感激の至りに堪へません、今日この無上の光榮に浴するを得たるは明治十八年陸軍出仕以來先輩の御指導、同僚並に隷下將士の輔佐共力の賜ものに外ならぬと信じ、衷心感謝するところであります今後玉の緒の續く限りは正心誠意君國のため奮勵努力以て聖恩の萬分の一に酬い奉らんことを期する次第であります

玉の緒の續く限りは大君の深き惠みに應へまつらん

昨夜恩命に祝盃
軍司令官は感慨無量 けさ歸任の 小磯參謀長談

三日歸滿、武藤軍司令官に重要案件の報告を了へた小磯參謀長は「一刻も早く新京へ」と四日早朝旅順より大連へ、更に「はと」にて名越副官帶同あわたゞしく歸京の途についた、參謀長は三日夜十一時頃長官邸において密議中武藤軍司令官の元帥府入りの公電に接し共々祝盃をあげこの光榮を心から祝福し「關東軍萬歲」のゆるぎなき前途をよろこび合つたものである、參謀長を「はと」の展望車に訪ひ「武藤軍司令官の元帥府入りの感想を」とたづねると

武藤軍司令官としては誠に光榮であらう、人格識見ともに高き武藤軍司令官の元帥府入りこそわが將士一同の心からの願ひであつた、我々は元帥軍司令官の下に將來ます／＼努力をいたさねばならぬ、昨日は着連と共に旅順へ、そして更に星ケ浦の滿鐵招宴へ再度旅順へ、實によく動けるものだと自分でも思つた幸ひ軍司令官との會見は昨夜十一時頃終つたが、丁度その時軍司令官の元帥府入りの公電に接したのだ、直ちに一同は祝盃をあげたが、武藤軍司令官も感慨無量の態だつた、自分は喜びの旨を述べ辭したが更に安藤要塞司令官と色々要談があつたので四日の午前二時頃迄話込んでしまつた、料亭彌生が自分がまだ大尉少佐時代に知つてゐた關係で昔なじみ甲斐に泊つたが、六時頃起きてすぐこちらに來たやうなわけだ

この間八田滿鐵副總裁、山西、竹中、河本、村上各滿鐵理事、宇佐美鐵路總局長、旅順より鹽原秘書課長等多數知名士が見送りに來た

天皇陛下 航空本部へ行幸
空中の妙技を天覽

【東京四日發】我が精鋭なる空軍が始めて陸軍に編入されて二十五年、天皇陛下には四日立川町の航空本部技術部に行幸あらせられた、この日、陛下には湯淺宮相、鈴木侍從長、本庄侍從武官長以下を隨へさせられ午前八時四十分宮城御出門、同九時原宿驛御發、宮廷列車にて十時十五分東淺川驛御着、多摩御陵に着御神前に御參拜十一時東淺川驛御發十一時二十五分立川驛御着車、略式自動車鹵簿にて荒木陸相以下軍事參議官等奉迎の裡に飛行場側の技術部に着御の上二階の便殿に入らせられ御先着の秩父宮、閑院若宮殿下と御晝餐を攝らせられ御小憩の後各機材を御巡覽の上飛行場内の玉座に進ませ給ひ德川好敏少將の御說明にて編隊、集團、離陸、各種高等飛行の妙技、空中連絡、空中戰鬪、對地攻擊、落下傘降下、編隊群着陸、オートジャイロの飛行振り等を天覽あらせられ午後三時十分立川御發車にて還幸の御豫定である、なほA・Kでは特に許されて午後一時卅分より全國に中繼放送をなすと

朗らかな けふの官邸
祝宴祝電頻り

四日の關東長官官邸は平日より早く玄關前から正門までの坂道は綺麗に掃除され裏口、臺所には出入の商人が威勢よく出入りし官邸の人々も朗かな氣分で忙しく立働いてゐる、午前八時安藤要塞司令官がイの一番に御祝に來り間もなく辭去したが、その後は東京、新京方面の祝電が引つきりなしに舞ひ込んで來る、九時長官は偕行社における配屬將校の訓示に臨み、それより一應關東廳に登廳、十一時五十分黃金臺の別莊に到り邸內に咲き誇る桃花を眺めながら參謀、副官等六名の水いらずの午餐會を催した

△△△△△△△
武藤元帥の肩書

新元帥武藤信義大將の肩書の書き方は左の如くである

正三位勳一等功二級、關東軍司令官、特命全權大使、關東長官元帥、陸軍大將

松山本社々長 元帥に祝辭

武藤關東軍司令官三日を以て元帥府に列せられた事につき松山本社々長は本社並に本紙二十萬讀者を代表して四日午後一時旅順白玉山腹の關東長官々邸に武藤元帥を訪問し祝辭を陳べた

道神樂奏樂裡に 肅々と行進
七日午後一時より豫習 大連神社の遷座祭

大連神社の遷座祭は五日午前九時三十分の淸祓に始まり同十一時より新殿祭、六、七兩日は御衛、八日午後八時より正遷座祭を執行するが正遷座祭には古式に則り舊殿より新殿までの間行列を行ふ事となつてゐるので神職以下奉仕者は七日午後一時より豫習を行ふ事になつてゐる、行列中は總ゆる照明を滅消し單に松明を灯し京都より招聘した牧野藤二氏一派の道神樂「千歲の歌」奏樂裡に肅々行進するがこの間寫眞を撮影する事は絕對遠慮して貰ひたいとの事だ、なほ當日參列者は舊殿裏より迂回して行列參道に侵入せざるやう之れも注意して貰ひたいとの事である、大連放送局ではまたこの祭典に際してマイクロホンを設備し道神樂から拍手に至るまで全滿に放送する準備を進め神社では八日から社務所に於て希望者に對し五月一杯記念スタンプを押捺する事になつてゐる

大連神社で 臨時大祭執行
九日午前十時から

大連神社では今回御祭神中へ畏くも明治天皇の大御神靈ならびに滿洲事變戰死病歿者の靈を合祀奉齋したので來る九日午前十時より臨時大祭を執行すると

定員以上の 乘船を防止
商船、對策協議

O・S・K・定期船うらる丸が超滿員の結果その三等船客の一部をハッチの上に寢せたと云ふ奇怪な事實に關し端しなくも船客の憤激を買つたが大阪商船側においても將來の對策につき種々協議の必要あり、取敢ず過去の事は過去とし將來に對し萬全を計りサービスに遺憾なきを期する事となり、それ／＼本社側においても具體策を講ずる事になつた、一方海務局水上署においても今後定員を超過してゐる際は遠慮なく港則に照らして處法に處する筈である、尙今後は神戶或は門司においてその地の水上署の協力を得てみだりに定員以上の乘船を防止する事となつた

朝香宮、李鍝公兩殿下 けふ御着京
明日南嶺戰跡御見學

【新京電話】朝香若宮、李鍝公兩殿下には陸軍士官學校生徒の御資格で稻垣校長以下職員生徒三百餘名と御同列、四日御來京遊ばされ朝香若宮殿下にはヤマトホテルに李鍝公殿下には滿洲屋旅館に御投宿の御豫定であるが御來京後の御日程は左の如くである

四日午後三時三十五分新京御着直ちに軍司令部に向はせられ屋上より新京一帶の地形を御展望遊ばさる、五日午前八時より再度軍司令部に向はせられ岡村參謀副長の講話を御聽取遊ばされた後寬城子並に南嶺の戰蹟を御見學遊ばさる、六日新京御發ハルビンに向はせらる

なほ稻垣校長以下幹部は滿洲屋旅館に士官學校生徒一同は新京記念館及び西廣場小學校に分宿の豫定

兩殿下御離奉

【奉天電話】朝香若宮李鍝公兩殿下には陸軍士官學校生徒と共に四日午前八時十分發新京行列車に御乘車蜂谷總領事、栗野奉天地方事務所長その他奉天官民多數の御見送りの裡に御機嫌麗しく御離奉新京に向はせられた

谷口檢閱使一行 旅順視察
第一日の日程を了る

特命檢閱使谷口大將一行は九時十五分大連より一路關東廳を訪問、直に要港部に引返した、營門入口には在鄉軍人海軍班、高等小學校旅順中學、第一小學校、少年團、官民多數の出迎へあり司令部前には河本大尉の指揮する三小隊より成る一個中隊の儀仗兵、津田司令官以下各參謀、在港艦船乘組各海軍將校及び安藤要塞司令官、野田工大學長、西山財務局長、米岡市長、山村重砲隊長その他在旅文武各高等官の堵列出迎へを受け久保田參謀長の先導にて諸員の敬禮を受けつゝ司令部に入る、この時武藤關東長官は萬城目副官以下各幕僚を隨へ答禮のため到着それより伺候者として

武藤長官、安藤要塞司令官、野田工大學長、西山財務局長、日下內務局長、米岡市長、青木警察署長、大塚在鄉軍人分會長、坪倉衞戍病院長

の順序にて引見され十時より要港部港務部、海軍病院、水交社等の檢閱をなし十一時卅分司令部發ヤマトホテルに歸還晝食の後午後一時再び自動車にて無線電信所及び海上部隊の一部檢閱を終り第一日の日程を終つた【寫眞は旅順における谷口檢閱使】

鮮人避難民 前居住地へ歸還
救護期限の到來で

過ぐる冬期間（十月—三月の六ケ月）ハルビンにおいて救護されてゐた鮮人避難民は一、四四〇戶六千百七十人であるがこれ等避難民は去る三月末日救護期限の到來と共に漸次從來の居住地たるハルビン近郊の殷家屯、太平橋、集源昶、宗家店および三姓烏吉密等に歸還しつゝあり、現地治安問題については總領事館が特に當該地方の公安局とそれ／＼連絡をとり鮮人農民をして自警團を組織せしめるほか烏吉密の集團農場には領事館警察分署の設置を見る筈で、農耕資金の貸付については目下關係當局で審議中である

土工大擧し 事務所占據
富山縣の騷擾

【富山四日發】富山、高岡國道改修工事に從事する日鮮人勞働者百七十名はメーデー休日の給料を要求したので二日夕刻土工を解雇した處飯場に居た全協系徐滿在がリーダーとなり三日正午大擧して富山工區事務所を襲ひ之を占據し更に縣廳に押掛けんとしたので富山署より約百名の警官急行約六十名を檢擧し之を解散せしめたが富山署ではこの機を期し不穩分子の一掃を期し檢束者を追窮中

戰塵の熱河へ 畫筆の旅
江內豊君山海關へ出發

大連出身者にして出京後二科會に常連として確實なる寫實に基準し昨今同會の異色として存在する江內豊氏は過日來滿、陸海軍將星の多大なる激勵の許を畫筆に秘め戰塵なま／＼しき熱河聖地北滿方面へ戰跡を描破すべく三日一路山海關へ出發した、二十世紀に生きる青年日本の畫家として近代的この爆發畫も近く完成次第東京、大連にて發表する豫定である

北票煤礦營 口支局開設

北票煤礦總局（奉山鐵路經營）は今回營口陳家花園街の陳子滿を五萬元の保證金を以て營口支局長に任命し二道街益盛公內に支局を設置五月一日から事務を開始したが工業用としてまたはバンカーとしても炭質惡きと煖房用としては目下需要ない折柄撫順炭の賣れ行は大した影響はない見込である

配屬將校會議

關東軍當下各學校配屬將校會議は四日午前十時より偕行社に於て開催武藤軍司令官臨場の上一場の訓示を爲したる後一同記念撮影を行ひ夫れより安藤要塞司令官講演の後學校訓練に關する會議を行つた

四月中檢疫數

當地海務局の統計による四月中の檢疫數は次の如くである

卽ち隻數三百六十二隻總噸數九十八萬八千六百四噸檢疫人員は六萬八千八百八十三名、昨年同期に比較すると隻數において十三隻減總噸數において七七六四噸の增、人員においては二千百八十一名の增加を示してゐる、隻數の減少にかゝはらず總噸數並に人員の增加は要するに大型船舶の入港の增加を證據立てるものである

ラヂオ放送で 國民教育を
矢部謙次郎氏來京

【新京電話】東京中央放送局放送部長矢部謙次郎氏は三日關東軍高級囑託として京城より來京、國都ホテルに投宿したがソ聯の大電波放送、南京の怪放送に對抗すべく滿洲國に大放送局建設を各方面にて論議されてゐる折柄とて氏の來滿は多大の注目を惹いてゐる、氏を同ホテルに訪へば

今度の來滿は別にむづかしい意味はない、たゞ朝鮮の二重放送が廿六日完成されたのでこれが視察かたがた滿洲の放送局を視察のため來たのである、來て最初に痛感したのはこんな廣大なところでは先づラヂオ放送で國民教育をせねばならぬ、朝鮮でも日本語と同時に朝鮮語でも放送出來るやうになつたから朝鮮人は大喜びだ、それで滿洲もこれが一番大事なことだ、大放送局云々は自分は第二義と思ふ、これも日滿合辦通信會社が出來てからのことであらう

と語つた、氏は十五日まで滯滿

不正金融業者の 假面を剝ぐ
詐欺橫領の嫌疑で 奧田良巖氏召喚さる

大連地方法院檢察局高井檢察官は去る一日市內大正通百五十七番地金融業奧田良巖氏（五〇）を召喚一應の取調を行つた結果詐欺橫領の嫌疑濃厚となり同日夕刻遂に令狀を執行、嶺前屯刑務支所に收容されたが、爾來同氏の關係者多數が證人として喚問されつゝある、奧田良巖氏收容の原因は市內楓町宇野某氏の手形僞造を行ひ、三百圓を詐取し告訴されたもので、多數證人の召喚を見るに從ひ奧田良巖氏の不正金融業者としての假面がはがれつゝあるが、この事件以外には目下檢察局及び大連沙河口警察署には市內監部通百二十番地丹野仁三郎氏外數名から詐欺、橫領、公文書僞造等の告訴が提出され、その被害額も莫大に達する模樣である、檢察局では不況時の裏を搔いて不正を働くかゝる金融業者を徹底的に取調べると意氣込んでゐる

檢疫船『みなと』
入港船激增に鑑み 海務局で新たに建造

海務局においては從來廟島丸、營城丸の兩船を交替に檢疫に當らしめこの間兩船の定期檢査または沖の時化た際金州丸を代船として使用してゐた、しかるに最近の如く入港船舶の激增に鑑み同局ではかねてより快速短艇を建造したがその名も「みなと」と命名し今後廟島、營城、みなとの三隻を交替に檢疫に當らしむる事となつた「みなと」は船體は小さなものであるが波切りの工合が好くかなりの波濤にも堪へ得るもので速力も現在の廟島より以上のスピードが出ると云ふ

大連驛ホームの 擴張工事に着手
從來の驛本屋を後退

大連驛・ホーム及び驛前廣場の改築工事は廣場の擴張を手初めに舊機關庫の取除け作業も着々進捗してゐるので愈々四日より第一ホームの擴張工事に着手することゝなり從來の驛長室及び助役室にあてられてゐた驛本屋を同ホーム待合室並みに後退させることになつた同工事完成まで當分待合室を驛長及び助役の事務室に當てることになり四日早朝引越をした

モヒ中毒女 衣類を窃取
苦惱の餘り

市內淺路町九番地芳野方竹崎ハツヨ（二〇）はふとした動機からモヒ中毒となり市內敷島町荒井醫院で注射をなし麻醉の享樂に溺れてゐるを家人が知つて、監禁同樣の身となつてゐたところ去る四月二十七日苦惱の餘り芳野氏妻女キヨの衣類二枚を窃取、これを紀伊町第五博多屋質店に入質、荒井醫院に駈込んで注射を受けたこと發覺、三日大連署員に窃盜犯人として取押へられた

遺骨八十一體
新京を出發

【新京電話】廣瀨部隊の戰歿者六十九體の遺骨は在京の十二體の遺骨と共に伊藤中尉以下の戰友に護られて四日午前九時五十分發の列車で岡村參謀副長、新京各小學校生徒、官民その他多數に送られて南行した

商業學堂の 內地見學團
五日大連出帆

大連商業學堂日本內地見學團二十二名は松崎教諭引率の下に五日出帆のうらる丸で渡日、神戶、大阪京都、東京その他各地を見學、十九日神戶發ばいかる丸で歸連の豫定である

區長任期滿了
來る二十日で

大連市區長ならびに區長代理各五十七名の任期は來る二十日を以て滿期となり同時に改選となるが現區長ならびに區長代理の中には辭意を有するもの少きにより大體において再推薦される模樣であると

天氣予報 五日

西の風 晴

各地氣溫（四日午前十一時）

旅順 十八 奉天 十二
大連 十九 新京 八
營口 十四 新義州 十四

警報解除 四日午前八時南滿洲附近の警報を解除す

けふの小洋相場（十時） 金百圓に付一三三圓六五錢

家庭

『アヤメ』の珍種發見
南關嶺で　大連一中の小林教諭等

▼…大連一中の博物研究會員數名は去る四月二十七日の臨時休業大祭の午後を利用し小林勝先生に引率されて南關嶺へ博物採集に出かけましたが色々な植物の珍種を採集してかへりました、中でも最も注目に値するのはアヤメの一種で、花は莖の高さに比して大形でありますが外花蓋は非常に細く、色は紫黄色で細い紫條が澤山見える子房は殊更に細くて殆ど地面に接するほど長いものです

▼…小林教諭は其後種々の文獻によつてこの植物を研究中でしたが未だ何處の文獻にも見當らず恐らく全くの新種に違ひないとして假に「ヒメホソバネヂアヤメ」と名づけて近く植物學會に提出すべく準備中です

▼…なほ當日はこの外關東州内ではかつて發見されなかつた「アンザンアヤメ」數株、其他州内でも珍しい「マンシウスミレ」「ハナイトバカラマツサウ」等多數の收穫があり、在來植物研究家にほとんど顧みられなかつた南關嶺も大連一中博物研究會員によつて一躍重要な植物採集地の一つに數へられる事になつた譯です(寫眞は新發見のヒメホソバネヂアヤメ)

ハンドバッグ類の若返り
お試し下さい

革のハンドバッグがよごれましたら清潔な綿天の小布にキハツ油を含ませ内外共に丁寧に擦つてよごれを落し、あとをきれいなやはらかい布で拭きとります、よごれのひどいのはキハツ油に浸す位にしてブラシで擦り洗ひおとします。乾かして良質のクリームを塗りやはらかい布で磨上げますと新しい物のやうになります、殿方の折鞄や皮の財布、スーツケース類も同樣にすれば若返ります

乳幼兒愛護週間に　私のお願ひ(下)
大連醫院小兒科醫長　浮田友樹氏談

◆…世の中で一番罪が深いと思ふのは骨が金儲け、嘘の肉でくるんで外に神樣の皮を張つたり學問の衣物を着せたものです、學問自體にも色々缺點がありまして生きた學問死んだ學問とありますちりぢりばらばらになつた學理は時に全く死んだ骸骨の學問であります その一番の例がカルシユーム、ヴイタミン紫外線或はホルモンとかいふ樣なものでせう、これ等何れも人の身體に大切な缺くべからざるものです、然しそれだけでは何もなりません、かう云ふちりぢりばらばらの學理を人の生活に一番大切なものと思はせたり又思つたりして、われわれの生命を鈍らせる事も屢々見られる事實であります、溫室でならせた果實の美しさで人の子供の發育を夢みたり、實驗室内で不自然な動物實驗の結果だけで人の子の榮養法を考へ出したりする事もあります、人間は少くとも植物や動物とは違ひ子供として子供の魂があります、精神があります、さう簡單には行くはずがありません、四、五年前のことフランスの或る新聞に左の樣な論說が出てゐました

◆…赤ん坊が生れるとさあ種痘、結核の豫防接種、ヂフテリヤ、猩紅熱、百日咳の豫防、水痘も小兒麻痺もワクチンをやれ、母乳を豊富にやれ、牛乳を飲ませよ、とても澤山の仕事に母は何をほんとにせねばならぬか見當がつかない といふ樣な意味がありました、これはほんとに無理からぬ事であります、滿洲にありましても色々と有益な意見が述べられて居ります、太陽燈を買へ、紫外線硝子を用ひよ、二重窓とせよ、欄間を設けよ、壁を改良せよ、ペチカは有害なり、溫水煖房に改め窓を開けて寢よ、カロリーをとれ等いくらでもあります、これ等が皆自由に出來ましたら何も申す事はないのですがせいぜい南向きの家にでも入つたら幸ひとせねばなりません

◆…四月七日鳩山文相は、ラヂオ時局特別講演に「聯盟脫退に關し下し給ひたる御詔書を拜し奉りて」と題してかういふ事をいはれました 只今日本は國難に遭遇してゐるけれども外患といふ意味では此度より遙かに大きな國難に再度ならず見舞はれて居る、而も、今日まで我神聖なる國體を恥かしめなかつたのは上御一人より下庶民の末に至る迄愛國の念に溢れ內憂といふものがなかつた、外患恐れるに足らず只內憂を恐ると云ふ一節がありました、これは我が日本の國の話しでありまして人間の體の事などにたとへるのはどうかと思ふのですが誠によい教訓であるのです

◆…病氣を恐れ、家屋にあらゆる防禦方法を講じ己は中に蟄居してびくびくして居るとすれば、それは張學良が日本の軍隊を恐れ防備に汲々としたり、我飛行機を怖がつて、地下室を設けブルブル震へて居る樣なものです、人間も一動物であります以上、動くといふ事がわれわれの生命であります、われわれは動かなかつたらわれわれの健康は保てません、そこに內憂がかもされて來ます、國家に於ても外敵に備へる爲めには非常な軍費を要します、人間の身體も外の病氣に備へるには莫大な金が要りますが內憂を避ける爲めには出來るだけ大自然にふれよく動けばよいのではないでせうか、然し我々は學問に反逆する事は出來ません、どうしても學問を骨子とせねばなりません、關東廳及滿鐵の努力はむなしからず殆ど吾々の進むべき道を教へられてゐます、これから脫線さへしなかつたら安全といつても差支へないと思ひます、只共同一致歩調を揃へて進むことが大切です

◆…私は最後にお願ひがあります、自分で家を建てられる方は出來るだけ理想的に衞生的に設計される事が必要ですが折角自分の家が衞生的でもその附近が不衞生であつたらどうでせう、恰度芥箱の中に石炭酸を抱いてゐる樣なものです自分に能力のないものはその芥の中で裸で動いて居るわけです 若し海岸の砂の中の樣に、又は廣々とした田園山野であるならば石炭酸の御厄介にならずに共に健康であります、それで若し出來る事ならばそれ等の餘財をもつて心ある有力者の力により滿洲都市の綠化運動を起して貰へないでせうか、森林は都會の肺臓であります これが本年の乳兒愛護週間に於ける不肖浮田の心からのお願で御座います

家庭顧問

肥るのは厭　瘦せたい　そして背高く

【問】二十二歳の娘ですが肥つて恰好がわるいので困つてゐます、何か適當な瘦せ藥又は瘦せる方法はありませんでせうか、それに背ももつと高くなりたいのですが無理な願ひでせうか(肥りすぎの娘)

無理に瘦せることもありますまい

【答】貴女の年配では肥つてゐるといふことも健康の一つの徵として無理に瘦せることもないと思ひます、瘦せる藥もいろいろありますが、中には害があつたり、或は用ひた時は一時奏効しても止めれば直ぐ元のやうに肥つたり、本當にお勸め出來るやうな藥はありません、それよりも日常の食物に注意して特に糖分のもの脂肪分のものを減じ、身體の運動を增す樣な方法をおとりになつたらよいと思ひます、身長を高くすることは貴女の年齡ではお氣の毒ながらこの上餘り望まれません(三浦学)

何事にも根氣がない　腦病か

【問】二十歳の青年です、現在身體には別狀ありませんが何をしてもいやになり長つゞきがしません、何か事を始めやうとするとそれが心配で恐ろしいやうに思はれ、人中へ出たり人と對談したりすることが最もきらひで訪問などは苦痛の種です、萬事かういふ具合で他の人から見たら可笑しいと思はれるでせうが事毎に氣を遣ふのです、少年時代からこんな工合でしたし別に母が若い時腦病持ちだつたさうですから私も腦病なのでせうか何か良い精神の轉換法をお教へ下さい(惱む青年)

病氣はあるらしい　運動をなさい

【答】貴君のは小さい時からの症狀のやうですが何かスポーツでも始められたら効果があると思ひます、色々な事を申上げて却て貴君の神經を尖らすことになつてもいけませんが唯腦病者(精神病者)は自分では「俺はキチガイではない」と信じ切つてゐるものですのに、貴君はさうでないかと心配されてゐる位ですから狂人ではありません、しかし腦神經の病氣はあるやうですから專門醫に診てもらつて適當な處置をなさい、氣の合つた快活な友人と交際すること、つとめて戶外散步、登山その他の運動を行ふのは大變よいことです(土井三郎)

親が惱む子弟の教育
內地の工業に入れゝば學資が續かない
早く獨立させるにはドウする

【問】四男二女の母親でございます、長男は今年六年に在學してゐます、學校の成績は一般によい方でございますが特に機械を分解したり組立てたりする事に興味をもつてゐるので、この分だつたら工業學校に入學させたら將來早く獨立する事が出來、成功を收めはしないかと考へます 中學校へ送つても卒業後の就職は覺束ないし、商業とも考へてゐますが、やはり子供が興味をもつてゐる工業學校に進ませてやりたいのでございますが何にしましても中等程度の工業學校がこちらにないので內地に送るよりほか方法がなく、さうなると現在の家庭の經濟狀態では毎月三十圓の學資を仕送る事は不可能です、こちらで通學するのでしたら或る程度までは家庭の經濟は犠牲にしても一まとめに學資を支出しないのでやれるのです、でこちらで工業學校にやるためにはやはり中學校を卒業させて工業專門學校にでもやらなければ方法がないし、すると次々に弟妹が後に控へてゐるので經濟は益々困難になると豫期してゐるのです、で出來得れば中學程度の工業學校を卒業させて早く獨立させたいのですがどんな道をとつたらよろしいでせうかお伺ひいたします(大連山田さと)

特徵は飽くまで伸してやれ
內地に送らずともこちらで中學校へ

【答】出來れば本人の趣味に適ひそれに對して相當理解と能力をもつてゐる學科の方に力を注ぎその研究に努力させられる事が最もよい事だと思ひます、實際にそのお子さんと家庭の狀態を知つて居たら本人の趣味の度合その強さ又それを遠い將來に向つて伸ばして行く上に於て行き詰らないで伸びる力があるものかどうか詳細なことが判明するので私一個人としての意見を申し上げる事ができるのですが直接知つてゐるのでもないので確然たるお答へが出來兼ねるのです、がそのお子さんの能力に應じてできる限りの助力は與へて欲しいと思ひます 然し充分考慮しなければならないことはたゞ小細工が好きといふだけでやる場合もあり、それが將來ずんずん伸びるだけの永續性ある能力をもつてゐるかどうかが疑はしい事もよくありがちの事ですからその點充分考へにおく必要があると思ひます

▼……▲

將來伸びる芽生があれば他に多勢の弟妹もゐられるため相當な學資が入用の事とは思ひますがお子さん全部が同趣味をもつてゐられるのでもないでせうし、それぞれお子さんの性格に從つて趣味も違ふと思はれます、親として全部に同等な教育をさづけたいのが情ですが、といつて折角備へてゐる能力を其他の弟妹に不平等な教育をさせるために無下に棄てゝしまふとは惜いと思ひます、この考へ方は第三者の立場から申して親御さんには冷淡のやうに聞えるかも存じませんが私は能ある者は特別にそれを伸ばしてやることが最も必要なことぢやないかと思ひます

▼……▲

でその目的を達するためには是非內地へ送られなくてもこちらで中學校へ送られ中學を卒へて工專なり旅順の工大なりに進ませられたらいかゞでせう、學資の點で中學卒業後その志す專門學校へ行けないとすればその人の性能次第では關東廳、滿鐵の奬學資金を利用する事もできるのです、其方面に特別優れた智能があれば將來色々の事を研究する上にも一般の智識を必要とします、中等程度の工業學校ではこの點は不足と思ひます、その意味からも中學校に入學して一般科目を學習して工專なり旅順工大豫科に入學される事は意義ある事ぢやないかと思ひます(太田大連南山麓小學校先生談)

ミツタンとボンコ　センソウノマキ
(42)　橋本清史作並繪

テーブルノ ウエ ニ アツタ カミヲ ヨムト フシギ フシギ ハネノ ゾウリ ダツテ。
ナルホド ネ

ミツタン ハイテ ミル コトニ シタ。 ナカナカ ハキニクイ ゾウリ ダヨ。
コレデ ヨイカナ

ハイテ アシヲ ウゴカスト ヤア！ トンダ トンダ フワ フワ フワ ト。
ヤア！ スバラシイ

ミツタン ユクワイ ニ ナツテ アチラ コチラ フワ フワ フワ フワ トリ ノ ヤウ。
トリノヤウダナ ユカイ〳〵

滿日各地版

驛ホームの出入に入場料徵收か
出入客增加、雜踏を極むるに鑑み　奉天驛當局で講究中

【奉天】奉天驛プラットホームが常に雜踏を極め最近一老婆が列車から飛び下りさまレール內に落ち瀕死の重傷を負ふた事件あり、旁々今後益々人口の增加に伴ふて乘降客も多くなるので、この際ホーム出入に二錢乃至五錢の入場金を徵收し幾分でも雜踏を整理してはその意見あり、目下奉天驛で研究中であるが、混雜を防ぐ點からいへば實施することは當然であり、ホームを散步場とする者を取締り得るばかりでなく一部竊乘專門の掏摸を防止することにもなり旅客には便利となるので其の實施には反對する者は恐らくないであらうが、見送、出迎ひ人には多少迷惑であらう然し內地各驛においてはプラットホームには一切自由出入を許してならぬのであるから慣習となれば別に問題はないと見られてゐる

中央か省かに人が必要だ
各縣の狀況を視察して　中川男奉天で語る

【奉天】男爵中川良長氏は三月末來奉し四月二日から約三週間安奉線から瀋海沿線の各縣を視察し歸奉したが語る

四月中に歸京の豫定であつたところ滿洲國の地方行政を視察したいので瀋海縣其他七、八縣の縣公署を訪問し地方の商民團、農會の代表者等とも會見し縣長縣參事官等の

實際　方面の行政關係を見學して來たが得るところは多くこれで吉林、興安省を始め新京を視察し遲くとも本月中には一度歸京する考へである縣政についても單に素通の見學であるたいて一切の批評はこの際差控へたいが中央政府と省縣の關係は地方行政の實體をよりよく知つた人が中央なり省なりに居ることが必要であると痛感した、何といつても地方の財政は疲弊し農村の避難民は相當縣城に集まつて來てゐるから縣公署の財政も容易でないらしい、素人觀ではあるが中央政府の關稅徵收の開始後地方行政財政上に影響を與へたことは免れない、然し地方は匪賊の討伐により昨年よりは約三分の一に減退し

歸順　匪賊の數もかなり多く東邊道では飛行機により歸順を勸告するなど我皇軍は非常な努力を拂ひつゝあり僅かに十餘名で守備してゐる地方で一步も匪賊の襲來がない程日本軍の威風にはいづれも匪賊は脅威を感じてゐる實狀を目擊して來たが特に晝夜を分たず前線において活動し夜間十二時頃にも斥候を出し匪賊の動靜と狀況を調查し時に奇襲をするといふ風で其の辛勞の程は想像以上であり感激に堪へなかつた、前線部隊の各將士の勞には感激せねばならぬ

氏は二、三日間滯在の後北行の模樣である

遼河々巡隊一行歸る

【營口】遼河水域治安維持の萬全を期すべく四月廿三日河巡隊を率ゐて鐵嶺及途中巨流河等遡上の壯圖を試みた遼河水上警察局第一分局長岡本忠雄氏の一隊は最初の豫定八日間即ち四月三十日頃歸着すべき筈のところ其後杳として消息を絕ち同本局においても極度に心痛して彼此と消息を得んものと努め居たが一方巷間の風說には匪賊の襲擊に逢ひたるならんと無稽の噂を爲し憂慮されてゐたところ、三日田庄臺より同隊が無事なる事の報に接した、同分局長歸着の上は疑問視された沿岸水路匪賊情勢等の包みは開かれ詳細の事情分明するであらう

創立記念日觀櫻會

【旅順】旅順衞戍病院創立記念並に傷病兵慰安觀櫻會は三日正午から同院內に於て擧行、矢澤、坪倉兩院長を始め職員一同、來賓には安藤、津田兩司令官、伴民政署長、米岡市長其他官民並に婦人家族達多數により式典を擧げ終つて爛漫と咲き誇る數十株の櫻下に設けられた觀宴場で矢澤院長の挨拶あり乾盃が交され在旅美術連盟出動で酒間を斡旋し觀櫻祝賀の宴は遺憾なく發揮された、看護兵員の假裝行列、華やかな模擬店、餘興場の遠音囃子等は勿論痛々しい傷病兵一同も今日ばかりは十二分の歡樂を滿喫した（寫眞は櫻下のメンテーブル）

更生の熱河
全寧赤峰二縣をみる

（一）

日滿兩軍が熱河省に入つてからの全寧、赤峰兩縣を見ると兩縣の縣政は全く一變し新縣政に依つて政治を開始してゐる、同方面の治安維持は日滿兩國軍警、地方自衞團縣公安局が相互に連絡を執つて之に當つてゐるが、治安の安定と共に今迄疲弊してゐた一般農村も段々と盛氣を呈して來たことを認めることが出來る、殊に滿洲國政府が阿片稅の輕減を斷行したことは疲弊のどん底に呻吟してゐた「けしの國」の全農民に與へた一大福音であつた、今茲に全寧、赤峰各縣についての具體的調查を揭げて見やう

◇一、全寧縣◇

全寧縣は曾て人口三萬を有してゐたが、現在では約二萬人に減じてゐる、此處には昨春迄、設治局があつたけれど財政的の理由で大同元年四月限り廢止されてしまつた、茲で民衆代表の話を聞くと大體左の如く口を揃へて軍閥の惡政を攻擊してゐる

軍閥の苛斂誅求と惡政の結果、全縣疲弊の極に達してゐる、人口は減少の一方で縣外に移住する者は非常に多かつた、併し日滿兩軍の手で湯玉麟の魔手が消えてから新政が布かれ特に阿片稅の輕減布告の結果、地方民衆は何れも善政を謳歌してゐる、そして段々歸來する者が增えて來たし阿片耕作率も前年に比して素晴しく多くなつて來てゐる

◇二、赤峰縣◇

赤峰縣は交通、商業貿易上の一大中心地で物資の集散頻繁を極めてゐる、殊に赤峰城內は古來殷賑を極めた地點であるが、現在では其の面影もなく、經濟的に甚だしく疲弊してゐる、數年前の人口は十六萬三千七百餘であつたが現在は約八、九萬に減少してしまつた

又耕地面積は七千頃であつたが現在では約三千七百頃に減じ農村は到る處廢墟の樣な有樣である、之が原因としては

一、湯玉麟の苛斂誅求
二、阿片に對する多額の課稅
三、軍閥の擾亂
四、殆んど無價値な興業銀行紙幣を人民に與へ現大洋を徵收せる事

の諸點が擧げられる

◇

此の惡政の結果として遂に財政局及徵收局の稅金收入は激減して各種機關の經費の不足や官吏俸給未拂を招き各機關の機能は萎縮沈滯して益々不正な惡稅を課徵する樣になつた、例を擧げれば官吏の俸給は十一ケ月分縣公安局職員は一年分未拂となつてゐた、又人民に課してゐた稅金は

一、畝捐　全縣の官地新有面積は七千四十五頃であつたが惡政の結果と連年の炎荒の爲に人民が逃亡して現在では三千餘頃となつて徵稅實收入が半減するに至つた、此の稅率は每畝一年征收大洋二角四分である
二、車馱捐　每月約百元で之を地方警學補助金に充當してゐた
三、出街油糧捐　每石細糧一角、粗糧五分
四、麻湯捐　每百斤五分
五、屠宰捐　年收約一萬元（中二割は入札者に與へる）
六、奢侈舖捐
七、小腸捐
八、湯鍋捐

等あるが此の中でも小腸捐、湯鍋捐は極めて惡稅である、赤峰全縣における大同元年度阿片產量、稅額及畝數は左の如くである

種阿片畝數	三百七十頃
阿片稅額	三十七萬元餘
出產量數	百十一萬兩餘

響水寺一周道路
各方面の開設要望頻り

【金州】山水幽谷の仙境として遊覽客の絕え間ない大和尙山及び山麓の響水寺は近く警察官救察所も設置されることに內定しその聲價は頓に高まるに至つたがこの名勝に通ずる道路が表は既に完成し表も昨年朝陽寺に至る迄が竣工せしため登山並に遊覽者はその利便に快哉を叫んでゐるも朝陽寺より響水寺間を連絡する區間は施工することに計畫されたまゝ現在では放置の狀態にあり此の間地元の住民は勿論外來者間にもこれが實現方を要望し近時その聲は頻に擡頭するに至つた、なほ南山戰蹟道路及響水寺迄の表道路に於ける數箇所の急カーブは此の程金州土木管區の手で緩和工事が施され大連滿電バスの運行も容易となつた

京城商議役員會

【京城】京城商工會議所では三日午後二時から役員會を開き

一、鮮滿間往復旅客運賃割引制度實現促進の件

につき凝議することゝなつたが右は一昨年來滿鐵側と種々折衝を重ねたるも今尙實現されず鮮滿交通關係は益々密接を極め其實現は鮮滿双方の利益なるを以て近く入城する村上理事に對し膝詰談判をなし急速實現を期せんとの意氣込みである

日本海時代現出に努力
岡田永太郎氏談

【京城】來城中の大阪商船專務、朝郵取締役岡田永太郎氏は日本海航路につき記者に左の如く語る

敦圖線の開通によつて資財の殺到が日本海に集注されることは言を俟たざるものであるが、社外船の活躍も大したものと想像される即ち日本海時代現出に際しては商船と朝郵とは相提携して益々地盤確保に努め積極的に幾多社外船の進出に對抗すべく覺悟してる次第である

滿洲國の工業中心奉天の一帶に建設
國內工業計畫案內容

【奉天】滿洲國が近く實施せんとする國內企業及び工業計畫案については既に大綱を決定し國家統制下における重工業と日滿統制經濟よりする輕工業及び日滿投資企業の範圍に區別し工業國稅徵收の種類は去る三月一日鄭國務總理の聲明により根本方針は明かとなつたが右の內更に研究を要するものは審議委員會に附議し審議中で工業地としては原料の集散に便にして工業用水の豐富と動力等が重要視される關係から依然奉天が中心となるもので近く重工業に着手する筈である、但しその種類は嚴秘に附されてゐるも重工業は大東邊門外に設けられ輕工業その他は市政公署の買收地に何れも計畫されてゐる模樣で本年中には實施の緖に着くものと見られてゐる

大羅津の大黑柱新安面長決定す
齋藤長治氏任命さる

【羅津】曩に金琪宅氏新安面長を辭し道會議員選擧場裡に出馬し面書記李春燮氏臨時面長代理となり後任面長の任命に就ては世人注視の的となり一日も任命の速かならんことを待望中の處二十六日附咸鏡北道廳勤務の齋藤長治氏拔擢任命され二十九日午後四時多數官民の出迎へを受け着任し羅津ホテルに旅裝を解いた

因に同氏は當年四十八歲の働き盛りで明大法科卒業大正八年大望を抱き渡鮮爾來朝鮮總督府警察官として一貫し總督府警視高等官四等となり昭和五年勇退し鄕里に於て晴耕雨讀自適して居たが今時本道土木課勤務となり朝鮮一の新安面長に拔擢されたものである

同夜訓を通ずれば語る

全く寢耳に水の樣に二十六日任命されました、各方面に亘り放射狀に發展する羅津當面の問題としては內地人教育機關の設置に保健衞生防疫施設や交通等と思はれるが何分とも市民の御鞭撻を仰ぐ外ないと思ふまあ宜敷賴む

露人店舖に怪彈丸

【奉天】去る一日午後九時ごろ千代田通りのロシア人經營外國物產に何者か外部路上より十錢玉大の鉛を二階に射込み窓硝子を破壞し二日夜も同樣東支商業部に射込んだものあり何れも窓硝子を破壞しただけで被害はなかつたが五月一日のメーデー當日と二日間に亘り何れもソウエート系ロシア側の被害であり東支鐵道紛糾の折とて奉天署高等係では神經を尖らし目下犯人嚴探中

鎭江山の櫻
土曜日頃が眞盛り

【安東】風雨に祟られた鎭江山の櫻は一兩日滿開が遲れたが四、五日頃には咲揃ひ、六、七の土曜日曜が最も賑ふであらうと豫想されてゐるので安東驛では二日夢多事務助役が飛行機で奉天に向ひ上空から花信を撒布した

世界紅萬字會の活躍

【鐵嶺】滿洲側民間慈善事業唯一の機關として活動してゐる世界紅萬字會鐵嶺支部では事變以來特に目覺しい活動を續けてゐる最近の事業統計によると三月八日より十五日までの間に無縁屍體遺棄三二を處理し種痘五八〇、賑恤棉八四八、屍體遺棄三二、施粥は一月以來四月までに一萬一千二百五十人、施衣三百二十人あり、尙貧民學校を開設し男女生徒五十一名を收容し

正義團誓盃式

【奉天】滿洲國正義團は當時兎角の風評があつたが大いに內容の刷新を圖り不心得なる一部員の振舞によつて同團の威信を損じ一般民に疑惑の念を抱かしめ延いては團の發展上遺憾なりとし之等不良分子の一掃を期したるため其後益々團員も增加し第四回誓盃式當時には三千五百なりし團員が現在では約五千名に達したので五月中旬酒井主盟の歸奉を待ち第五回誓盃式を擧行する筈である

中銀の附屬業務整理に着手
興業金融會設立

【新京電話】舊東三省官銀號の附屬業務は來る六月末をもつて滿洲中央銀行より分離されるがこれ等の附帶事業中當舖業務に關してはこれが統一のため資本金五百萬圓をもつて興業金融株式會社を新京に設立し更に各地新業統一には奉天に公濟公司、吉林に永衡公司、チ、ハルに廣信公司、ハルビンに江豐公司を各百萬圓づゝ投資して設立せんとするものがあり、目下これにつき詳細檢討中である、而して奉天の公濟公司は在來の公濟、萬年泉、東興泉を統轄することゝなり既に各營業處に對し閉鎖を命ずるとゝもに從業員二千名につき整理を發表した、又開原の公濟糧棧從業員十八名の淘汰をなしたが最近更に鐵嶺地方で第二次整理を行ふこととなつてゐる

金州の支那語講習會

【金州】金州では關東廳主催の下に左の方法に依り支那語の講習會を開くことゝなつたが講習希望者は本月五日迄に民政署に申込まれたしと、なほ初步のものは去る三日より滿鐵補習學校に於て日本語教授を開始すべく準備中であると…てゐるを以て同校に入學申込まるゝも差支へなし

△期間　自五月至翌年三月
△程度　急就篇散語程度より官話指南程度まで
△講師　滿鐵囑託齊迺理氏
△入會金　全期間を通じ金一圓、別に月謝を要せず
△會場　滿鐵社員集會所を借用
△講習證書　會期中授業日數の三分の二以上の出席者には講演證書を授與す
△開講の期日は追て通知

陸大生見學

陸軍大學生六十餘名は今井幹事以下の教官が引率、四日午前鞍山から首山に到着稿山附近の戰蹟見學同日午後五時遼陽着同夜遼塔ホテル、油屋旅館に投宿、五日午前九時五十分發列車で北行すと而して同一行中には久邇侯爵も加はり居らるゝが同侯爵は四日の夜も湯崗子に御宿泊遊ばされたと

赤十字施療

【金州】赤十字社金州支部では來る十三日より左の日取に依り管內の巡回施療を行ふと

△十三日馬家屯會△十四日新金州及南山會△十五日小孤山會及大孤山會△十六日董家溝會△十七日黃明子廟會△十八日玉皇頂會△十九日[illegible]屯驛及[illegible]山會△二十日廣寧寺驛及劉家店會△二十一日二十里堡會及閻家樓會△二十二日老虎山會△廿三日愛川村及大魏家屯會△廿四日金州會

尙天候其他事故のため診療不能の場合は順次繰下する

赤坊審査會
八日鐵嶺醫院

【鐵嶺】滿鐵社會保主催第五回赤ちやんの審査會は八日滿鐵醫院小兒科で審査される由、審査資格は昨年二月三日より本年二月二日までの間に於て出生した赤ちやんで審査希望の保護者は六日までに地方事務所又は滿鐵醫院小兒科に申込まれたしと

傷病將兵到着

【遼陽】長城附近に於て負傷せる將校以下七十五名は三日午後四時二十分臨時野戰病院列車で錦州から遼陽着直ちに遼陽衞戍病院に入院した

會と催し

●鐵嶺神社決算審議會●【鐵嶺】九日午後一時半より地方事務所樓上で鐵嶺神社昭和七年度の決算報告八年度の豫算審議會を行ふと

●遼陽輸組役員會●【遼陽】遼陽輸入組合では四日午後一時から事務所で役員會開催低利資金問題其の他に付協議する處があつた

●遼陽春季運動會●【遼陽】遼陽地方事務所では三日午後二時から町內區長、民會長、滿鐵各箇所長の會合を求め春季大運動會開催之に要する經費等に付打合せをしたが近日更めて各方面の委員會を開催すと因みに運動會は廿一日（第三日曜）の豫定であると

（昭和八年十二月二十五日第三種郵便物認可）

滿洲日報

發行人 鈴木一雄　編輯人 橋本言代治　印刷人 本村武　大連市東公園町卅一番地 發行所 株式會社滿洲日報社
定價 一ケ月 金一圓二十錢　三ケ月 金三圓五十錢　一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢　特別一行 金二圓六十錢　指定 二割以上增

第三國代表の介入は直接交渉原則に反す
南京政府の停戰希望に對して　わが外務省靜觀態度

【東京特電四日發】日支休戰調停に關する蔣介石の態度につきてはわが外務省は次の如く依然靜觀主義を以て終始せんとする模樣である

蔣が北支における日支抗爭を防止し、日支正常關係の復歸に寄興するため駐支英米公使に調停を依賴し、且つ黄郛を北平政務委員長に任命するに至つた心情に對しては同情を禁じ得ない、併しながら日支停戰交渉、若しくは直接交渉の基礎を築くために第三國の代表者を介入せしむるが如きは日支直接交渉の大原則に悖り、爽を以て爽を制するの皮殼を脱せざる行爲であるから輕々に我方としては受諾し難い、黄郛が就任と同時に北支における支那側の軍事行動を一切停止し、支那軍隊の撤收を履行し、且つ對日ボイコット、排日教育等一切の排日運動を嚴重取締るべきことを約し、これを現實に履行する場合においてのみ日本側としても停戰交渉若しくは緩衝地帶設置問題に關し地方的交渉開始を考慮するであらう

右の方針は陸海軍部當局にても略意見の一致を見てゐるとのことである

停戰問題魂膽
何應欽の打つた芝居か

【奉天電話】最近支那側で頻に傳へられてゐる日支停戰交渉は何應欽が現在の中央軍をもつてしては北支における雜軍並びに舊東北軍の整理を斷行することは到底出來ず更に日本軍の進出をも抑へる自信なきため、北平に在る英、米、佛三國公使に盛んに運動を試み停戰交渉を依頼してこれによつて日本軍の進出を一日でも遲延さすべく極めて狡猾な策より出でたる何應欽の打つた一と芝居で、從つて何等誠意あるものではなく三公使國でも到底成立の見込なきことは明かであるため氣乘りせず何應欽の日支停戰運動も問題とされてゐない

この非常時局に政爭は遺憾
近く上京する　宇垣總督語る

【京城特電四日發】中央の政治問題に關し一切沈默を持して帝國の大陸發展の先驅を承はる朝鮮總督の任務や重大だと一意專心公の至誠に邁進してゐる宇垣朝鮮總督は愈に五月東上を發表するに際し、政談一夕を雜じたので、さてこそ惑星來ると中央政界に衝動を與へたやうであつたが、當の御本人は頗かなもので

擧國一致この難局を打開せねばならぬのに、政爭のみに沒頭するやに思はれるのは苦々しいことぢやないか、それも陣笠連が騷ぐのなら兎も角政黨に重きをなすものが騷ぐなどは遺憾のことぢや、僕の東上は來年度豫算の大綱について中央政府の諒解を求むるものであつて他意はない、この頃噂されるやうに

内閣上の必要はないのだから僕の東上期は内閣安定後に決まるのだ、何とか彼とかいつたつて十日頃までにはつきりすると思はれるが、どうかな、それから軍部内に抗爭があるやうに今なほ傳へるやうであるが、昨年東上の際國民全體が擧國一致を要求してゐる今日、その中樞ともいふべき軍部に對し斯かる噂を立てられるのは遺憾の極みであるから益々結束を固くせねばならぬと意見を述べたに對し首腦部も同感であつたので、今日斯かることのあるべき筈はないと信ずる、恐らく軍部に對する認識不足か軍部内を離間せんとする

劣惡分子の宣傳に過ぎまい兎に角小異を捨て大同團結、眞に擧國一致の正道に邁進すべきの時で、紛々たる巷説などを氣にする場合ぢやない、それよりも滿洲國の堅實な發展

武藤軍司令官の元帥奏請妥當

【東京三日發】武藤大將の元帥奏請は昨秋再度の關東軍司令官に親補された時からの懸案であるが現役大將の最古參者であり人格識見共に將帥中の將帥として全陸軍部内崇拜の的となつてゐる人物であるから陸軍から元帥を奏請するとせば此の人を措いて他に無い、現役大將としての停年滿限は今年の七月十五日だからそれ迄奏請を待つても良いわけだが臣下として唯一の陸軍の元帥たる上原元帥が最近衰頽に親んでゐる際であるから時期としても又當を得たものといふべきである

微笑・沈默將軍
窓に映ゆる歡喜の灯

三日午後五時、武藤長官元帥府に列せらるとの東京よりの電報に接した記者團は直に旅順官邸に長官を訪れたが、たまたま星乃家に於ける林滿鐵總裁の招宴の時間切迫せる爲會見出來ず、同十時五十分

長官を捉へやうとした小磯參謀長と同道歸旅したが、兩將軍は直に打連れて官邸に入り左側の應接室に閉ち籠つたまゝ何人も近寄せず密談一時間に及んだ長官は小磯參謀長より重要問題の報告を受けたもの、如くであるが十二時會見を終つた、待ちかまへた記者團に對し長官は「今晩は遲いから明日にして呉れ」との言葉を殘し別室に消えた

已むなく萬城目副官、鹽原秘書役を捉へ、元帥府入り公電の到來有無をたゞすと

第一報は新京大使館に入る筈だが、未だこちらには何の通知もない、しかし新京からの電報では大使館宛、午後十時本庄將軍より

元帥にお榮進を祝す

との電報があり、眞崎參謀次長からも

「感激りなし榮進を祝す」との祝電があつたさうだ

と、四日午前零時までは未だ公電は官邸にはいつてゐないが、さすがに兩氏とも喜びにあふれてゐたが、取つく島なく記者は官邸を引揚げたが、心なしか庭内の樹木の若芽の先にも歡喜が漲ひでゐるやうであつた、なほ小磯參謀長は零時五分官邸辭去、乃木町三三料亭彌生に投宿したが、四日發のはとにて歸京する由である

朗かな氣分で充ち滿ちてゐる

武藤元帥略歴

【東京三日發】武藤元帥の略歴

一、明治元年七月十五日生
一、本籍東京市淀橋區下落合町四
一、明治二十五年七月二十三日陸軍士官學校卒業
一、同二十六年三月十三日歩兵少尉に任官歩兵第二十四聯隊附となる
一、大正元年近衛歩兵第四聯隊長
一、同五年少將に進み歩兵第二十三旅團長
一、同八年一月參謀本部第一部長
一、同年七月中將となり參謀本部總務部長
一、同十年五月四日第三師團長
一、同十一年十一月參謀次長
一、同十四年五月軍事參議官
一、同十五年三月二日陸軍大將となり七月關東軍司令官
一、昭和二年八月教育總監兼軍事參議官
一、同七年五月軍事參議官
一、同七年八月八日關東軍司令官兼任特命全權大使關東長官

家族は夫人能婦（牛込區原町一の五十番地戸倉能利氏長女）長女正子、二女みさをさんがある

副官の突貫
喜び溢る全權留守邸

【東京三日發】武藤大將が元帥府に列せられたとの發表が陸軍で行はれたのが三日午後四時三十分、その時淀橋區下落合の留守宅では折から烈風で電話線が切斷し不通となつたので吉報を報ずる陸軍省からの呼出しも一向に通ぜず吉田高級副官はいらだたしく自動車でかけつけたのが同五時三十分、心なしの風は丁度一時間能婦子夫人をこの喜びから斷つたわけだが副官の報に接するや一家はさすがに明るい歡喜に包まれ夫人の指圖で一刻も早くこの喜びを賴つため既に嫁いでゐる長女正子さん（三）の許へ使が飛んで行く、夫人は次女みさをさん（三）と共に窓外に新綠輝く應接間で語る

まことに破格の光榮と感激してゐます、宅からは先月二十三日丈夫でゐるとの便があつただけですが御陰でこの冬も無事で過したやうです、この有難い思召をあちらで承知しましたら武藤も定めし感激に感泣することで御座いませう

と包み切れぬ喜びに溢れてゐた

慶賀至極
林滿鐵總裁談

然ういふ新聞電報が入つたさうだがまだ公電が來てないといふことであるから正式のお祝詞は申上げてゐない、然しそれが事實とすれば誠に結構な次第でこれは滿洲における日本側機關の最高首腦者たる武藤全權が儼然として永久にその職にあり所謂三位一體の治績をあげられる事になつたものと解すべく、從つてその事は獨り當の武藤全權の至大なる名譽たるのみならず滿洲のためにも日本のためにも、將また東亞全局のためにも頗る喜ばしき事として慶賀に堪へない

滿洲國の對外政策飽まで公明正大
外交部より聲明を發す

【新京電話】滿洲國の對外政策に關し最近外國電報は頻に信ずべからざる虚報に類したものを掲載してゐるため政府當局はこれに對し多大の關心をもつて見てゐたが外交部では今後の成行を憂慮し左の如き意味の通牒を發することになつた即ち

一、滿洲國は完全なる獨立國にしてその對内外諸政策の實施にあたり何れの國よりも何等の掣肘を受けるものでない

二、門戸開放政策は建國以來屢々聲明した如くで將來においても特殊の事態が發生せざる限りこれを變更するの意思を有せず

三、滿洲國は物資輸入又は眞面目なる投資を欲する者に對しては曾て拒絶したる事實なく又これを拒絶するの意思を有せず

四、滿洲國はその建設事業遂行に方り他國の承認の有無は何等影響せず從つて承認せざるがためこれに對し一つの應酬手段に出でんとするが如き態度をとるものではない

使命の重さに鑑み獻身的に働く覺悟
經濟兩代表の聲明

【東京四日發】世界經濟會議帝國代表石井、深井兩氏及び隨員一行は齋藤首相以下各閣僚始めホームを埋める多數の見送り裡に午後零時半東京驛發臨時列車で横濱に向ひ、一時十四分横濱驛着、群がる群衆の萬歳裡に龍田丸に乘込み午後三時出帆渡米の途に就いた、石井、深井兩氏はこれに先だち左のステートメントを發表した

世界は今や非常な共通的不況に襲はれ、之を除去するため何等か共同して爲されねばならぬと各國共考へてゐる、私共使命の重きを考へ自己の微力を思ひ心を痛めて居りますが、上は畏多くも聖上陛下の大御心を指針と致し、下は國民一般の聲援を背景として心身のあらん限り帝國の爲め世界復興のため働く覺悟である

世界經濟會議費用四十萬圓

【東京三日發】石井、深井兩全權並に隨員顧問のロンドン及びワシントン會商に對する參列費は外務大藏兩省間で折衝中のところ費用四十萬圓を支出するに決定した

津島財務官顧問として活躍

【ロンドン三日發】駐英財務官津島壽一氏はワシントンの世界經濟豫備商議に帝國全權の顧問として活躍すべく三日オリムピック號でニューヨークに向け出發した

門野顧問は來る十三日出發

【東京四日發】石井、深井兩全權の最高顧問門野重九郎氏は一行に遲れ十三日午後三時出帆のカナダ汽船エンプレス・オブ・アジア號でバンクーバーに向ひ二十二日上陸アメリカ經由ロンドンに向ふことになつた

國際協力を辭せず追隨的態度を避く
經濟會議、わが三大方針

【東京三日發】世界經濟會議帝國全權一行は明四日横濱を鹿島立つこととなつたが、これに先立ち外相は三日午後三時外務省に石井、深井兩全權の來訪を求め會議に對する帝國政府の態度に就き最後の打合せをなし政府の原則的方針として

一、世界不況打開の國際的共同行爲に對しては帝國の特殊事情の許す限り協力參加を吝まざる事
一、通商自由は能ふ限り回復に努力する事
一、帝國の國内產業の伸展を阻害する如き袒案的國際生產協定に對しては我が特殊事態を闡明して徒らに追隨的態度を避くる事

の三方針を掲げ政府は經濟會議の成功に向つて努力すべき事を力說した

三省會議
四日開會

【東京三日發】五・一五事件の公表は政局にも重大關係あるので各方面から注目されてゐるが四日の陸海軍、司法三省聯合會議の結果解禁の日取が決定すると觀られてゐる、元來同事件豫審は四月下旬終結し五月一日は新聞記事解禁される豫定だつたが陸軍側では陸軍刑法に依る叛亂罪として取扱はんとするに對し司法部では非軍人被告は書道の殺人未遂、爆發物取締規則違反として起訴した事情があつて其の間の釣合取れず解禁遲延の一原因だつたが之と別に司法部では何時まで事件の發表を遲延することは人心に疑惑を生ぜしむるのみならず、事件の一周年が來らんとしてゐるのだから速かに發表すべしとの意見で内務省に交渉したが内務省では逆漉たる政情に鑑み解禁遲延を希望して兩當局の意見對立に至つた爲めだ、而も司法部内には獨自の立場で解禁すべしとの强硬論も出たので三省會議を開く事になつた譯で其の結果解禁手續が講ぜられるものと觀られてゐる

日滿融和に努力
丁公使奉天で語る

【奉天電話】駐日滿洲國公使として赴任の途についた丁士源氏は四日午後一時三十分「はと」で來奉したが、驛頭に出迎へた井上獨立守備隊司令官、闞奉天市長、韋教育廳長、張實業廳長など一々握手を交し朗かな笑を湛へながら自動車で商埠地の周公館に向つたが驛貴賓室で語る

今度滿洲國の外交官として日本へ行くことになつたが大いに努力して日滿兩國民のより好き融和を計りたいと思つてゐる、奉天に立寄つたのは奉天の周公館に置いてある荷物を取纏めるために別に公用ではない、大連には二泊して東京には十日か十一日頃着く豫定である、天津に居る家族も近く引揚げて日本に向ふ筈になつてゐる

なほ丁公使は午後十時四十五分列車で南下する筈

樞府本會議

【東京三日發】樞府は三日午前十時より宮中東溜の間に定例本會議を開き倉富、平沼正副議長他各顧問官、二上翰長、政府側より首相他内相、海相、法相、農相、拓相以下關係官參列定刻天皇陛下御親臨遊ばされるや議長開議を宣し御諮詢案

一、南洋廳官制中改正の件
一、文官任用令中改正の件

を上程二上翰長より下審査の結果を報告し採決の結果全會一致原案を可決した

各種事業に關し主務省と打合せ
八田副總裁上京用務

滿鐵重役會議は四日午後二時より續開、主として鐵道問題について協議し四時散會した、この結果豫て八田副總裁は夕刊所報のごとく五日うらる丸で上京するが重役會議後、記者團との會見において左の如く語つた

滿鐵の增資案はさきの議會を通過し、これに基いて滿鐵の方の相談も出來たので增資後の事業の内容について主務省と打合せるために五日離連上京することになつた

滿京期間は未定だが六月中は滿洲に居りたいので成るべく早く歸つて來る、小磯參謀長とも會つて話を聞いたが、農地開拓會社の方もやる方針で進んでゐるやうだ、しかし同會社の設立に當つて東亞勸業を如何にするか等の具體的問題はまだ定つてゐない、滿鐵の監督機關をつくるとの話は參謀長からは全然きかなかつた、昭和製鋼所及び滿洲化學工業會社設立に伴ふ

販賣機關を如何にするかは現實に製品が出るのは二年さきの話なのでまだ具體的には話は出てゐない、たゞ鐵鐵はそれまでに引續き賣られねばならぬので社議決定までの便法として現在のまゝやることにならう、北鮮鐵道の交涉はこれからで、委任經營になれば獨立の機關をつくつてやることにならうがまづ契約を作つてからの事だ

しては企業獨占に基く弊害を受くる事が無いやう適當の處置を講ずる

米國產業動員計畫

【ワシントン三日發】上院民主黨領袖ロバートワグナー氏を委員長とする上下兩院議員を始め產業界の首腦者を網羅する產業復興委員會は數週間前より現下の經濟市場恢復を目的とする產業動員計畫を審議中であつたが愈々成案を得たので今週中に大統領に提出する事となつた、右產業の動員計畫の骨子は左の通りである

一、政府當局に依る適當な管理統制の下に或る程度迄各企業の自己統制を認め事業界を振興し產業上の活況を圖る
一、現行トラスト禁止法を緩和し同業組合に對し激烈な競爭を排除する權限を與へ勞銀の低下を阻止する
一、但し勞働者並に商工業者に對

劉桂棠軍多倫占領

【東京三日發】陸軍省發表＝確報に依ると四月二十九日劉桂棠軍は完全に多倫を占據し湯玉麟軍、馮占海軍は大灤底附近に退却し敗殘兵を集合中である

劉軍の壯烈な肉彈戰

【奉天電話】二十八日多倫を占據した滿洲國軍劉桂棠軍は去月二十五日林西より行動を開始して以來各地の敵を擊退し、二十七日多倫に山西軍趙承綬軍の攻擊を開始し二日間に亘る猛烈なる攻擊も城壁堅固なるため陷落せず遂に六百名の決死隊を組織して城内に突入肉彈戰の後これを占據したものでこの戰鬪により敵は死體二百、機關銃、小銃彈多數を遺棄して潰走し劉軍は戰死百名、負傷者五十餘名を出した

方、于兩軍開戰か
平漢線運行停止

【天津四日發】平漢線は去る一日以來運行を停止した、このため北

反蔣派撲滅の暗殺團組織

【天津特電四日發】中央軍は平津地方の反蔣派に對し暗殺團を組織しその撲滅を期してゐるが、方振武軍と中央軍の衝突は反蔣派蹶起の導火線となる模樣で形勢重大視されてゐる

【（前號續）】…軍は保定、涿州、滿口方面との聯絡、鐵道品輸送一切不可能となつた、鐵道從業員の談によれば保定附近で方振武と于學忠軍とが既に開戰せるためとの事であるが、開戰については未だ確報に接してゐない

丁强支那兩軍
白石嶺で激戰

【山海關三日發】支那軍第三師は秦皇島を奪回せんと前進中と傳へられ、丁强軍は之を阻止せんとして秦皇島西方白石嶺で遭遇し多勢を頼む敵を擊退し、秦皇島入りを阻止したが、支那軍は應援隊增加しつゝあり、再度の激戰は免れまいと觀られてゐる

支那街にも爆彈投下
天津公安局狼狽

【天津三日發】發電所、領事館官舍と續けざまの爆彈事件に驚愕して支那官憲は嚴重警戒に當つてゐるが、日本租界に隣接せる支那街南市にも爆彈を投した者あり、公安局は大狼狽し十時半から臨時戒嚴令を布き物々しき警戒をなしてゐる

大學教授を卅一名罷免

【ベルリン二日發】プロシヤ州文相は二日夜ベルリン大學教授二十二名並にケルン大學教授九名を一齊に馘首した、ベルリン大學で馘首の厄に遭つた教授中には東洋學の世界的權威オイゲンミツト・ウオツホ教授も含まれてゐる

植民地開發の羊毛牧畜部
拓務省委員會

【東京三日發】拓務省主催の植民地開發に關する羊毛牧畜部委員會は三日正午より拓相官邸で開會民間より滿鐵、滿蒙毛織、日本毛織、東洋モス等の代表出席隔意なき意見交換し具體的審議に入つた

植民地開發の羊毛牧畜に關する委員會では左の如き綜合的意見が開陳された

一、牧羊地域を如何なる範圍に限定すべきか
一、將來の牧羊地を滿蒙に求む
一、各種改良の實現を期するとしても相當に日子を要する爲め夫れ迄中間種の利用方法に遺憾なきを期す
一、羊毛品は滿蒙を原料供給地とし日本は飽く迄加工國とす
一、現在滿蒙に飼育中の四百萬の羊はメリノ種の交配を以て品種改良をなす

等で次回迄には具體的意見を纏めるに決した

小幡大使免官

【東京三日發】待命中の小幡大使に對し三日左の如く辭令があつた

特命全權大使　小幡酉吉
依願免本官

政友滿洲視察團
顔觸れ決定

【東京三日發】政友會の滿洲視察團は左の如く決定三日發表された

熊谷直太、山下谷次、寺田市正、丸山浪彌、坪山德彌、後藤脩、山本悌二郎

流行歌も流れ出で 和かな花の夜宴
滿洲の三巨頭珍しく打揃ひ 星乃家に談笑沸く

滿洲では武藤關東軍司令官、鄭滿洲國國務總理、小磯參謀長及び各隨員一行を三日午後七時から大連星ケ浦星乃家に招待し晩餐會を開いた、主人側から林、八田正、副總裁以下在連各理事、宇佐美總局長ら出席、宴會場は海岸に面した大廣間、三分咲きの櫻花くすぐる微風が和かに部屋に流れ込み久方ぶりに寛いで相會する巨頭連の感興を一層唆るかのやうである、三十餘名の大檢の美妓が酒間を斡旋し酒宴漸く酣ならうとするころ「武藤大將に元帥の稱號を賜る」とのグレート・ニュースが新聞社から宴會場に齎され一座に期せずして揚がる歡聲、これを中心に暫くは和氣のいゝ談笑が續いた、八時三十分ごろ鄭總理が先づ退座して自動車で星ケ浦ヤマトホテルに歸つた後、誰が持ち出したか内田飛行聯隊長の傑作と云はれる「スツトントン節」が飛び出したりして一座を賑はせて、英雄閑日月ありの酒宴がいとも和氣靄々裡に終つたのは同九時三十分、武藤司令官、小磯參謀長以下隨員一同は林、八田正副總裁らに見送られ九時四十分自動車で一路旅順へ歸つた、【寫眞は庭園における三巨頭、右から林總裁、武藤全權、鄭總理】

兩若宮樣方 御着京

【新京電話】朝香宮殿下並に李鍝公殿下には稲垣陸士校長以下職員生徒三百五十名と御同行にて四日午後三時三十五分新京着列車にて恙なく御新京遊ばされた、新京は四日頃の降雪にて氣溫頓に降り寒さはげしく七米餘の强風に砂塵を捲き上げるの折惡き日和ながら兩殿下には御機嫌麗しく御元氣の御樣子と拜せられた

プラットホームには岡村參謀副長、橋本憲兵司令官、小林駐滿海軍部司令官ら軍首腦部、謝外交總長、趙立法院長、宇佐美顧問、多田顧問、筑紫參議、田邊參議ら滿洲國側要人、栗原總領事その他在郷軍人分會、婦人會ら官民代表多數堵列御出迎へ申したが

兩殿下には驛貴賓室に御少憩ののち自動車二臺に御分乘、驛前に整然堵列の出迎ひ申上げた新京商業學校生徒、中學校、女學校生徒並に耳鐵の一般市民歡迎の裡を四時十分關東軍司令部に向はせられ、司令部屋上より新京市中の狀況を御展望の上四時五十分朝香宮殿下にはヤマトホテルに李鍝公殿下には滿洲屋旅館に御投宿、御旅裝を解かせられた

奉天教育廳の 旅大見學團
來る十四日奉天發

【奉天電話】奉天教育廳主催の旅大見學團一行は滿洲國側縣立各學校の教師中より各一名を選拔し三十名の團體にて教育社會科長吉村氏が先導で十四日奉天發大連、旅順を見學するがそのプランは左の通り

- ▲十五日 滿洲文化協會、滿鐵本社、滿洲日報社、大連圖書館、大廣場小學校、滿蒙資源館、大連埠頭
- ▲十六日 大連市役所、神明高女、南滿工專、中央試驗所、大連一中、伏見臺公學堂、電氣遊園
- ▲十七日 小崗子公學堂、早苗小學校、小崗子硝子工場、沙河口工場、星ケ浦
- ▲十八日 旅順記念塔、戰蹟、白玉山、高等公學校、工科大學
- ▲十九日 熊岳城農業試驗場及び農業實習所
- ▲二十日 歸奉

颯爽・谷口檢閲使
官民あまたの出迎へを受け 三日夜大連に着く

海軍特命檢閲使谷口尚眞大將は鎌田副官、豐田軍令部首席參謀、佐藤教育局第一課長、荒木主計大佐、中野軍醫大佐、御所機關大佐、戸塚軍令部參謀等各部門の檢閲使外二十名隨員五名を帶同して四月二十日東京出發以來、鎭海要港部及び海軍燃料廠、平壤鑛業部の檢閲を了へ、山西滿鐵理事の案内で奉天、撫順、鞍山等を視察、二日夜滿洲子溫泉に一泊後、旅順要港部視察のため三日午後七時五十分着列車で來連した、途中まで出迎への記者團と左の如き一問一答を交した

問 滿洲は幾年振りですか
答 四年前艦隊で來た
問 奉天、鞍山等視察後の感想は
答 特命檢閲使として來たのだから自分の使命以外に感想とか意見などは一切述べぬことにしてゐる
問 旅順が要港部となつたので規模或は機構上に何か變化がありますか
答 名前だけが要港部となつたゞけで實質には何も變化はない
問 新京に海軍部が出來たのは矢張り北支に備へる爲めの一つの現はれですか
答 それは任務外のことでどうとも自分からは言へない、特務機關が名前を變へたゞけだよ
問 旅順で武藤長官、小磯參謀長等と會見する豫定ですか
答 武藤長官とは副官が打合はせ中だが御都合を見てお會ひしたいと考へてゐるが、小磯參謀長とは今のところ會見の豫定はない
問 旅順で日滿巨頭會議が開かれるさいふことですが
答 自分は任務が濟めば直ぐ歸ることになつてゐるから、その他のことは一切知らぬ

驛頭には林總裁、岩井在郷軍人聯合分會長、山崎理事を初め在郷軍人、ボーイスカウト團長多數が出迎へたが將軍の一行は林總裁の案内で總裁の自動車で連れて大連ヤマトホテルに入つた、一行は四日午前八時自動車で旅順へ向ひ、三日間で旅順要港部各部門の檢閲を終へ七日大連歸着一泊後八日出帆のはるぴん丸で離連十一日歸京の豫定であると(寫眞は大連驛頭の谷口海軍特命檢閲使)

三兄弟揃ひ の東大教授

【東京三日發】汎太平洋學術會議に參列のため一日出發した海軍水路部技師小倉伸吉博士は今度東大理學部講師として海洋學を擔當する事になつたが、同氏の令兄小倉進平博士は三月停年で退職した藤岡博士の後任として京城帝大から轉任し、更に令弟小倉謙博士は東京理學部助教授として植物學を擔當、三兄弟揃つて同じ大學に教鞭を執る事は學界最初の例として珍しがられてゐる

今度は慰藉料請求
龍子は頑張る

【東京三日發】先頃迄松竹女優として相當名を賣つた谷崎龍子(二〇)がイタリー大使館書記官ペットリオ・アルゲラに麻酒を呑まされた上暴行されたとの告訴を提起した事件は相方の地位からセンセーショナルな話題を提供してゐたが東京地方裁判所では國際關係上これを重視しイタリー大使立會の下に取調中のところ暴行と認むべきものなきこと判明不起訴と決定したが、龍子はなほ承服せず濱尾子爵、大野弁護士を代理として貞操蹂躙に基く五千圓の慰藉料請求の訴訟を東京地方裁判所に提起した

海を越えて「去來する苦力群」
一ケ月で約四萬人

所謂デッキパッセンヂャーとなつて遠く上海、芝罘、朝鮮等の港々から海を越えて滿洲へ出稼ぎに來る苦力が四月中に大連埠頭に上陸した數は男二萬六千二百五十五人女三千四百七十四人合計二萬九千七百二十九人で昨年同期よりは四千二百三人卽ち約一割六分の增加を示してゐる、次に滿洲の各地で稼ぎ大連港を經由して夫々の國へ歸つた四月中の苦力數は男一萬一千三百四十五人、女千四百七十九人合計一萬二千八百二十四人で昨年の同期より千三百三十六人、約一割二分の增加である、この數字から推せば四月中に少くも大連を經由せる一萬六千九百五人の苦力が滿洲國內に增加した事になり、渡滿苦力の約六割までが、滿洲に腰を据ゑた勘定になる

戰はんより 寧ろ捕虜たれ!
古北口にある支那兵 川原部隊に續々投降

【奉天電話】曩に古北口の戰鬪において我が軍の捕虜となつた一支那兵が、目下同地にある支那軍は後方の督戰隊と日本軍に挾擊され今や全く孤立の狀態にありこれが活路を開くには日本軍の全滅ではなく捕虜となることであると漏らした如く捕虜の中負傷兵は承德に送られ治療を受け健康の者は若干の報酬を貰つて雜役夫に使用されて居り、優遇されてゐるので捕虜は永らく日本軍に使用されることを希望し最近同地の川原部隊に對し續々投降する者が多くなつた

句佛師復歸 近く實現
阿部總長上京

【東京四日發】句佛師の管長復歸問題につき京都東本願寺の阿部總務總長は過日親鸞會參列のため上京した際文部省を訪問し下村宗教局長と會見種々懇談を重ねたが本山では最早や句佛師の周圍にある所謂取卷き連は大體寂から離れ壇信徒の中では切に句佛師の復歸を熱望してゐる者が多數あるので此際師の管籍を復活させたしとの意裏を披瀝して文部省の諒解を求めた結果下村局長も之を諒としたので東本願寺派に於ては愈々此問題につき宗の各機關に附議することになり句佛師の復歸は近く實現するものと見らる

天龍・大の里一行
いよく明日から蓋明け 大廣場土俵の猛稽古

革新更生の斷道に精進する當代人氣力士、天龍大の里一行の關西角力協會の全精銳は三日入連のうえる丸で協會設立後の初の來連なる、愈々六日より大廣場東拓空地に於いて華々しく初日の蓋を明ける[illegible]が何分久し振りの來連とて各方面の人氣をあほりたて加ふるに新採用の組合せは俄然世間話題の中心となり旣に團體申込及び全場所棧敷買切り申込多數あり非常な盛況を豫想されて居る又一方協會員は着連と同時に星ケ浦溫泉ホテルを借り受け天龍大の里以下全力士は炊合宿なし合宿規約を設け夜間の外出等も制限し恰も各大學角力部合宿舍の如き觀あり着連後一夜を明かしたとはいへ未だ船旅の疲れも癒えぬ四日早朝、全力士はやくも大廣場假土俵に現れて猛稽古を開始し極度に緊張を示しつゝあり必ずや未曾有の大角力を現出して角界ファンを殺人的熱叫に導くであらう、尚既報の如く本紙讀者の外出等も[illegible](本紙刷込の割引券持參)に限り三割引をなすことになつて居るから同刷込み御利用せられたし

初日(六日)取組
◇第一組
(1)雷の峰―山錦 (2)藝の里―大和錦
(3)玉碇―後岩 (4)大の里―鳴海潟

◇第二組
(5)錦洋―常盤野 (6)信夫山―常陸島
(7)肥州山―大島 (8)天龍―綾の浪
(1)神通川―松の里 (2)大駒―錦
(3)羽後響―大柳 (4)上宮山―霞ケ浦
(5)武の里―中の里 (6)常昇―鳴汐
(7)能登海―汐濱 (8)大高山―鯱岳

試合方法は(三回戰トーナメント式に依る)

本社見學 ▲奉天公學校生徒四十六名は四日午後加藤訓導引率の下に本社を參觀▲撫順日語學校生徒四十名は四日山本徳一郎氏引率の下に本社を參觀

巡回診療醫
滿鐵衛生課で 沿線に設置

滿鐵衛生課では沿線小學校の齒科眼科醫師設置なき箇所に巡回診療醫を設置五日より巡回せしむることゝなつたが齒科は醫師一人增設一校に二週間乃至三日年百五十日間巡回し眼科は診療所なき夜十六箇所に既設の診療醫が年四回巡回する

武裝採金調査 團一行出發

【新京電話】滿洲採金會社設立の基本調査を行ふため新京に於て待機してゐた採金武裝調査團一行は愈々來る十日黑龍の根據地を出發しアムール河口流域前人未到の地へ決死的調査に向ふことゝなつた

安樂椅子

新元帥として輝く武藤全權が未だ少佐時代の話―外遊の途次、セイロン島のコロンボに上陸したところが土地で有名な人相者が、その武藤少佐の顔をツクぐ見て「貴下は實に稀に見る長者の相がある、將來は大したものだ、尤も六十歲前後には一度必ず大病を患らうが、それで若し助かれば八十位までは確に生き得る、そして運は晩年に至つて益々ひらけ、非常な出世をするであらう」と占つたものだ

◇…………◇

當時元氣一杯の武藤少佐は「此の齋下者、何ないつて居る?」と笑つて聞き流してゐたが不思議や今から三年前、思ひがけない大病に罹り赤十字病院に入院したが、その時になつてやッとその豫言を想ひ出し「やはり人間には運命といふものがあると見える」と笑つたさうだ

◇…………◇

ところが豫言は再び當り、今度は輝く元帥として飛躍を賜るに至つたので驚いたのは肥取君達、早速この豫言を知友間に紹介して居るが將の元帥も此事を思へばさすがに感慨無量であらう

名古屋の石垣

名古屋城の石垣(開知石)を見ると一つ殘らずマークがついてゐるといふが、これについてこんなナンセンスがある、名古屋城の入口に「恩賜名古屋城」といふ標柱が建てられて一般に公開された直後のこと、名古屋市の某役人が陳行に向つて大聲をあげたものだ「君、名古屋の人間はこれだからアカンよ、公開されたばかりだのに最早あんなに落書きをしとる」――いづくんぞ知らんこれが全部文字石ばかりなのだ、名城研究の泰斗名古屋高工の土屋教授は早くからこの文字石に注意を向け名古屋市建築課の松山富雄氏その他を督勵して大がかりな調査をはじめ殆ど全部の「石ずり」の作製を命じたがその大部分が最近出來上がつたそれによると落書きとも見られる記號は全部大名の旗印、船印などでその數は約二百五十種類あるものと知れた、中には「加藤肥後守內××」などといふ大きな「名石」も數個發見された名城研究者の中には前記石ずりの蒐集家も見られるようになつた

頭巾の紐で窒死

新潟縣中魚沼郡仙田村茂野間治四女ふみ子ちゃん(二)は二十五日午後二時頃七歳の姉に背負はれ自宅屋敷內で遊戯中頭巾の紐で首がしまり窒死とはお氣の毒

俳句、破產に通ず

山梨縣中巨摩郡敷島村宗惠郎弟水晶加工業青木爽助(三)は甲府市柳町柳正堂書店から分類俳句大集、子規句集外俳句書籍十餘點を萬引した現行を甲府署員に取押へられた、青木は雅號を一笑と稱し峽中俳壇の宗匠株とされ俳句に凝り過ぎて破產した憂き目からこの犯行に及んだものであるといふが、世は樣々である

なるほど名案

秋田縣仙北郡雲澤村の自力更生會では負債整理に躍起となつて居る村民の借地權を正直に申出でるやうすゝめて居るが、恥しがつてなかなか申出ない[illegible]

臺灣坊主の娘

東北帝大病院皮膚科の塚田進博士が完全な毛坐法を發見したと云ふニュースを讀んだ大阪の一少女が敢然家出、父親が追跡するなど大騷ぎの末、目下仙臺にあつて禿頭解消の途を辿りつゝあると云ふ艶かな春の話題を紹介――少女は越河シモ子=假名=氣の毒にも完全な臺灣坊主であらゆる療法も効果なく絶望の青春を送つてゐたが博士の發明を知り再び黑髮への執着に燃え遂に現金十圓を持つて大阪市天下茶屋の自宅を出て長驅仙臺へと家出した、娘の家出を知つた父親は大いに狼狽娘の手持品を調べた所新聞の切拔きによりそれと知り直に仙臺に急行して見ると果して娘の姿が發見された、シモ子は今同地の親類から毎日通つて入れさせることにしたとは思ひつきである

女給の意義如何

群馬縣沼田町稅務課では女給稅賦課についての調査を進めてゐるがさて條文にいはく「女給とは西洋風の設備ある客席において客の接待斡旋をなす婦女をいふ」……さてである

鬼中佐の墓守

日露役二〇三高地の激戰に鬼中佐とうたはれた當時旭川廿六聯隊の飯盛正成氏は今度郷里會津に歸り白虎隊の墓守として餘生を仕ることになつた

氏子各位に謹告

當神社御造營竣工に付御祭神中へ畏くも明治天皇の大御靈並に靖國神社へ合祀相成し滿洲事變戰死病歿者の靈を合祀致す事に相成五月八日午後八時より正遷座祭九日午前十時より春季大祭執行相成候に付御參拜相成度此段謹告候也

追而合祀大祭正遷座祭の各奉祝祭は九日に於て執行仕候

昭和八年五月三日

大連神社々務所
同 氏子總代

康平縣參事官南竹治氏は先月二十九日任所に在つて壯烈なる殉職を遂げらる依而當廳は該縣に代り生前縁故者に於て葬儀相營申候條辱知諸君へ謹告仕候

追而葬儀は五月六日午後三時營口[illegible]寺に於て相營可申候

奉天省公署總務廳

海と空と (179)

高杉晋一郎作　橋本涛史畫

春來る (七)

看護婦に案内されて部屋に入つた。

靜かだつた。

裏の心は石のやうにしんと固まつてゐた。重病人ばかり集めてある部屋で、物音一つ無い。適當な間隔を置いて、寝臺が六つほど並んでゐた。みんな白いシーツに被はれて、中に人が寝てゐるのかゐないのか分らぬほど、身動きもせず、靜かだつた。附添が二つの寝臺に一人づゝ附いてゐた。餘りいゝ待遇ではない。施療患者だ。

看護婦は靜かにベッドの間を縫つて行くと、奥から二番目のベッドで止つて、ついて來た裏に肯くやうな眼配せをした。

裏はもう、躊躇はしてゐなかつた。寝てゐる者の顔の向いてゐる方へ黙つて行つて立つた。もう見ないでも分つてゐるそれは逸見だ……だが、別人のやうに頬骨が異樣に突出してゐる逸見だつた。

人の氣配に、病人は薄く眼を見開いた。眼は熱で一枚皮を被つたやうにぼやけてゐた。白眼が黄色く脂つこく濁つて、開いてゐても見えるのか見えないのか分らなかつた。

「逸見君。僕だ」

裏は眞直ぐ立つたまゝ、そのいたいたしくやつれた逸見を瞬きもせず見凝めた。

逸見は黙つてゐた。

「分るか?」

すると微かに肯いた。

もうそれ以上何を云つたらいゝのか裏には分らなかつた。言葉が無かつた。今更此の奇遇の説明を求めたり、したり、する場合ではない瀕死の色を、彼は逸見の面上に讀みとつた。だが黙つてゐるには餘りに感情が膨れ過ぎてゐた。

「苦しいか?」

やつとこれだけの事を云つた。

病人は無感動な表情で肯いた。

何故誰もゐないのだらう。ポールはどうしたのだ。ポールは連れて來てゐないのか。千田屋では見舞つてやらないのだらうか。

「誰か看護人は附いてゐないんですか」

裏は傍の看護婦に訊いた。

「えゝ、病院の附添婦以外には」

看護婦は簡單に答へた。裏は病人に一歩近づいて、低く、だが強く、不安に滿たされながら訊いてみた。

「ポールさんは、どうしたのだ」

逸見の眼はもう閉ぢてゐたのだが、再びうつすらと開いた。さうして、うん、と肯いた。

裏の心は地崩れに會つたやうにがらがらと音のする感で落ちて行つた――あゝ、これは、もう解らないでゐるのだ……

その時、急に、逸見の上半身が寝臺の上に起き上つた。看護婦があつ、と叫んでかけ寄つたが、もう逸見の手は裏の腕をしつかり掴まへてゐた。彼の瞳孔は夢遊病者のやうに焦點を失つてゐた。

「朝、朝日奈?」

この時初めて彼はそれが裏であることが分つたのだ。何も答へられないで熱いものがぐつと咽喉へ詰ると、裏は瞼へ滲んで來る涙を抑へられなかつた。

「と、どうしたんです」

うわ言のやうに病人は叫んだ。それを無理に看護婦は寝かせつけやうとしてゐた。

「一寸貴方は、外へ出てゐて下さい」

看護婦が叫んだ。

裏は踵を廻して室外へ出て來た。さうして背中へ閉ぢた扉にぐつたり身を凭せて、瞼を俯けてゐた。

何度か熱い固いものが、胸と咽喉の間を往き來してゐた。

十分程もさうして立つてゐたらうか。背にしてゐる扉を押されてはつと我に返つて、裏は身を退いた。

看護婦の顔が覗いてゐた。

「どうぞ……あの、あまり昂奮するやうなお話でしたら、あとで」

あとで、とは遺言の時を指すのだらうか。裏は、自分自身をも意志で鎭めつけなければならなかつた。

新刊紹介

▲人の噂(五月號) 刻下の急務たる「赤化對策並に日本精神の世界的擴充」につき日本主義昂揚最高峰に立てる人々を招きその熱烈な抱負經綸をたゝき、朝鮮統治問題については朝鮮實業界の元老韓相龍氏、代議士朴春琴氏が「朝鮮の社會と民心の動向」を叫んでゐる、その他中歐に澎湃たる獨裁の大機運と人地球を呑み掛けた風雲兒群の腹を探る、愛郷塾を生んだ水戸人と其の特性、政局崩壊、崩壊の危機を孕む政友會、安達氏と一黨の動向等の讀物があり、更新飛躍號らしい編輯振りである。(價三十錢、東京市麹町區内幸町幸ビル月日社發行)

▲短歌研究(五月號) 前月號に劣らぬ出來榮である、卷頭の土屋文明氏と松村英一氏の五十首競詠は全歌壇の興味をそゝるに足るものであらう、その他の作品には空穂、超空、白秋、夕暮、水穂、麗氏等をはじめ大家中堅の雄篇を以て飾つてゐる、福士幸次郎氏が「打ちのめされてゐる短歌」と歌壇に呼びかけてゐる、また吉田絃二郎氏の「西行を讀みつゝ」室生犀星氏の「歌人巡禮」の二文がある(價五十錢、東京市芝區新橋七丁目十二番地改造社發行)

▲水鳥(五月號) 價三十五錢神戸市須磨區若宮町和田別邸内水鳥社發行

▲石楠(五月號) 價五十錢東京市中野區西町四〇番地石楠社發行

▲無線電話(第五號) 價五十錢東京市日本橋區通一丁目野村ビル内日本無線電話普及會發行

けふの放送

大連 JQAK　五月五日

▲自午前六時　第二ラヂオ體操

▲自午前六時三十分　第一ラヂオ體操

▲自午前十一時　相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)

▲自午後零時十分　相場(特産、錢鈔、株式、各地相場、公設市場値段)ニュース

▲自午後三時三十分　相場(特産錢鈔、株式、各地相場)ニュース

▲自午後六時　ニュース

▲(六時三十分)講演「角力道の革新に就て」關西角力協會天龍三郎

▲角力觸太鼓　關西角力協會呼出

東京 JOAK　五月五日

▲講演(六時三十分)陸軍少將男爵徳川好敏 ▲(七時)ピアノと管絃樂、ピアノ獨奏ジエームス・ダン、管絃樂コロナ・オーケストラ指揮紙恭輔 ▲(七時三十分)清元淨瑠璃「彌生の花淺草祭(三社祭)」淨瑠璃清元小喜久太夫、同清元久太夫、同和歌尾太夫、三味線清元梅助、上調子同梅丸 ▲(七時五十分)連續ラヂオドラマ、ジヤン・ヴアルジヤン(第四篇)豐島與志雄原案JOAK文藝課編輯、第一景プリユーメ街の家、第二景市街戰 ▲配役、ジヤン・ヴアルジヤン(友田恭助)コゼット(瀧蓮子)老婢トウサン(杉村春子)青年マリユス(汐見洋)テナルデイエ(東家三郎)その娘エポニーヌ(田村秋子)テナルデイエの仲間の惡黨バベ(龍輪欣司)同モンパルナス(生方賢一郎)同ブリユジヨン(石川治)ガヴルーシユ(瀬戸日出夫)アンジヨーク(白井友三)クールフエーラック(三浦洋平)他に青年大勢及音樂等

連中 ▲小唄(一)春霞(本調子)(二)五月雨に池の(本調子)(三)梅雨もよい(本調子)(四)お互に(本調子)(五)長兵衛(二上り)(六)あまりつらさ(三下り)(七)潮來出島(三下り)唄東京田村貞、三味線田村てる枝、替手大槇小ふん ▲筑前琵琶「伊賀の曙」法颯山横田旭耀 ▲長唄「安宅の松」唄堀健一、同秋山一郎、同本郷富士雄、三味線中村愛子、同淺野みや子、上調子高城良子 ▲職業紹介事項 ▲ニユース ▲氣象通報

第四十七回 滿日勝繼碁

(秋元氏二回勝 三回目)互先先番 高本吉郎氏 秋元豊二郎氏

百四十手終り(高本氏七目勝)

—【7】—

樽平柳壇

題「醉態いろいろ」　小林若八選

樽平を出る客みんな千鳥足　佐一
惡友と樽平で醉ふ面白さ　敏行
ほろ醉で樽平出ると春の月　テツ
樽平で大平樂の興を掘え　予和
樽平に醉て一家の興を掘え　しげ子
樽平でふと鼻唄の輕い醉　都留平
樽平で思はず尻が長く也　てるを
樽平でお國が知れる醉態　天郎無
醉潰れ樽平だけは覺えてる　凡平
樽平の酒小氣味よく醉はせ　甲子
樽平だけで縮る晩　虚舟
樽平に機會を作り醉ふも春　骨保
樽平の酒へ惡醉さましに來　白桑
樽平で飲む酒の味別な味　高甫
嫌樽平を出る千鳥足　老鰍
樽平で下戸が上戸に早變り　涼風
千鳥足樽平の土産妻は當て　如蛙
樽平で本當の酒の味を知り　佛心
樽平の酒に天婦縺よく辷り　雨明
樽平と聞いて醉ひどれやつと立ち　大連　小西美名都
樽平と知れて女房にゆるされる　奉天　松本　松陽
ねまいて樽平に醉ふてゐる　大連　佐賀氏
樽平で仲よく握手醉ふてゐる　大連　高木　滿山
朗かな唄樽平の夜が更ける　大連　清月　秀男
樽平を滿足さうによろけて出　撫順　日高阿喜良
醉ふたのを樽平にして事はすみ　大連　田中　雲水
樽平で二次會拔きに醉ひつぶれ　大連　田村　南九
樽平に飲みなれてから通になり　大連　桐生　孔二
のみ直す足樽平へ吸ひこまれ　平壤　野田　錦魚
樽平へ朗らかに醉ふ顔がより

秀逸(賞金一圓宛)

春の夜を先づ樽平で呑むときめ　大連初音町三〇六　松本　富
樽平で日本一の良いきげん　大連霞町一三ノ四六高柳　桂馬
脱線を樽平だしにつかはれる　滿鐵孤家子驛　萬屋　五平
樽平に來て醉ざめを酒にする　大連眞金町二ノ五　鈴木　博
樽平と聞いて二次會下戸も行き　大連眞金町八六　渡邊　雨明
仲愛なく醉ひ樽平で旁はられ　大連霞町十四丁目　海老　水母
樽平で呑めは女房の指圖なり

家庭へ入るとなぜ肥る?

クラスメートをびつくりさせる秘訣があります

運動による「美容」保持

(小學)校を終へて女學校に入學したばかりの頃、つまり十三四歳の頃は色が黒くて骨もゴツゴツに感じ、やせつぽちできたならしいやうな女の子も、卒業近くなるとどことなしに女らしく、美しくなるのが常です、これはちやうど潑春期に入つて生殖腺の發育に伴ふ内分泌の關係によるもので、これに依つて皮下には脂肪組織が段々沈着し、身體には丸味がつき皮膚は緊張してきて光澤を増すのですしかも脂肪組織といふものは血管が少い上に、脂肪組織そのもの、色の白いことから脂肪を増すと皮膚の色を白くするのです、で—婦人は年ごろになると

(誰れ)でも美しくなる—つまり婦人のからだの美しさの九〇パーセントは「皮下脂肪」による—といつても過言ではないでせう、しかしそれも程度に依るものです、あまり發達しすぎると今度は、からだの線が大まかになり、間が拔けて不恰好になるのは貴女方の御承知の通りです、さて—女學校の上級から卒業の時分には、あかぬけはしなくても、からだの均衡はとれ、丸みを持つて美しい、肉體美として申し分のなかつたものが、一度び卒業して家庭に入ると急に肥り出して、前に述べた「脂肪組織」の發達し過ぎるのが大部分の御婦人のやうです、學校に行つてゐた頃はこんなではなかつたのに—と

(苦に)やみ氣にする人も多いやうです、これはどうしてゞせう、といふのは、第一に生活の變化から來るのであつて、その主要な原因の一つは運動不足といふことなのです。在學中は特にスポーツの選手ではなくても運動が相當によいため、餘分の脂肪が沈着するといふこともないのですが家庭で一日暮すとなると何と云つてもこれまでに比べて運動は不足します特に坐つてゐることが多いと、足腰のあたりが餘計大きくなつてきます「脂肪組織」は運動をしない部分に特に多く沈着するものですから—でさうした不恰好になることを防ぐにはどうしたらいゝのでせうか。

(それ)にはまづ、何よりもその直接原因である運動不足におち入らないやうには注意することですこれまでに比べて急に不足するといふことが最も良くないのですから、家庭にあつてはラヂオ體操もよし、適度のダンスもいゝでせう、歩くこと、自分自身で工夫して、出來るだけ全身をまんべんなく動かす運動をすることです、そして更に最も安全な科學的な藥物を適度に用ひ、常に便通に注意して一日一回はあるやうに心がけさへすればどんなに家庭でクサつてゐても決して脂肪組織は餘計沈着せず學生時代の肉體美を損ふやうなことはありません、たゞ知つてゐていたゞきたいのは藥物を用ひる時にその選擇を誤らぬことです、その多くが

(頭痛)下痢を伴ひ易いものですから「アイマー」は甲狀腺劑その他いろいろの消化劑を巧に最も合理的に配合してある藥劑で、このアイマー中に配劑されてゐる甲狀腺劑は人體の内分泌をうながし新陳代謝を旺盛にする作用を有するものですから最も合理的且つ安全に脂肪組織の沈着を避けることが出來る理想的なものです、粗食療法だので切角の健康を害するやうなことはもう33年の女性の模倣することではありません、原因は一つ「運動不足」といふ判りきつたことなのですから、今すぐ適度の運動新法のプランをお樹てなさい、そしてその補充としてアイマーをお購めなさい!このつぎ懐しいクラスメートにどこかで偶然

(邂逅)したときかの女たちはきつとびつくりするでせう、家庭に入つてもあなたのやうに、素晴らしい肉體美を保持出來るなんて、かの女はその秘訣をどんなにか追究することでせう—

于深海旅長以下 地に伏し投降

輝く鷄冠山守備隊の高石〇隊 鄧鐵梅匪の滅亡近し

【安東電話】鄧鐵梅匪殲滅を目標とする第三次三角地帯大討伐の日滿軍は破竹の勢ひで敵匪を擊破、鄧匪の終滅もいよ〳〵近まつてゐるが鷄冠山守備隊の高石〇隊は一日牌坊において鄧鐵梅の旅長于深海以下百餘名を急襲包圍して投降せしめ完全に武裝を解除しなほ續いて歸順に應ぜざる敵匪を急追北方に擊退した、この戰鬪で敵の遺棄死體十五馬三で多數の銃器を鹵獲したが我軍の損害は馬一頭が輕傷したのみである

高石中隊は第一次三角地帶討伐に敵の驍將李慶成以下三百名を歸順せしめたが今亦鄧匪の總參謀格である于深海以下を生捕り鄧鐵梅の兩腕をもぎ取つたものといふべく鷄冠山部隊の重ね〴〵の殊勳は一般に非常に感謝されてゐる

開原軍警警戒

【開原】康平に於て日滿軍に擊破された田英合流の匪賊約一千は大明安碑方面より漸次東南に向ひ滿鐵線を橫斷し東山地方に遁れんとする形勢ありとの報に接した開原鐵嶺の軍隊は五月一日各所に配兵し開原警察署は四平街より數十名の應援を得て徹宵待機中であるが該賊は今尙ほ遼河右岸に潜在し逃走の機を窺ひつゝあるもの〻如しといふ

逃ぐるに急

青くなつた田英匪 上田部隊の追擊急

【鐵嶺】上田隊長指揮の鐵嶺〇〇隊主力の猛烈なる追擊を受けつゝある田英司令引率の僞勇軍は二十九日以來追擊急なるため殆ど駐まるところなき有樣で東南に逃路を求めてゐたが、これに追尾する上田部隊は飽くまで殲滅せずんば止まざるの意氣を以て降雨後泥濘膝を沒する惡道を冒し連日高粱を嚙じりつゝ言語に絕した困苦艱難に耐へつゝ追擊又追擊の幾日を續け二日夏家樓子北方十里双樹子に到着、此處に鐵嶺公安隊二百名の一團と完全に連絡し三日朝より引續き追擊戰を繼續してゐるが兵匪は漸次北方に遁走しつゝある、而も敵は乘馬であり我軍は全部徒步部隊とて追擊意の如くならぬ模樣である、三日上田部隊からの情報によると敵は東方鐵道滿線に出ず北方に逃げつゝある情勢なるを以て一日以來石水頭、八寶滿に出動待機中であつた鐵嶺、奉天警察百餘名も三日一先づ原地に復する事となり、午後三時半着列車で歸着した、敵の逃げ行く北方は部落も少く加へて敵匪は極度に食糧缺乏し再び東方に出でんとするは明瞭なるを以て引續き鐵嶺開原間の警備は嚴重を極めてゐる

滿洲國軍を 匪賊襲擊

【奉天】東豐縣樺石沈に匪賊討伐の出動中であつた滿洲國軍三百餘名は去る一日午後四時大刀會匪數百名の襲擊を受け營長は捕虜となり李指揮官は行方不明となつた旨の報告に接した山城鎭〇〇隊は直に同地に向つて出動した

出動警官歸奉

【奉天】康平縣城襲擊後わが上田部隊に追はれた田英、賈爾匪團が討伐隊の急追に滿鐵線を橫斷東進の形勢にあるため去る一日急遽出動した、奉天警島田警部の一行は二日間に亘つて同地縣道を挾んで警戒中であつたが右匪賊團は依然さして平頂堡西北方二十五支里の縣道に停滯してゐるので奉天省よりの島田警部の一隊は一部を殘留し二日夜一先づ歸奉した

旅順閉塞隊記念祭

【旅順】恒例に依る旅順口第三回閉塞隊記念祭は決行當日の三日午後二時より白玉山麓記念碑境內に於て舉行、安藤、津田兩司令官、山村重砲隊長、野田工大學長、伴民政署長、米岡市長を始め在港軍艦平戶、第十六驅逐隊、蓮、神威乘組陸戰隊在鄕軍人會員並に第一小學校生徒市會議員各町總代參列神官に依り型の如く祭典が執行され、各軍隊代表、各官衙學校代表者の玉串奉奠の後參拜軍隊は足並み整然として軍歌、閉塞隊「君と國とに盡すべく…」が高らかに合唱され吉田在鄕軍人海軍班長の謝辭あり閉式夫れより一同神酒を頂き臨時退散した（寫眞は記念祭の一部）

鴨江警備機關 統制協議會

【安東】鴨綠江岸の滿洲國警備機關統制に關する協議會は既報の如く一日午前九時より安東縣公署において開催 星子民政部警務司總務科長、都留同警務科長、永井財政部關稅科長、島崎交通部事務官、小坂奉天省警務科長及び安東側王縣長以下國境、海邊、水上、地方各警察局、稅關、稅捐局、緝私局等の代表者列席し

一、鴨綠江岸の警備機關の統一範圍
二、統一機關の所屬部署
三、統一外の關係機關との連絡

の三案について意見を交換した

北支の反蔣熱 漸く尖銳化

馮玉祥狼火を揚ぐ

【奉天電話】北支一帶に今や反蔣熱が具體化し張家口に頑ばつて靜觀して居た馮玉祥が主謀となり反蔣派の糾合に努め鐵血除奸團西南派に河北の各將領を誘動し天下を賣る蔣介石を打倒せよとその旗幟を鮮明にするに至つたと傳へられ閻錫山、韓復榘等の實力派にも參加を勸誘してゐるが露支復交を契機としてソウエートに緣の深い馮玉祥が洞が峠に反蔣の狼火を擧げたことは注目される、東北軍閥と韓復榘一派の去就が相當重要視されて居り蔣の運命も北支に於ては今や全く影を薄くした

馮占海に多倫 出動命令

【奉天電話】多倫に居た山西軍に對し劉桂堂軍は二十八日夕方總攻擊の結果敵軍を擊退し完全に多倫を占據したが何應欽はこれに對し馮占海軍に應援のため急遽出動を命じた

されたる滿洲國幣六萬元の割當につき管下各區を檢討協議するところあつたが、この程左記の割合にて分配する事と決定した

第一區五千元、第二區四千元、第三區五千元、第四區七千五百元、第六區八千元、第七區八千元、第八區七千元

鮮鐵の 職制變更

交通路開拓に備ふ

【京城】朝鮮總督府鐵道局では業務組織及職制の一部を變更しこれに伴ひ全鮮的に六百十名餘の大異動を一日附斷行した、その改正事項の主なるものは本局の分課及地方における事務所制度の變更で從來建設事務は本局工務課と淸津出張所及釜山、大田、京城、平壤の工務事務所で分掌したものを本局に建設課を設け、建設事務の全部を統制せしめ出張所、運輸及工務の各事務所を廢止して上記各地の外に新に元山に鐵道事務所を設け運輸、改良及保線の事務を掌らしめることゝし建設事務を別箇の一體系とし運輸、改良及保線の營業に關する業務を合一したものである、之を要するに滿鐵委任經營を解消して再び國營となりてより八年間を隔した今日線路の增設と運輸の增加とにより事業擴大に鑑み且つ又北鮮に於ける北鮮中繼日滿裏日本交通路の開拓に備ふる變革をも加味されたるものである

死の街田庄臺に 平和の光り

鮮農の新樂土も輝し

【營口】營口日滿市民の命の糧と賴む水源地は事變以來幾多の危險と困苦とに戰ひ或る時は砲彈の洗禮を受けある時は匪賊の襲擊に遭ひ危險に瀕したる事度々であつたが僅少の警官と水源地從事員との協力防備に依つて彼等兇惡の魔手に一指だに觸れさせなかつた事は實に日滿市民が滿腔感謝の意を表せねばならない事である、頃日は警官の增派と從事員の增加と加へて日滿軍隊の警備嚴重を極めたので危險は一掃され安全となつた、又對岸田庄臺はこの安全を得た市民は商工業に力を入れ市中一般活氣を帶び又日淺後は死の街と化した田庄臺も水道電氣會社よりの進出を受け本年二月以降同市街へ送電を開始したので夜間の照明晝の如く文化の恩浴を蒙り一方警備に便宜を得、尊々今昔の感害ならぬものがある、亦水源地南對岸には既報の移住鮮農は荒無地の開拓にいそしみ汝々として働く樣は實に頼母しく河畔には舟便を得べく棧橋の建設を急ぎかくて新樂土の完成は一步一步と進みやがて水源地田庄臺、鮮農新樂土と三角形の聯絡も完備し來年度よりは產出米六萬石の收穫は確實に掌握し避難當時の愁眉を開くことは間もあるまい、彼の殺風景な遼河長流も水源地附近迄溯れば二百尺の送電鐵塔は空にそびえて自から三角形聯絡の重任を帶びたる如く誇り顏に偉觀を放つてゐる

謎の魔奇術

葬儀と結婚行列利用 密輸團新戰術

【瓦房店】國境の密輸團は濱の眞砂子と一所でなか〳〵絕えないが密輸團取締官憲と智能のごちらが進步するか比べ合ひの形である、從來大仕掛の戎克、トラック、馬車の密輸は殆ど根絕したが當密犯の密輸團には背後に黑幕となつて參謀部に首魁者が智能計畫を巡らし數時的に手を代へ品を替へ巧に檢擧の手を逃れんとしてゐる、最近新しい戰術は白晝葬儀を假裝して棺の中に絹布其他高價の品を詰め込み御念入りに白衣の會葬者まで編成して國境警察隊員を見るとアイヤーマーヤ〳〵と悲しさうに泣き聲立てゝ往く者或は三頭立て五六臺の馬車に結婚行列を裝ひ御丁寧に花嫁花婿の花馬車まで作つてピー〳〵ドン〳〵喇叭の音勇ましく密輸品を隱匿して取締官憲を惱ましてゐる、何分滿洲國人の勞働者は朝から晩迄こき使はれても一日僅かに五六十錢であるが絹布類一反身體に纏つけて來ても三回の利益で五六日の分を一日に儲かる譯、對生副隊長、林、大塚其他小隊長部下を督勵して徹宵奮鬪してゐるが何分廣汎なる地域に僅少なる警察隊員では畏の網を造ふ樣なもので增員せねば却々至難である

警備船無事

遼河舟航保護

【鐵嶺】遼河水上警察所では遼河舟航保護の爲め既報の如く巨流河と鐵嶺西郊馬蜂溝の二ケ所に分局を設置し各一隻づゝの警備船を配置するに決し、警備船は二十三日營口發、二十八日鐵嶺着の豫定であつたところ二日に至るも到着せず行方不明說さへ傳へられてゐたが、三日午前十一時一隻のみ巨流河に到着し一隻は故障の爲め營口に引返した事判明したるを以て愁二三日中には馬蜂溝にも警備船を迎へる事が出來るであらう

耕農資金割當

【四平街】梨樹縣公署では過般奉天省公署より耕農資金として貸與

飛行機の參觀

發動機の運轉を行ひ 七日旅順工大前廣場

【旅順】去る三月二十日發會式を擧げた工大航空研究會は昨年軍部より借り受けたサルムソン機一臺を以て研究してゐたが、客月三十日第二回、二日は第三回の研究會を開き內燃機の研究會を行つたが、更に過般の熱河戰に參加した山本大尉より同地に於ける航空作戰の議演を聽き愈々第四回よりは實地的に研究を進める事になり、七日午前九時より正午まで工大前廣場にサルムソン機を引き出し發動機の試運轉を行ひ中學校、女學校、小學校の各生徒及一般人にも詳細な說明をして參觀せしむる事になつた、尙航空研究會は將來學生航空聯盟と同樣な實地の研究もする計畫である

花見客の 賃金割引

【營口】陽春の行樂に大連、旅順、安東の各地への花見旅行者に對し營口驛にては賃金の割引をすることになつた、汽車賃は五人以上の團體二、三等往復に限り五割引卽ち營口驛より大連往復大人一人金四圓〇四錢三等、金七圓三十四錢二等、又旅順往復同上三等金四圓七十錢、二等金八圓五十錢、安東往復同上三等金六圓六十錢、二等

バス追突し 老母昏倒す

人事不省に陷る

【旅順】二日午後四時頃旅順乃木町三ノ二五柳澤忠二郎氏は母親シユ（五七）を伴ひ大正公園の花見をなし歸途滿電バスで舊市街待合所前で下車、二三步する時乘つて來たバスが追突しシユに接觸したためシユは其場に昏倒左足指、右足下部及び腦底打撲をなした爲め左耳より出血し大鼾をなし直に關東廳醫院へ收容目下手當中である、意識不明にて未だ生死不明である此椿事に依り大連地方法院からは岡本檢察事務取扱、木梨書記は三日午前十時來旅旅順署吉田司法係と共に實地檢證並に取調べる處があつた

滿洲號 不時着陸

强風のため

【熊岳城電話】三日午後五時四分滿洲號六八號が大連より金錦に向ふ途中强風のため航路を北に向け熊岳城南方にてエンヂンに故障を生じ辛うじて市街北方に不時着陸した、操縦者は中村軍藏氏、同乘者は遠藤參謀で兩氏とも無事である

金十一圓九十錢で發賣の期間は大連旅順行四月二十八日より五月七日まで安東行は四月二十九日より五月八日までゞ途中下車は通用期間中復路に限り何れの驛にも途中下車が出來る事で熊岳城、湯崗子五龍背の溫泉に立寄り俗塵を拂ふも一興であるが團體を離れての單獨行動は出來ぬのである、而して安東鎭江山の櫻花は五月七日頃が滿開の由である

特產發送高

【四平街】四平街日滿特產聯合會が調査した四月中の四平街驛特產發送高は四百六十車にしてその內譯は左の如くであるが、七年十月以降の累計は四千四百八十八車である

混保大豆三、大豆六二、莫豆三、高粱五六、小豆三、蕎麥四六、包米三四、層粟六、小麻子八、蘇子一三、吉豆五、小米一九五、元米三、胡麻一六、穀屑一、大麻子三、雜穀三

安東の赤ちやんデー

【安東】安東の乳幼兒愛護デーは五月五日の端午節に地方事務所社會係、安東產婆會の應援で開催、當日午後一時から鎭江山で「乳幼兒と母親慰安會」がありまた輸入組合の主催で乳兒愛護廉賣が催されるほか滿鐵、西川、成田、春野兒王、木村各醫院では三日から乳幼兒の健康相談に無料で應じてゐる

高山東拓總裁新京へ

【京城】南鮮管內事業視察中の高山東拓總裁は豫定通り一日午後五時入城した、京城には四日間滯在後西鮮、北鮮の管內事業視察の上新京に入り滿洲國要部、關東軍首腦部及び滿鐵幹部と會見、滿洲國內に於ける東拓關係新規事業につき重要打合せを爲す筈であると

家庭で出來る結核の自然療法

この療法を無視して單に藥劑だけで結核の治癒は難かしい

サナトリウム、――即ち結核の自然療法は、世界的結核病學者として有名な獨逸のブレーメル及びデッドワイエル兩氏が、自分達の結核を癒した體驗を基礎にして創案したもので、只今ではその療法を行ふ結核療養所のこともサナトリウムと呼ぶ様になりました。

この結核療養所が初めて獨逸のゲルベルスドルフに建てられたのは一八五九年で、その創立者は自然療法の創案者の一人である前記のブレーメル氏であります。

結核療養所といふのは空氣の清い塵埃のたゝない、土地、氣候ともに衞生に適した健康地を選びそこで主として空氣日光食物などの

自然の醫療効果を

利用し、衰へた自癒能力を昂めて結核を根本から癒す方法を教へ、且つ實行させる一種の衞生學校ともいふべき病院であります。

ブレーメル氏はこの自癒能力を昂めて結核を癒す所謂「自然療法」によつて、不治の病といはれた結核學說を破り、多くの全快者を出して「結核は治癒する」といふことを實證したのであります。

歐米には、この様な療養所の數は非常に多く、英國には現に二百餘の結核療養所がありますが、日本では僅に五十四、その病床合計四千四百十二、全國百二、三十萬の結核患者數からみると、斯うした療養所へ入れる患者は限られた一小部の人々であつて、殘り大多數の患者は自宅で療養すべく餘儀なくされてゐるのであります。

元來、自然療法の要諦は衰へた患體の自癒能力を昂めることによつて

食慾を增進し

全身の榮養をよくし、白血球の食菌現象を旺にして結核を征服するにありますが、今日では無理して療養所へ入らなくとも、ヘーフエ療法によつて、結核療養所で療養すると同じ様な效果ある療法が、家庭で、併も至極經濟的に出來るのであります。

ヘーフエ療法といふのは、ヘーフエ菌といふ微生物を活性のまゝ藥にした生物藥を服用して、結核の病原から癒さうといふ療法でありますが、このヘーフエ菌には澱粉や蛋白、脂肪等の各食品を消化するヂアスターゼ、プロテアーゼ、リパーゼ等の消化酵素の外に、食慾を增進し肥胖に效あるヘーフエインスリンやヴイタミンB、そして衰弱した身體の榮養をよくするヴイタミン類やアミノ酸類等の榮養素が、大病人の弱りきつた胃腸でも無駄なく吸收出來るコロイド狀態で含まれてゐる上に、白血球の食菌作用を昂め新陳代謝を旺盛にして衰へた自癒能力を勃々と振ひ興す細胞賦活作用がありますので、自然療法にはもつて來いの藥物として、多數の醫家から賞揚されて居ります。

ヘーフエ菌を活性のまゝ藥にした生物藥で有名なのは、彼の澤村博士の發見に係る「錠劑わかもと」でありまして、之は非常に廉價に頒布されてゐますので、比較的長期の療養を必要とする結核患者にも負擔が輕くてすみ、その上何よりの喜びは、この「錠劑わかもと」を服用してゐると在來の藥劑では經驗の出來なかつた盜汗、發熱、食慾增進、衰弱恢復等のキヽメの現れが目に見えますので、のんで實に張合ひのある藥だといつて、結核患者から非常によろこばれて居ります。

下熱劑によらぬ自然下熱の話

下熱劑の害と

藥劑、殊に化學藥劑には色々の副作用が伴ふもので、下熱劑を服んだためにピリン疹が出來るとか下痢、嘔吐、惡心等の症狀が現れるといふことは、よく耳にすることであります。その上化學藥劑には習慣性といふ作用があり、毎日藥を用ひてゐますと遂には適當では利かなくなります。

例へば不眠症の人が催眠劑を用ひてゐますと、初めのうちは適量で間に合ふのが、次第に藥に慣れて習慣性に陷り、二倍三倍の藥をのまねば不眠症が治らぬといふ破目になります。その結果はモルヒネを注射しなくては眠れなくなり遂に不幸な慢性モヒ患者として一生を棒に振ることにもなります。

これと同じく結核患者も熱さましとして色々の化學的醫藥を運用して居りますが、モヒの場合と同様、その用量を次第に增さなくては一向熱も下らぬようになります。殊に結核患者が下熱劑を用ひる場合は、他の熱性患者の場合とちがつて、身體が

衰弱

して抵抗力が不足してなりますから結核菌に攻められる外に下熱劑の副作用をうけることは引いて結核治療上にも大きな故障や頓挫を招くことになります。

その點から、實に自然的な下熱方法として「錠劑わかもと」は得難い存在で、「錠劑わかもと」には下熱に直接效のある要素は含まれてゐないに拘らず、これを服用すると徐々に熱が下つて來ます。併も化學藥劑でなく、生物學ですから副作用が少しもない。

これは、結核菌をコンクリートの様に堅めてゐる脂類肪體といふ蠟様の物質を「錠劑わかもと」中のリバーゼといふ

要素

が溶かして結核菌をムキ出しにし、そこへヘーフエ獨特の作用で增加した白血球の大軍が押しよせて結核菌を食ひつぶして了ひます。――即ち、化學的の下熱劑の様に一時的の生温い下熱作用でなく、直接結核菌を攻めたてゝ之を征服し菌毒の發散を封鎖し盡しますから、熱は根本的に除かれる譯であります。して、「錠劑わかもと」を服用して熱が下つたのは、とりも直さず結核菌の勢力が挫けた證據であり、それだけ結核が治癒したことを意味するものであります。

一體結核、患者で熱が徐々に下り、そして食慾が漸進して來ることの二つの現れが見えて來たら、結核も最早

九分

通り癒つたとみてもよい程大切な傾向でありますが「錠劑わかもと」を服用すると、この下熱と食慾增進が兎も角目に見えて現れて來るので、患者にとつても實に服み甲斐がある譯であります。

併も右の「錠劑わかもと」は二十五日分一圓六十錢八十三日分五圓といふ奉仕的廉價で東京市芝公園大門內榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇〇番）から頒布されてなります。

◇結核の擴大想像圖――中央に結核菌が白血球に包まれて食ひ殺されつゝある圖

肺病が輕快して近々に復職

妻の心づくしで

（富山）中川二郎

私は五年前に肋膜炎を患ひ、其の後養生怠ることなく續けて居りましたが、昨年三月風邪を引き普通の風邪と思つてその儘に二三日過ぎましたが、午後になれば定つて發熱するし、盜汗があり、これまでの風邪引きと違つてゐると心配しつゝ居りました處、或る朝喀血し、早速地方の呼吸器專門の醫師に診察を受けました處、肺結核も二期半を過ぎて居り、絕對安靜を要するとのことにて、即日入院加療しました。（中略）

小康を得て三ケ月目に退院致しました　その翌日、又々喀血致しました。今度は自宅にて治療を受けてゐましたが、經過よろしからず、一日一日衰へて行くのが見えました。（中略）

私は死を覺悟して、一時は醫者も藥も止めてゐました處、妻は、新聞廣告を見て、私に話さず、最寄の藥局より「錠劑わかもと」三〇〇錠入一瓶を買つて來て、私に示しました。私は新聞廣告なんぞは、針小棒大であつて信ずるに足らん、これまでの藥と同じく、何等效果は無からう。然し買つて來た物は今更致し方が無い、と、不承不承服みました。

半分位服むと、氣分は爽になり、盜汗も輕くなり、食慾も增し、一瓶終りる時は、盜汗は殆ど見ず、食慾平常と變ら無くなり、尚引き續き服用して居ります。效果の顯著なるに驚いて居ります。（中略）

只今七瓶目を服用して居ります。服用前に比して、體重八百五十匁を增し、血色よろしく、醫師も早くよくなつたのに驚いて居ります。

私も近く復職出來ることになりました。これひとへに「錠劑わかもと」のお陰と、只々感謝して居ります。（後略）

善鬼惡鬼（65）

平山蘆江作　苅谷深隍繪

果し状（一）

長吉が、おこのを横抱きにかゝへて、驅け戻つて來たのは、もう夜明けに近い頃であつた。

「五郎兵衛先生の正直ものにも程があるぢやつた。只の我武者で、手前勝手の亂暴ものだとばかり思つてゐたが、馬鹿々々しい律義者だ」

口早に云つて、おこのをおぎんの側へおしやり、雨戸をぐんぐんおさへつけてゐる。

「先生はどうしたんだ」

次郎吉が聞くと、

「どうしたつてお前、この娘御に白刃を持たして、おのれの首根つこを、ゴシゴシと、鋸切びきにしやうといふんだ、呆れかへるぢやねえか」

「首を切つて、どうしやうつてんだ」

「知れた事よ、四方八右衛門はこの娘御にとつてお祖父さんに當る、この子に自分の首を打たして、親孝行だくさ、まはりつくどい讐討をさせやうつてんだ」

「そこへお前が飛込んだんだれ」

「飛び込んだにや飛び込んだが、何しろ相手は片手劍法の親玉だ、どうしてどうして、こちと等の手におへる事ぢやねえ。そこを無理無性に、おしこかして、この娘を引拖へて歸つて來たのだ」

「そして、五郎兵衛さのは、どうしたえ」と、おぎんが聞いた。

「裏山に大あぐらをかいておれの身體はどこへ持つてゆけばよいのだと、わめき立てゝおいでどす」

「どこへ持つて行くつたつて、あれほどの先生を、勝手に持つてあるけるものか、おかみさん、おいでなせえ、二人がかりで、いや應なしに引戻して參りませう」

おぎんも次郎吉と一緒に表へかけ出した、が、間もなくすごすごと戻つて來た。

「どうしてどうして、お前さんたちが行つて、今更戻るくらゐならおいらと一緒に戻つて下さる五郎兵衛さまだ、てこでも動きやしめえ」

「戻る戻らぬよりは、どつちへ行つたか、行く先が判らなくなつたのだよ」と、おぎんはしほれ切つてゐる。

「行く先が判らねえつて、そんな筈はありますめえ、まだいくらの時も經つちやゐねえんだ。次郎公お前と二人で、手分けをして、そこら中を搜して見よう」

「おつと合點だ。おこのさん、おかみさんと二人で、おとなしく留守居をしてゐなせえよ」

船頭二人は、暗がりの雜木林を、そこか、こゝかと探してまはつた。おぎんとおこのは手持無沙汰さうに、呆然と待ち明かした。

かうして、夜がほのぼのと明ける頃、長吉も次郎吉も相前後して戻つて來た。が、門口を入る時、長吉がまづ何ものかを見つけて

「しまつた」と云つた。

「冗談ぢやねえ、遠いところ〳〵を、足のとゞく限り、雜木林の中を二人がかけずりまはつてゐる間に、五郎兵衛先生は、ちやんと門口まで舞戻つて來なすつたのだ」

「ねえおかみさん、門口にこんなものを書いて、石のおもしをかけてありましたぜ」

さう云つて持込んで來たのは、手拭のちぎれかと思はれる布一切れ、その上には生々しい血をにじまして書いた數行の文言であつた

御身あるゆゑに生きた我身には再びめぐり逢ふ時は、是非とも御身に討たれ申すべく候

上にはおぎんどのと書き、下には五郎と書いてある。

おぎんは何度も讀みかへして、

「あの人の行方は、けふ限り、もう探さずにおいておくれ」と、布をたゝんで、内懐へしつかりと納めた。

長吉も次郎吉も、聲を呑んで泣いた。おこのはおぎんの膝をゆすぶつて泣き伏した。

其時、裏戸が、ゴトリゴトリとゆれる。

「しつ、五郎兵衛先生かも知れねえ」

「待て待て、お前は裏口からまはんな、おいらが表へかゝる」と、長吉が、足音をひそめて裏戸へ近よつた。

キネマと演藝　うわさ話

▲いよいよ今晩午後七時から彌生高女講堂で山田耕作氏歸朝記念作品發表會を開く▲春の樂壇にふさはしく人氣俄然沸騰▲映樂館の白藤六郎もいよいよ内地へ歸つて静養することになつたらしいが▲愛弟子トロ愛光が代つて六日から上映の「巴里祭」の解説にあたるらしい▲田村てる枝さんの名披露目小唄會が六日午後六時からヤマトホテル大廣間で開かれる（會費一圓）

低利資金の運用は
關係者協議で略決定
貸付開始は六月早々

二百五十萬圓の大藏省低利資金滿洲運用については直接運用機關たる金融組合、滿洲輸入組合においては運用規定を作成中のところ、金融組合においては既報の如く運用規定の立案決定をみたるに一方輸入組合は現在の定款を變更せねばならず、即ち第二十九條に本組合貸付資金は組合員出資及南滿洲鐵道株式會社より借入れたる資本を以て之に充當するものとす、但し當分の間南滿洲鐵道株式會社より借入れたる資金を以て融通し組合員の出資金は銀行に預入るものとすとあるを變更し

低利資金 運用を附加し、新規開業及び事業擴張に融資する運用規定を作成せねばならず、又

するが、これ等定款變更のため輸入組合では來る六日臨時總會開催決定する、右の結果滿鐵の認可を得て愈々決定をみるわけだが、兩組合の運用規定作成後朝鮮銀行、滿鐵、關東廳この間に運用に就いての最後的折衝が行はれるこの際滿鐵では輸入組合の運用額百五十萬圓のうち、二割の補償を行ふについて、無條件補償を行ふや否や協議される筈であり

滿鐵側で は從來の輸組貸付の關係もあり、貸付についても從來類似の條件を希望することゝなる模樣である、これが爲め兩組合の運用開始は愈々來月早々より行はれる筈であるが、大藏省の二百五十萬圓の融資は八月末を以て締切られ、八月中に運用の出來な

州外の寶庫——
復縣を見る
産業の現狀と將來

【一】

「燈臺もと暗し」の喩へにもれず我々關東州在留邦人は滿洲國への認識において、その地續きたる復縣についてあまりに知らな過ぎる遼陽の白塔を知らぬ邦人は少なからうが復州の古塔を知る者はなからう、煙臺の無煙炭を知る人は多からうが五湖嘴の無煙炭を知る人は極めて稀だ、いな、關東州境が貔子窩附近で二、三里の間莊河縣と接してゐるだけで、あとは貔子窩から普蘭店に至るまで殆ど全部が復縣であり復縣の土地を踏まねば滿洲國に入れないといつても過言でないことを知る人は殆どないそれも學良政權時代で、一歩州境を出れば不愉快な支那官憲の壓迫があつた時代なら已むを得ないが現在のやうな日滿關係の親密な時に、このやうに足許眞暗で濟ますことが出來るのだらうか

◇

そこで我々滿鐵出入記者團と滿鐵資料關係者との間に復縣視察の計畫が立てられ、四月二十九、三十日の二日つゞきの休日を利用して、瓦房店より復州に出て、南行して五湖嘴半島の石炭礦と粘土坑を見、海路石河に出てほゞ復縣の

滯貨麥粉は
日を逐うて漸減
相場や、反撥先高見越

熱河興銀券回收
六百萬元に上る
國幣の流通は漸次に進行

大連輸入組合
今期業績
四日臨時總會

三月中
滿洲國貿易
入超三百十九萬

關係筋代表出席
船車連絡懇話會
五日滿鐵社員俱樂部で

再特許追願

鮮銀發送の荷爲替
大阪で問題となる
爲替管理法に抵觸してると
關東州は法令未だし

バナナ專用船
朝熊丸配置

低資運用で
臨時總會
六日輸組樓上で

米藁一切
米國輸入禁止

四月中の
手形交換高
前月より減少

支那輸入品の
原産國名標記種目追加

四月大豆積出
前年に對五割四分强

聖德實業會
七日總會

四月中不渡手形

市況　四日

市場電報

銀塊及爲替

大阪株式

東京株式

大阪期米

東京期米

神戸期米

上海爲替情報

綿糸低落

奧地相場

爲替相場

錢鈔

株式